

令和4年度

子供読書活動推進に関する調査の集計結果

令和5年3月

東京都教育委員会

目次

1 調査の対象	4
2 令和4年度 調査人数等内訳	5
3 【調査1】児童及び生徒の読書の状況に関する調査結果	
Q1 この1か月間に、本、新聞、雑誌、学習参考書、調べものをするための資料などを読みましたか。.....	6
Q1-1 Q1「読んだ」を選んだ人だけ回答	
①パソコンやスマートフォン・携帯電話などを使って読んだ。.....	6
②あなたが本や雑誌、新聞などを読むのはなぜですか。.....	7
③読んだものを選んで下さい。.....	9
④読んだものの中に日本または海外の歴史・文化・習慣について書かれたものがありましたか。.....	11
Q2 この1か月間に本を読みましたか。.....	11
Q2-1 Q2「読み終わった本が1冊以上ある」を選んだ人だけ回答	
①読み終わった本は何冊ありますか。.....	12
②読んだ本の中に電子書籍はありましたか。.....	12
Q2-2 Q2「全く読んでいない」を選んだ人だけ回答	
本を読まなかった理由は何ですか。.....	13
Q3 4月から今までの間に、学校の図書館を利用しましたか。.....	14
Q4 4月から今までの間に、学校図書館以外の図書館を利用しましたか。.....	15
Q5 あなたは本を読むことが好きですか。.....	16
Q6 あなたについてあてはまるものを選んでください。.....	16
【クロス集計】「Q2 この1か月間に本を読みましたか」×「Q5 あなたは本を読むことが好きですか。」.....	19
【クロス集計】「Q2 この1か月間に本を読みましたか」×「Q6 あなたについてあてはまるものを選んでください。」.....	20
4 【調査2】学校における読書活動等の状況に関する調査結果	
1 学校としての読書活動等の推進.....	28
2 読書時間の確保.....	29
3 読書指導の充実.....	29
4 各教科、特別活動、総合的な学習の時間における学校図書館の利用の位置付け.....	30
5 学校図書館及び公共図書館の利用指導の充実.....	31
6 障害に配慮した読書活動の充実.....	31
7 図書委員会の活動の充実.....	32
8 地域の公共図書館との連携.....	32
9 ボランティアの活用.....	33
10 生徒（児童）による異校種の学校、幼稚園及び保育園との連携.....	33
11 家庭への啓発.....	34

1 2	学校図書館運営上の課題	34
1 3	読書活動、読書指導に取り組む上での課題	35
1 4	学校図書館へのコンピュータ導入（小・中のみ）	35
1 5	貴校で実施されている特色ある取組	
	小学校	35
	中学校	39
	高等学校	41
	特別支援学校	43

学校図書館における新聞の配備や活用の状況

1	新聞の配備状況	44
2	新聞の紙数	45
3	新聞の種類	45
4	新聞の活用状況	46

5 【調査3】区市町村教育委員会の読書活動推進に関する調査結果

1	（小学校）教育課程届の「指導の重点」に読書活動を明記している学校数	47
2	（中学校）教育課程届の「指導の重点」に読書活動を明記している学校数	47
3	区市町村独自の司書教諭研修会を実施（計画）している。	47
4	学校図書館運営マニュアルの作成や資料収集のための選定リストを作成し、各学校の司書教諭等の支援を実施（計画）している。	47
5	読書活動に対する区市町村独自の顕彰制度を実施（計画）している。	48
6	学校に対して、新旧の図書資料の計画的な入れ替えを図るよう指導している。	48
7	学校に対して、読書指導等に用いる教材を学校図書館において一括管理するなどして、活用を促進するよう指導している。	48
8	学校に対して、調査等に基づいて適切な図書資料を選定するよう指導している。	48
9	障害のある児童・生徒が豊かな読書活動を体験できるよう、補助具や障害の状況に配慮した図書、視聴覚機器等の整備などを実施（計画）しているか	49
1 0	学校図書館で所蔵する図書資料をデータベース化するなど、学校図書館の情報化を進めている（計画がある）	49
1 1	読書活動の先進的な組織等の事例を収集し、広報、資料等で学校に提供している。	49
1 2	子ども読書の日を記念した行事や読書週間に行われる各種行事での情報を学校に提供し、子供や保護者、教職員の参加を促している。	49
1 3	読書活動を中心とした内容での研究奨励校	50
1 4	特色ある教育活動に読書活動を位置づけたり、読書活動が充実している学校	50
1 5	貴自治体で実施されている特色ある取組	50

学校図書館における新聞の配備や活用の状況

1	（小学校）教育課程届の「指導の重点」に新聞を活用した学習・読書活動を明記している学校数	51
2	（中学校）教育課程届の「指導の重点」に新聞を活用した学習・読書活動を明記している学校数	51

3	教育に関する施策・計画に、新聞を活用した学習・読書活動を明記している。…	51
4	子供読書活動推進計画に、新聞を活用した学習・読書活動を明記している。……	51
5	新聞を活用した学習・読書活動を中心とした内容での研究奨励校がある。………	52
6	新聞を活用した学習・読書活動を特色ある教育活動に位置付けたり、充実した 取組を行っている学校がある。………	52
7	学校に対して、新聞の活用を促進するよう指導している。………	52
8	学校に対して、新聞を複数紙、配備するよう指導している。………	52
9	学校に対して、主権者教育に新聞を活用するよう指導している。………	53
10	小・中学校に新聞を配備するための費用を予算化しているか。………	53
11	貴域における学校図書館への新聞配備の推進や、学習や読書活動における新聞の 活用について、現状を踏まえた今後の取組をご記入ください。効果的な取組事例 や具体的な成果がありましたら、併せてご記入ください。………	54
6	【調査4】子供の読書活動推進に関する調査（子供の読書活動主管課）	
1	「子供読書活動推進計画」策定状況………	55
2	公立図書館で実施しているサービスの実施状況………	55
2-1	乳幼児を対象としたサービスの具体例………	56
2-2	青少年を対象としたサービスの具体例………	57
2-3	外国語を母語とする子供、帰国児童・生徒を対象としたサービスの具体例………	58
2-4	特別な配慮を必要とする子供を対象としたサービスの具体例………	59
3	公立図書館と学校との連携の実施………	60
4	公立図書館の館内職員に向けた研修の実施………	61
5	公立図書館や学校以外の公的機関における子供の読書活動推進実施状況………	62
5-1	問5の具体例………	63
6	家庭文庫、地域文庫、読み聞かせグループ及びボランティアに対する支援………	64
7	ボランティア等の活用（学校以外）………	65
8	子供の読書活動を推進していく上での課題………	66
9	今後の子供の読書活動推進にあたって都（都立図書館）に望む施策………	67
10	上記の外、貴自治体で実施されている特色ある取組………	67

1 調査の対象

1 調査の目的

東京都の子供の読書の状況、及び公立学校や公立図書館等における読書活動等の現状を把握し、今後の施策に活用することを目的として、調査を実施する。なお、今回の調査においては、公立学校における新聞配備・活用の状況についても併せて調査を行った。

2 調査の内容

(1) 調査1 児童及び生徒の読書の状況に関する調査

ア 区市町村立小学校・中学校は、都内の全区市町村を対象、児童・生徒の5%程度を目安とした抽出調査を行った。

イ 都立高校及び都立中等教育学校は、全日制課程、定時制課程2年生及び都立中等教育学校後期課程5年生については全生徒を対象とした。その他の学年は、生徒の5%程度を目安とした上で各校の地域性や学科等を加味し、抽出調査を行った。

ウ 都立中等教育学校前期課程及び都立高校附属中学校は、高校の抽出調査対象となった学校4校を抽出した。

(2) 調査2 学校における読書活動等の状況に関する調査

都内全公立小中学校、都立中学校、都立中等教育学校、都立高校（全日制、定時制、通信制）、特別支援学校を対象に調査を行った。

(3) 調査3 区市町村教育委員会の読書活動推進に関する調査

区市町村教育委員会の学校向け施策について、各区市町村教育委員会の指導事務主管課で状況調査を行った。

(4) 調査4 子供の読書活動推進に関する調査（子供の読書活動主管課）

区市町村立図書館等における施策について、各区市町村の子供の読書活動推進主管課で状況調査を行った。

3 調査の実施期間

令和4年9月上旬～9月中旬

2 令和4年度 調査人数等内訳

1 【調査1】児童・生徒（特別支援学校の児童・生徒の調査結果については別途集計する）

小学校

(35,796名)

1年生	5,954名
2年生	6,124名
3年生	5,848名
4年生	5,987名
5年生	5,879名
6年生	6,004名

中学校及び中等教育学校前期課程

(17,219名)

1年生	5,842名
2年生	5,631名
3年生	5,746名

都立高等学校及び中等教育学校後期課程

(39,880名)

1年生 (後期4年生)	2,479名
2年生 (後期5年生)	34,920名
3年生 (後期6年生)	2,481名

都立高等学校定時制・通信制

(2,014名)

1年生	46名
2年生(定)	1,720名
2年生(通)	113名
3年生	67名
4年生	68名

2 【調査2】学校

(特別支援学校の小学部・中学部・高等部の回答はそれぞれ小学校・中学校・高等学校に含める)

小学校	1,274校
中学校(中等教育学校前期課程及び附属中学校含む)	623校
高等学校(中等教育学校後期課程含む)	178校
高等学校(定・通)	56校
特別支援学校(小)	49校
特別支援学校(中)	46校
特別支援学校(高)	43校

3 【調査3】教育委員会

62区市町村

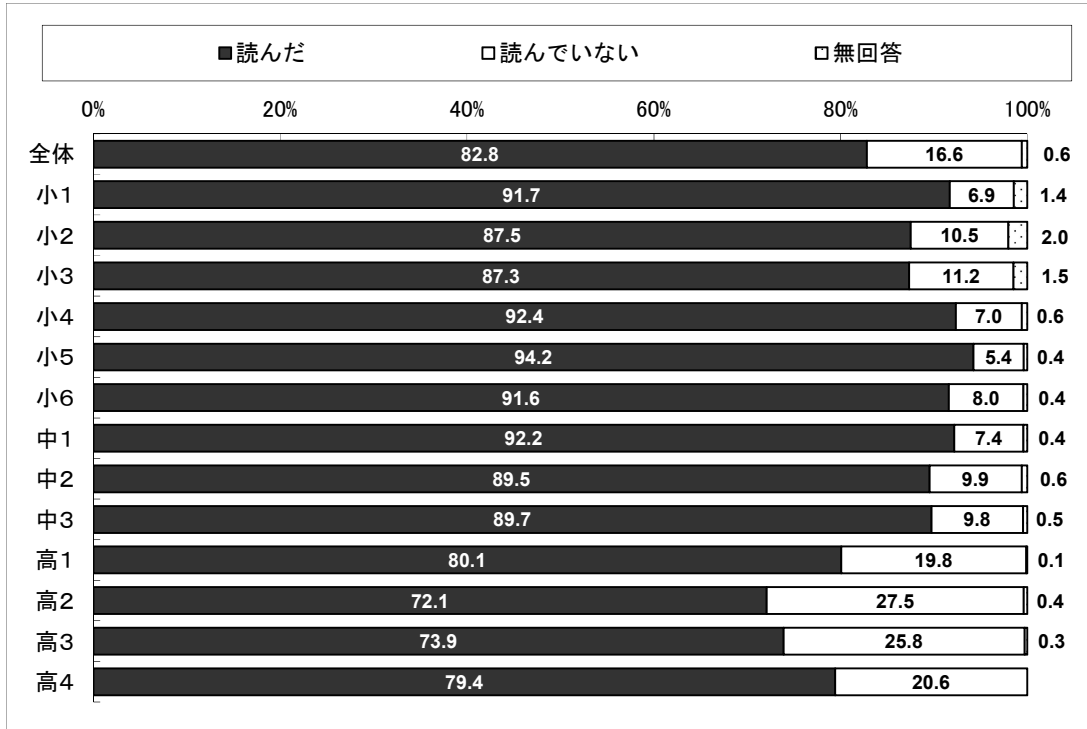
4 【調査4】子供読書活動主管課

62区市町村

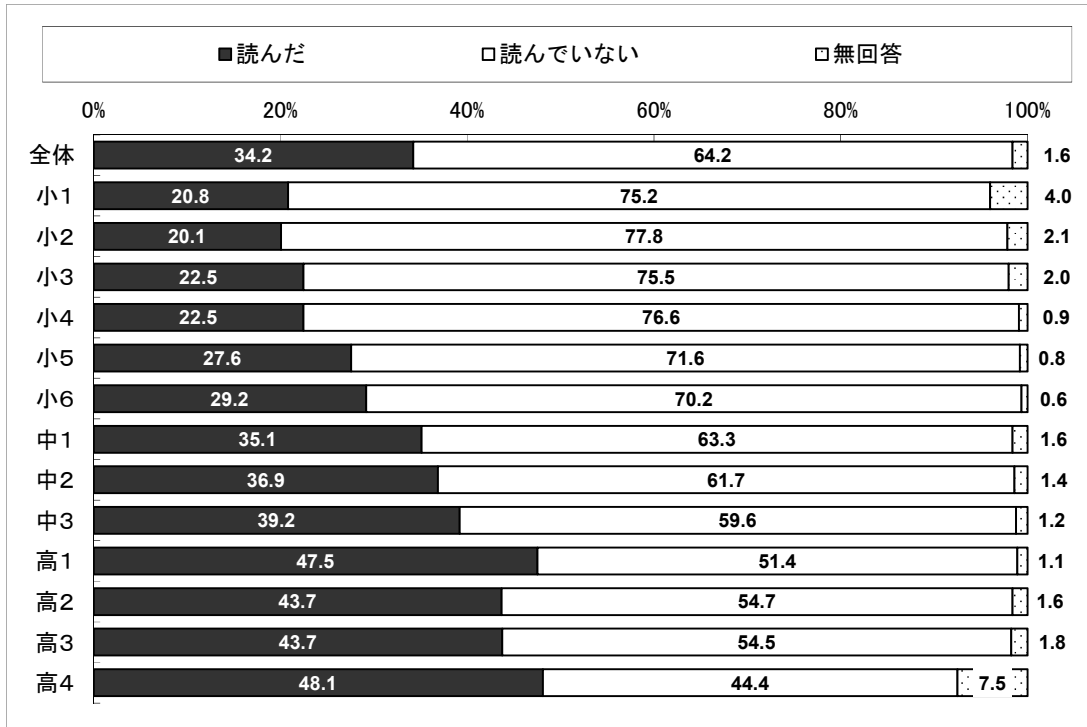
令和4年度 【調査1】児童及び生徒の読書の状況に関する調査結果

※このアンケートの「本」には教科書、雑誌、図鑑、マンガ、写真だけの写真集、絵だけの絵本や画集は含みません。日本語以外で書かれた本、ケータイ小説やスマートフォンやタブレット端末等で読むことのできる電子書籍は含みます。また、一斉読書(朝読書や昼読書)などで読んだ本は、冊数として数えます。

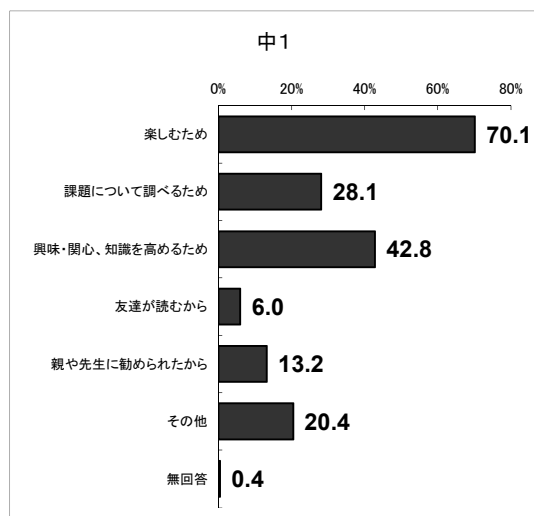
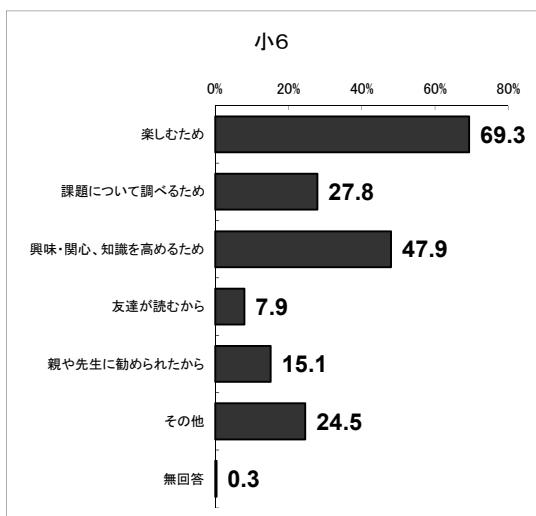
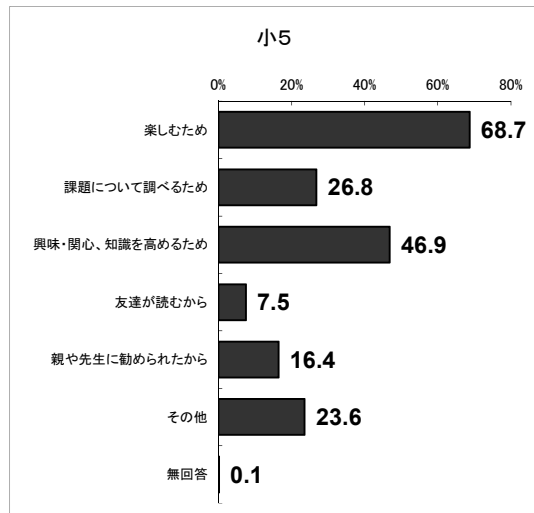
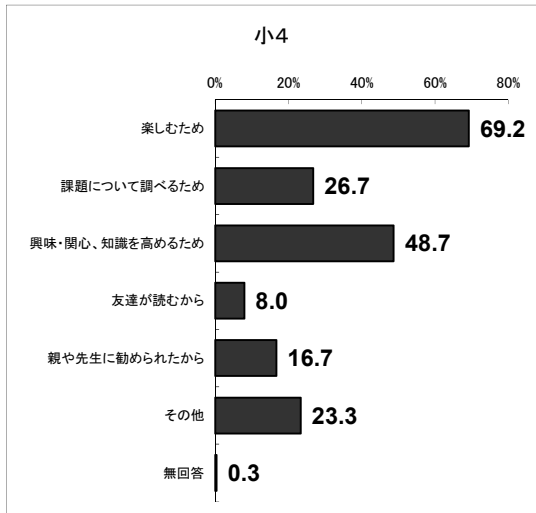
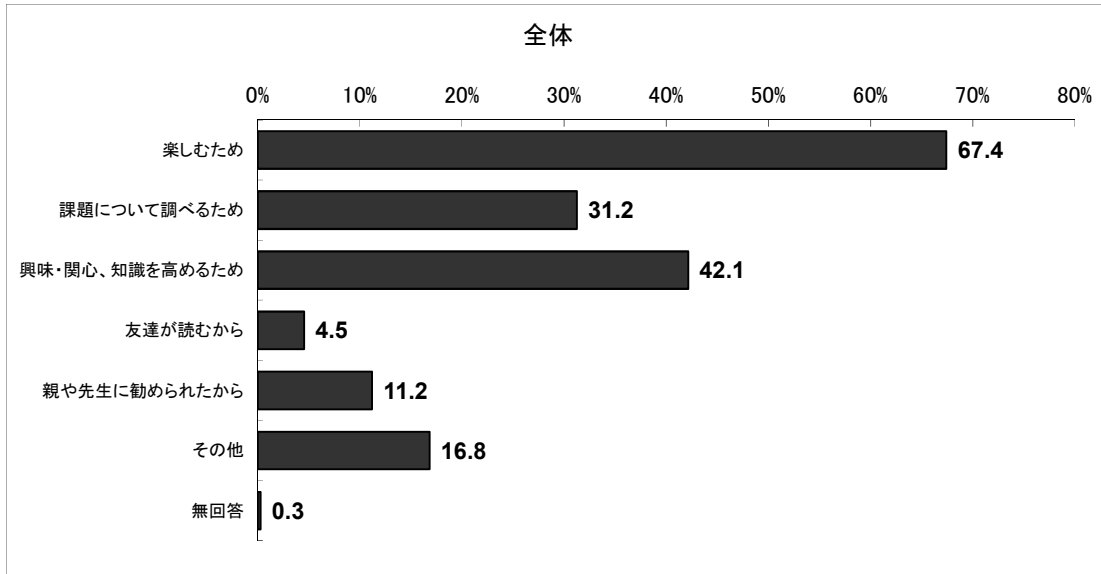
Q1. この1か月間に、本、新聞、雑誌、補助教材、学習参考書、図鑑や辞典、その他資料を読みましたか。(インターネットを含みます。メールやラインは含みません。)
※授業の中で読んだものも数えます。

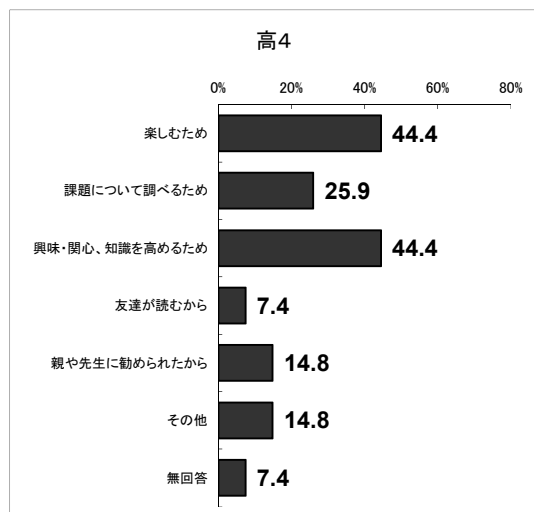
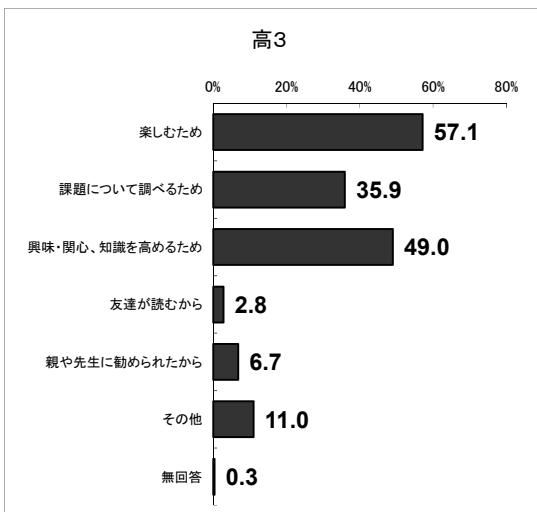
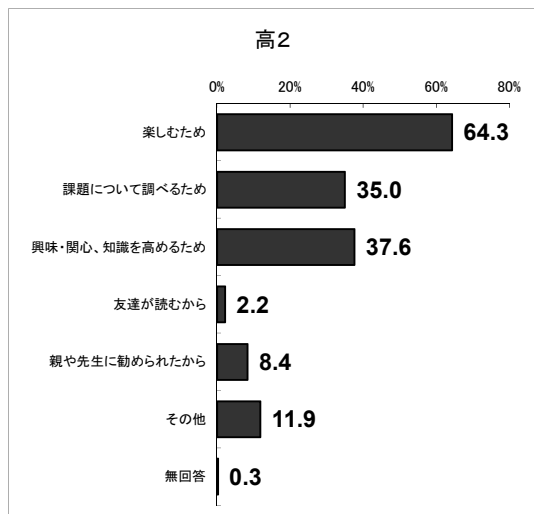
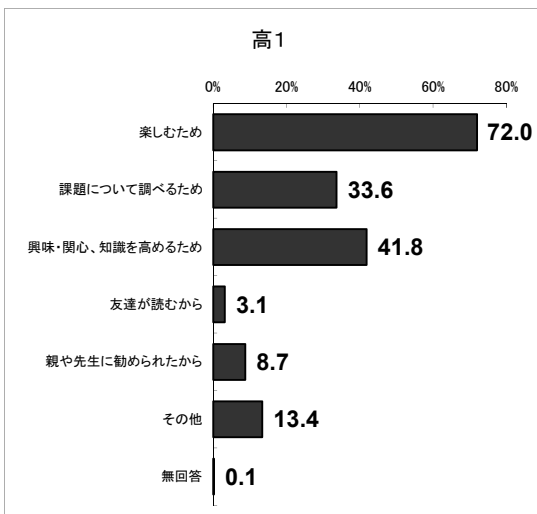
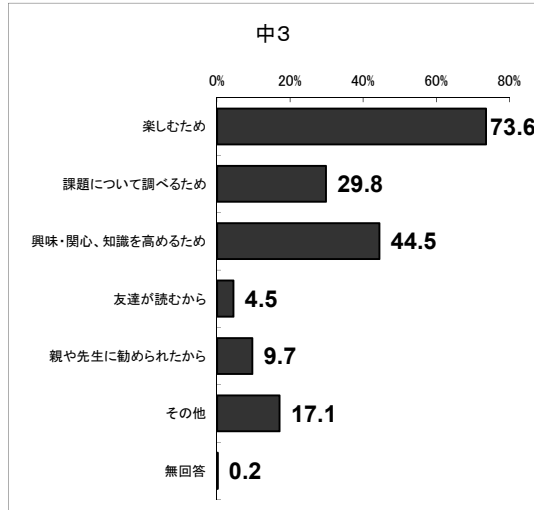
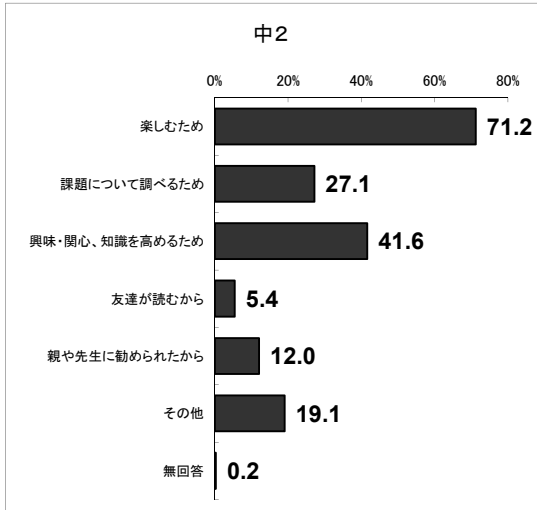


Q1-1①. パソコンやスマートフォン・携帯電話などを使って読んだ。

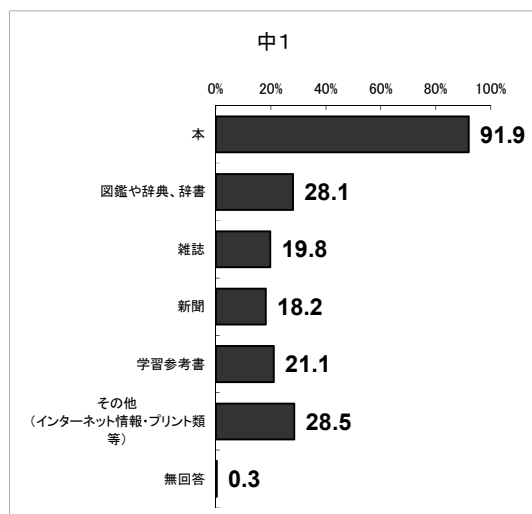
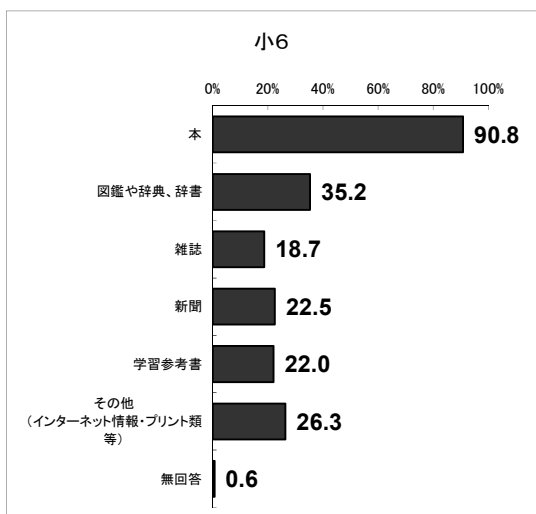
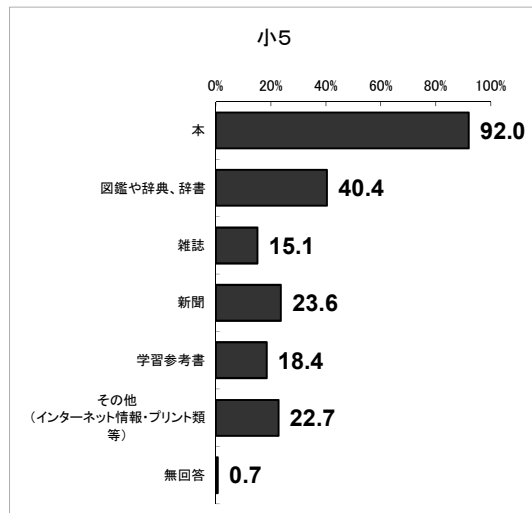
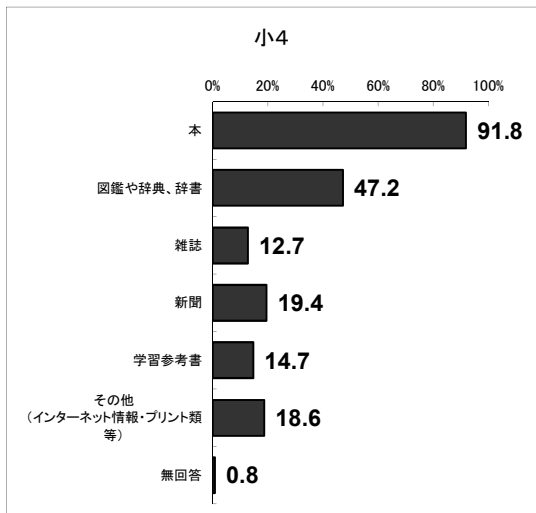
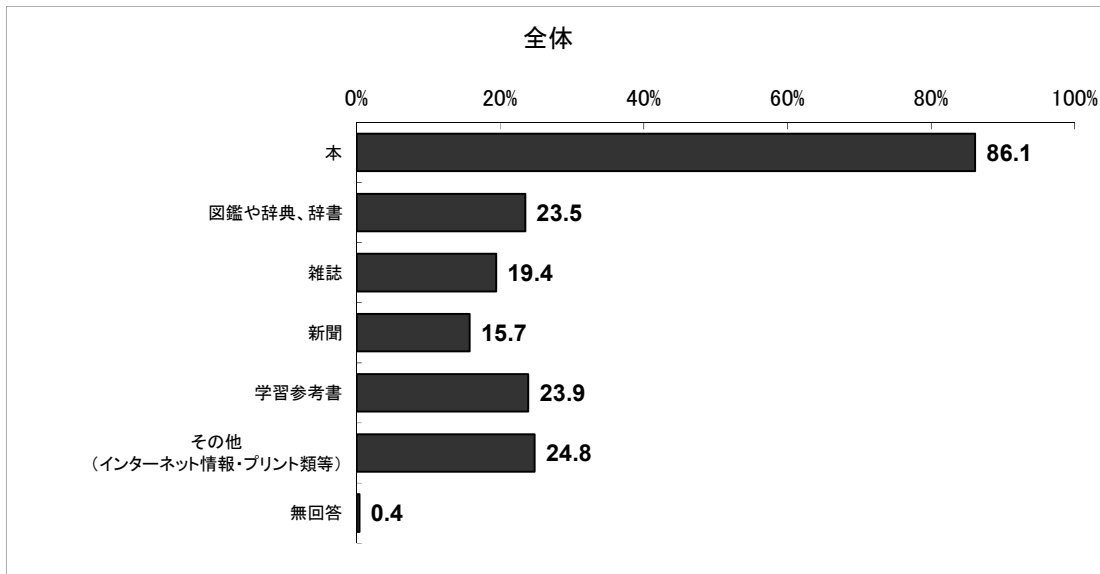


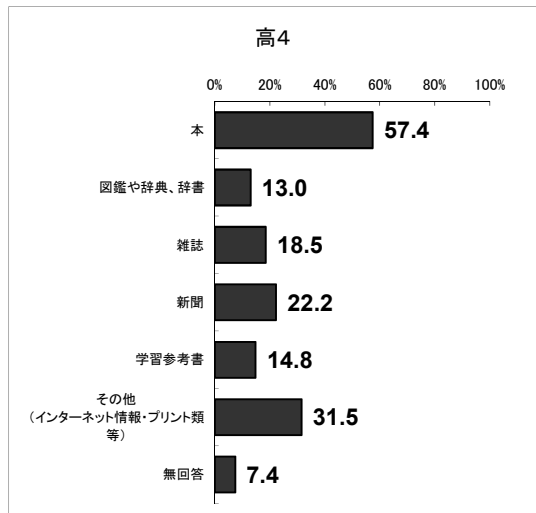
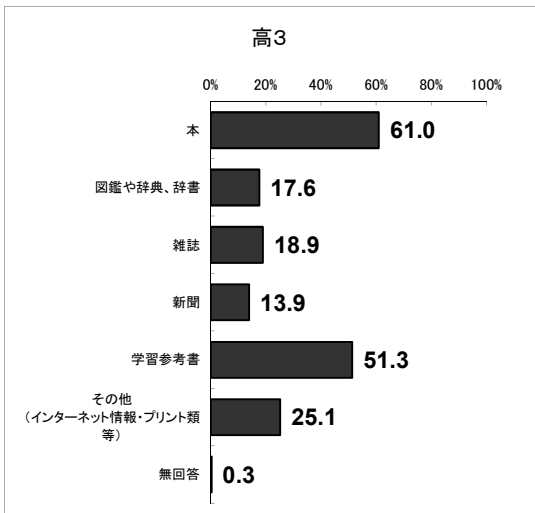
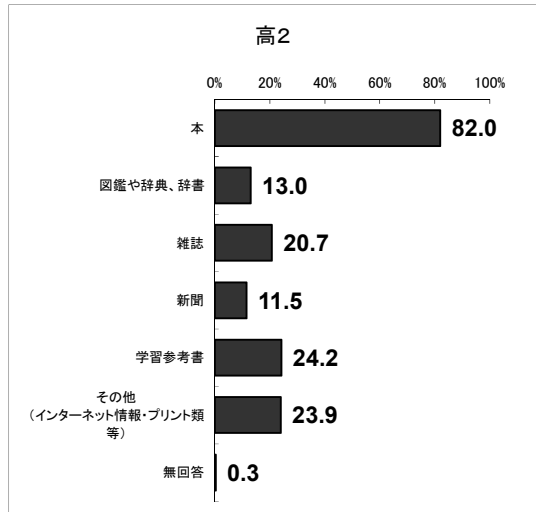
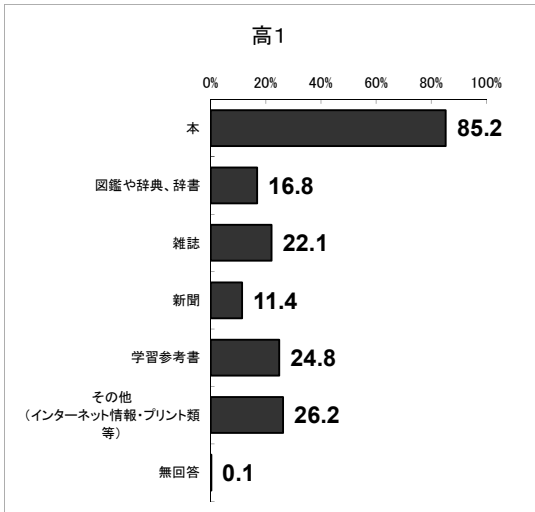
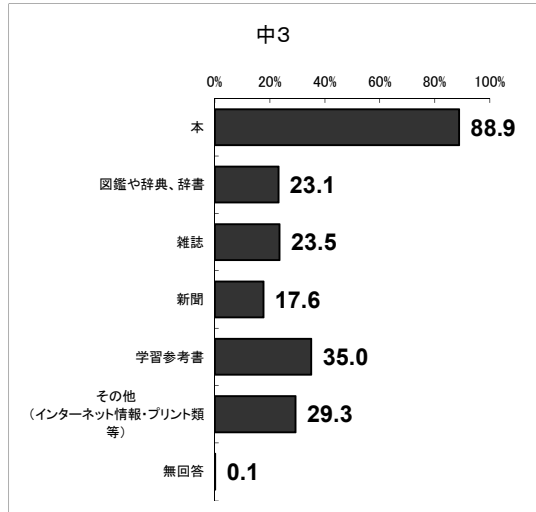
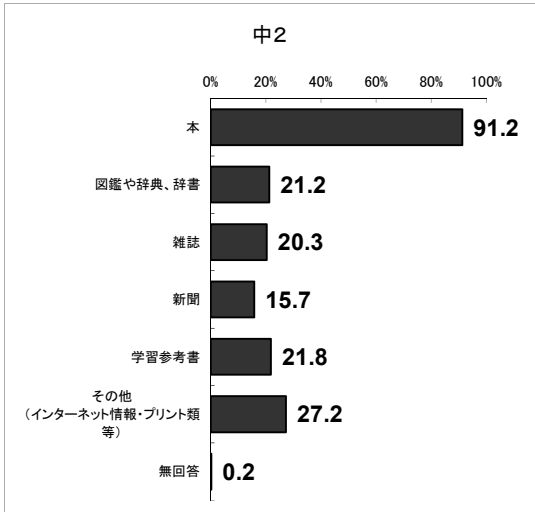
Q1-1②. あなたが本や雑誌、新聞などを読むのはなぜですか。（複数回答可）



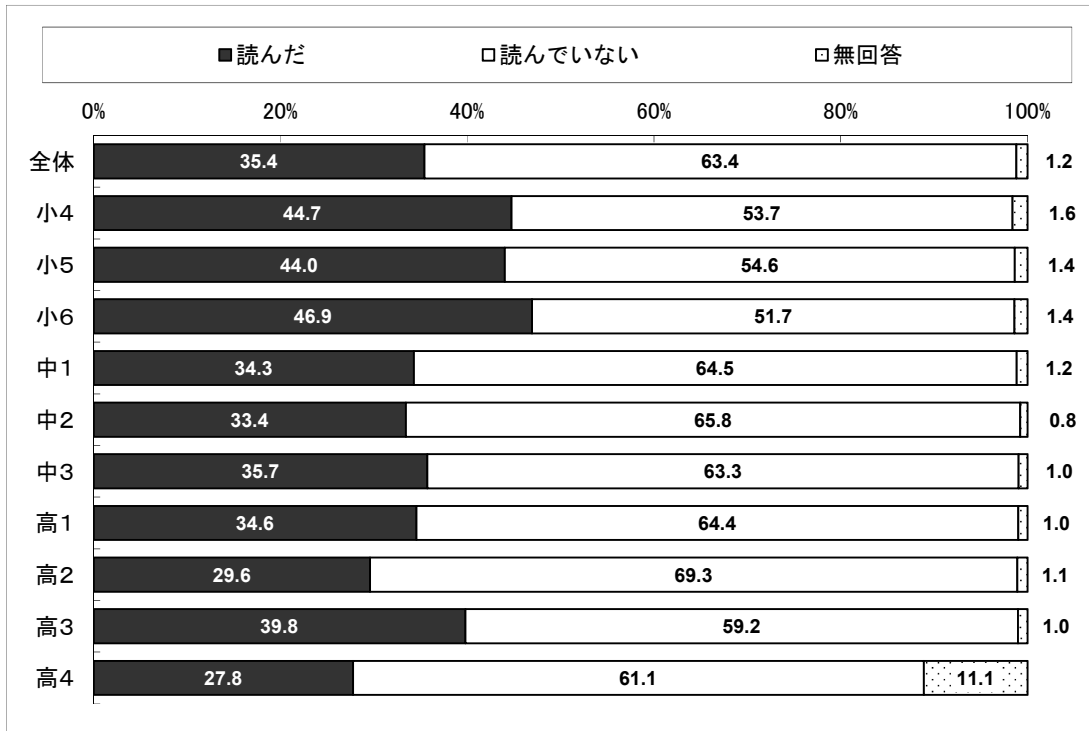


Q1-1③. 読んだものを選んで下さい。(複数回答可)

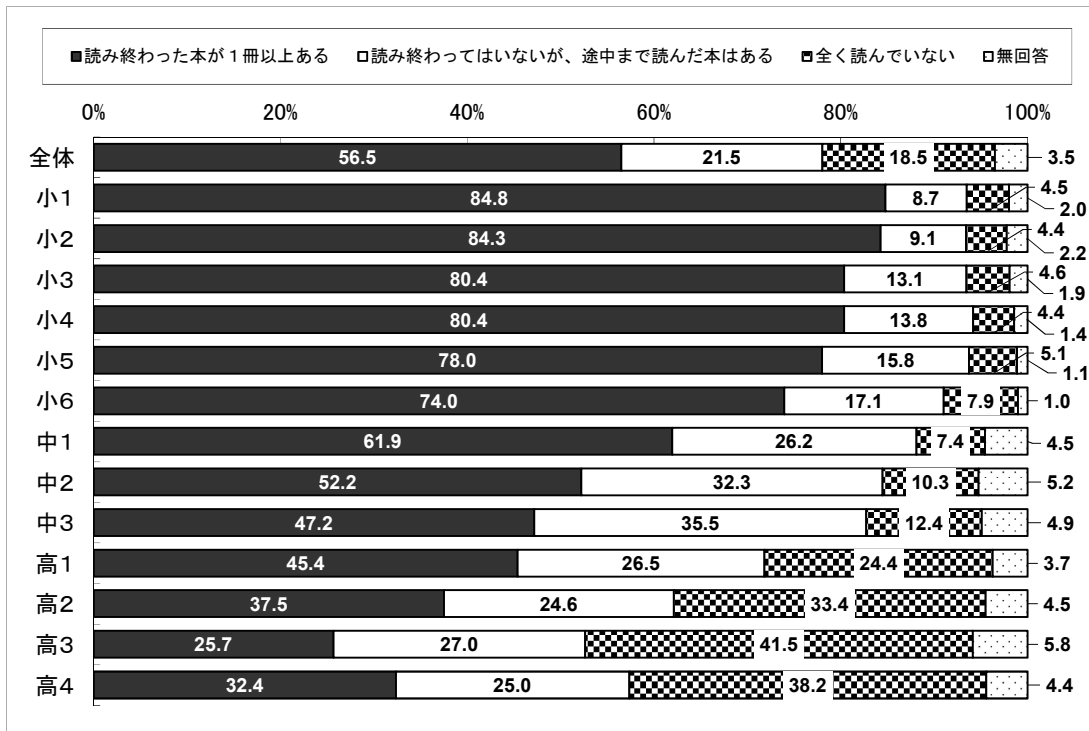




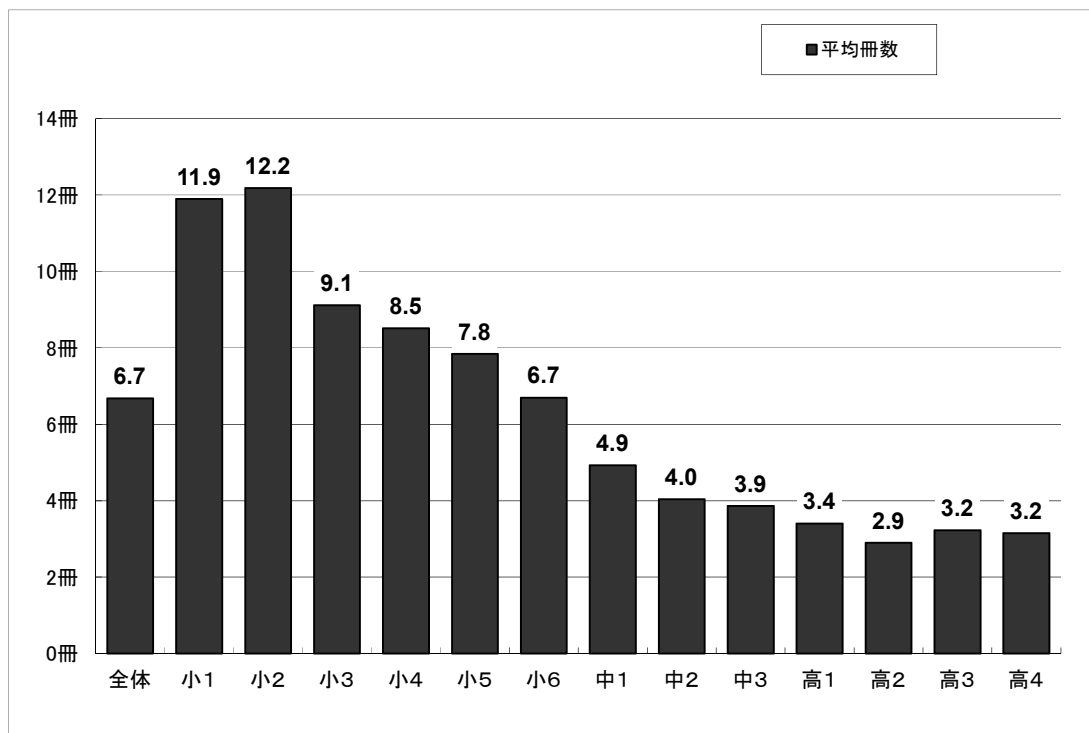
Q1-1④. 読んだものの中に日本または海外の歴史・文化・習慣について書かれたものがありましたか。



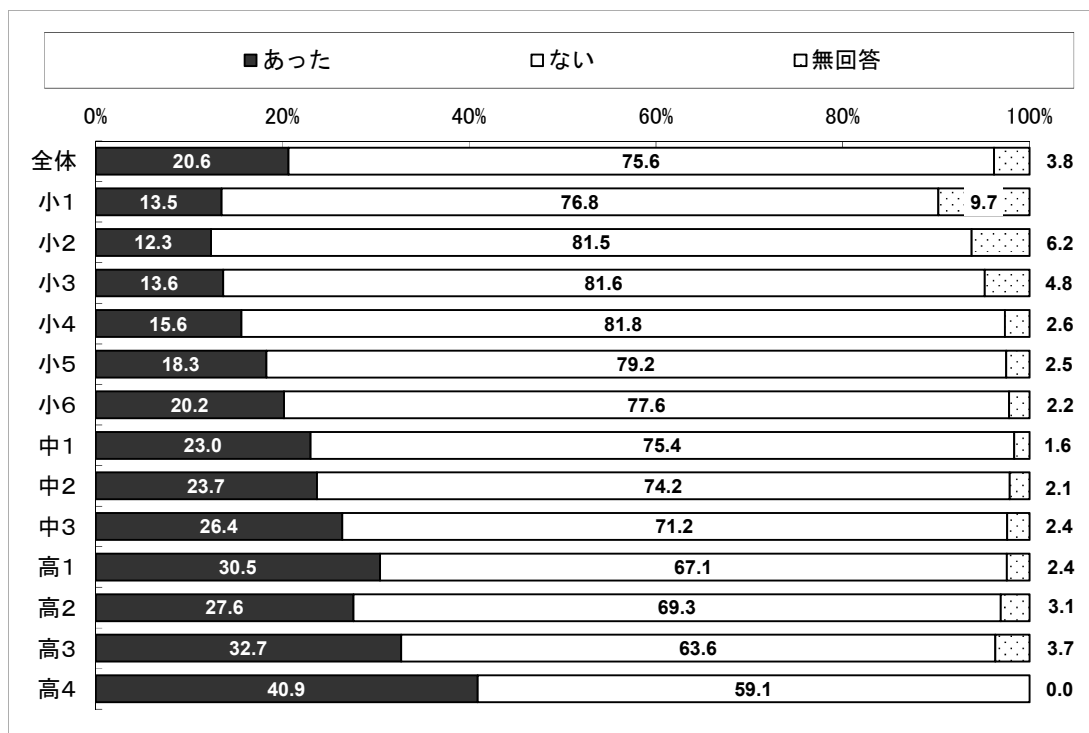
Q2. この1か月間に本を読みましたか。(電子書籍も含みます。) ※授業の中で読んだ本は数えません。



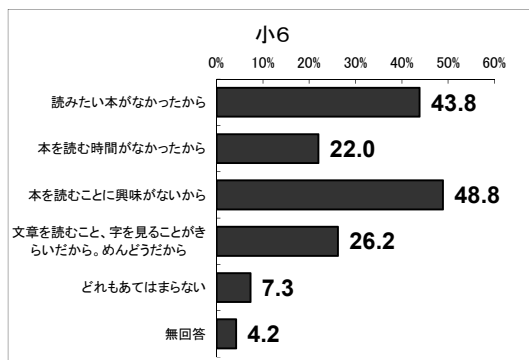
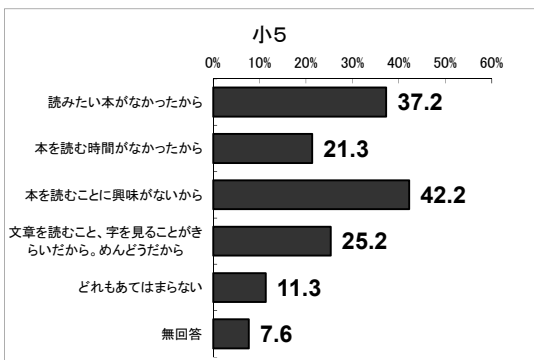
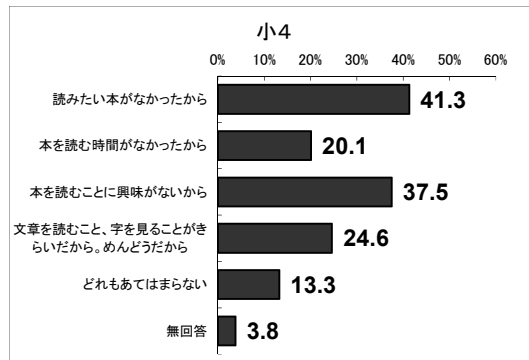
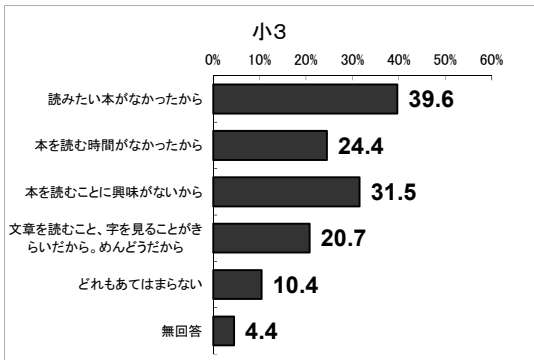
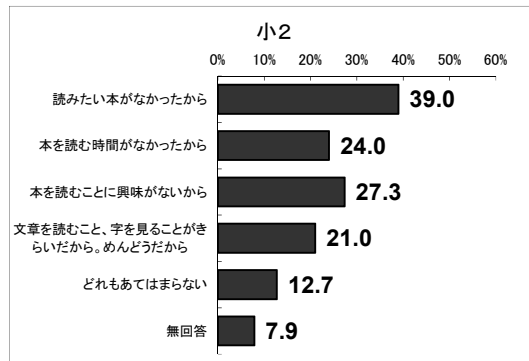
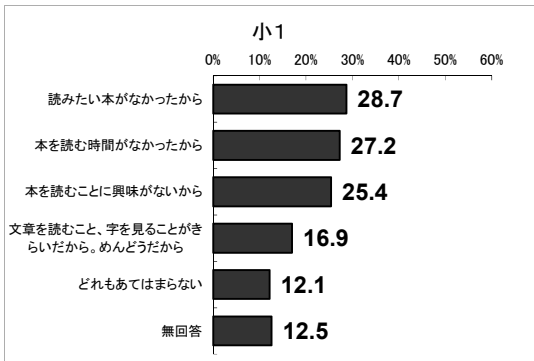
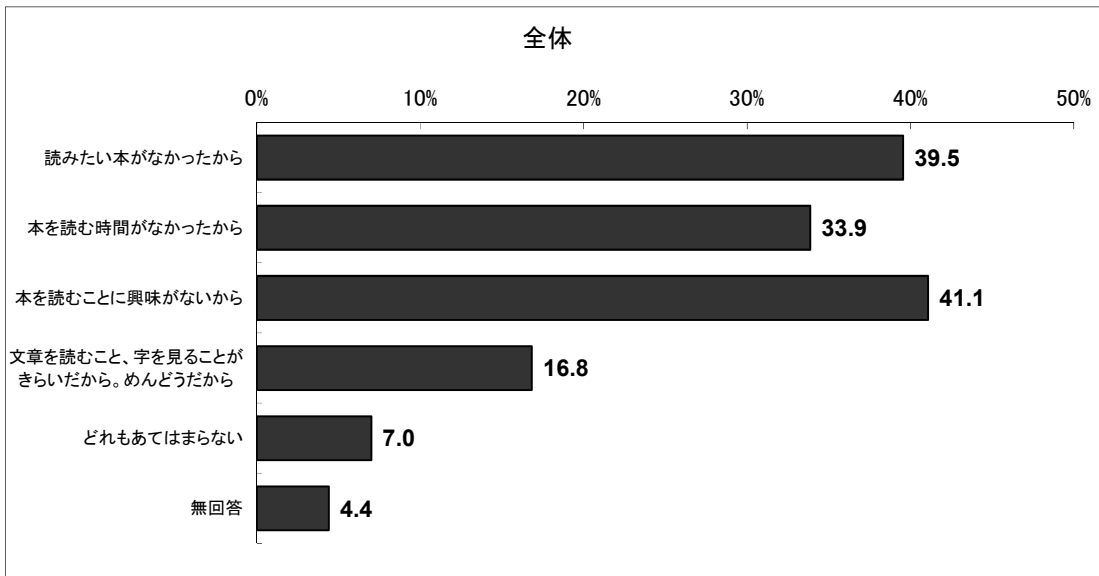
Q2-1①. Q2で「読み終わった本が1冊以上ある」に○をつけた人だけ教えてください。
読み終わった本は何冊ありますか。 ※読みかけの本は含みません。

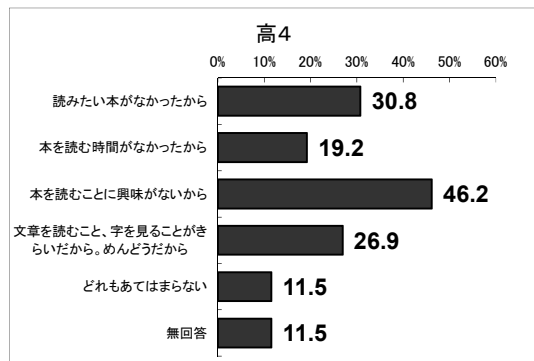
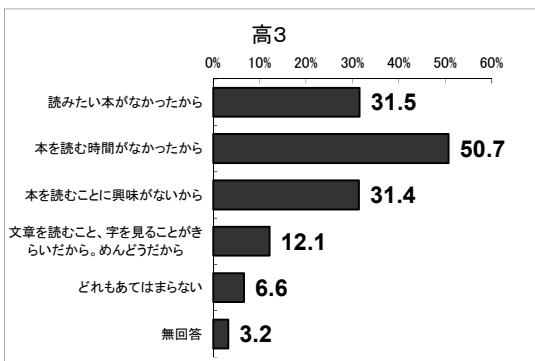
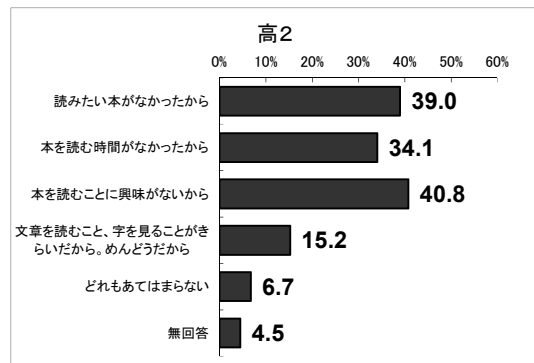
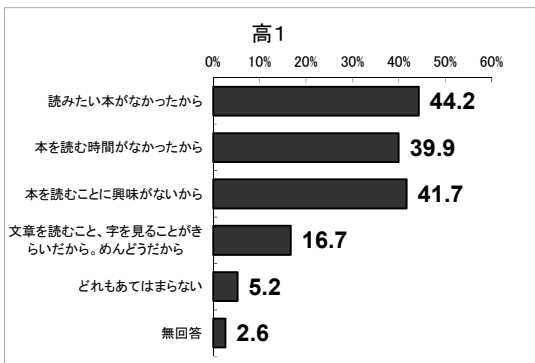
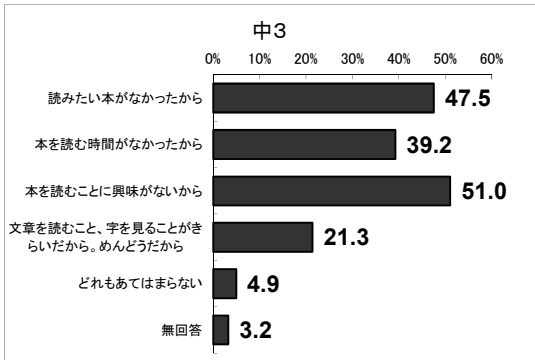
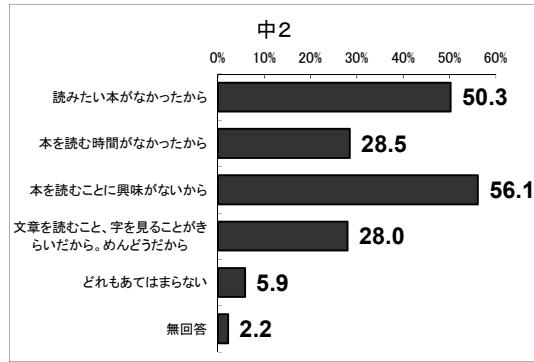
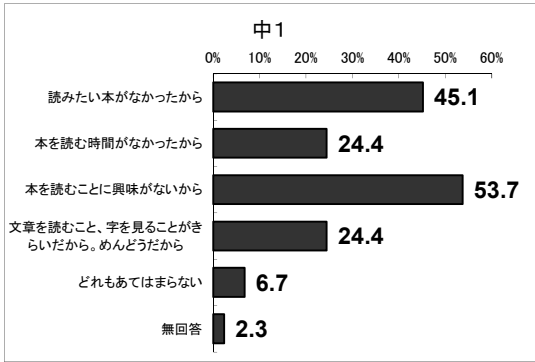


Q2-1②. Q2で「読み終わった本が1冊以上ある」に○をつけた人だけ教えてください。
読んだ本の中に電子書籍はありましたか。

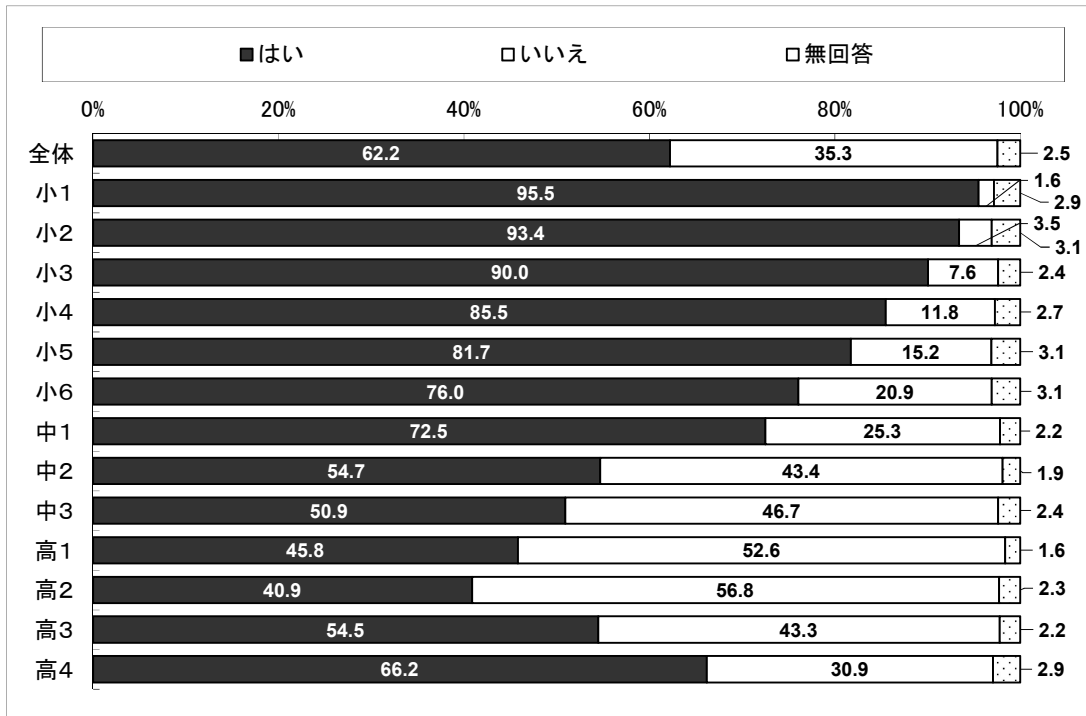


Q2-2. Q2で「全く読んでいない」に○をつけた人だけ教えてください。
本を読まなかった理由は何ですか。(複数回答可)

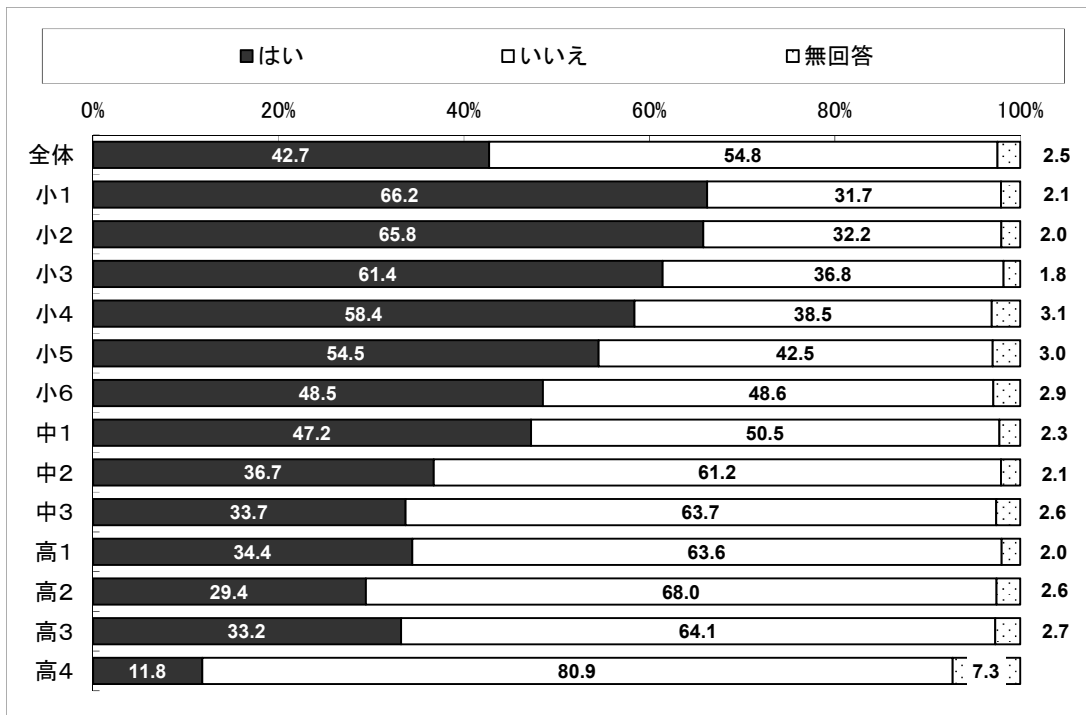




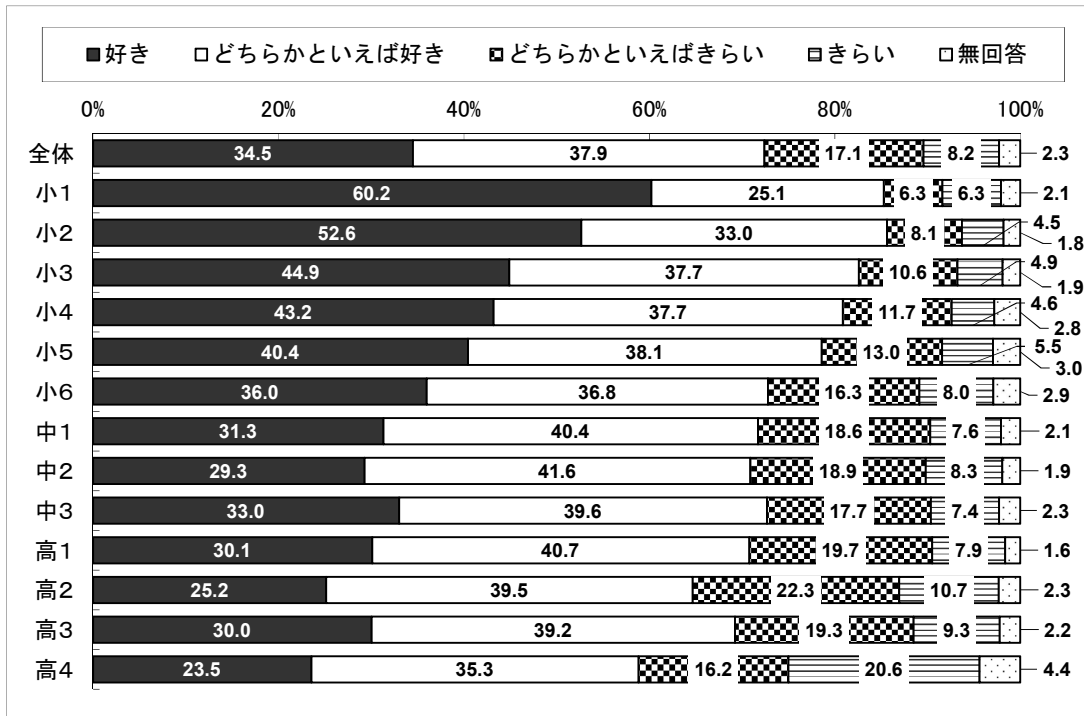
Q3. 4月から今までの間に、学校の図書館を利用しましたか。



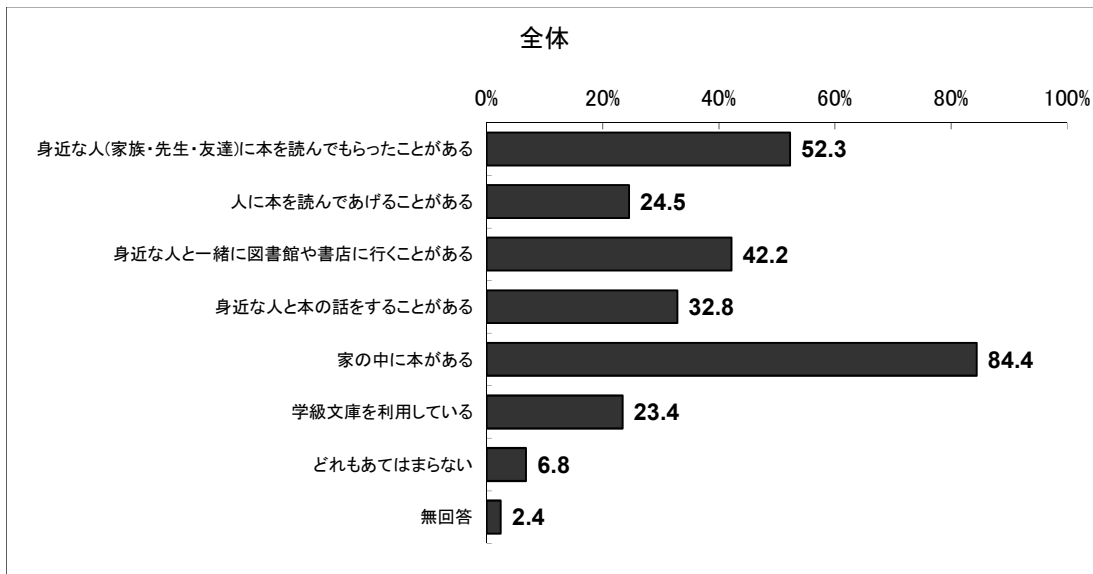
Q4. 4月から今までの間に、学校図書館以外の図書館（国・都・区市町村立や私立の図書館）を利用しましたか。

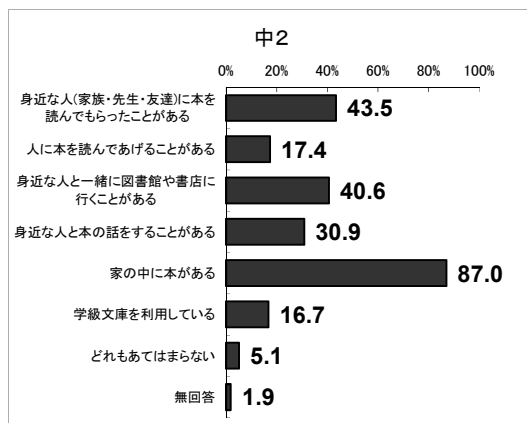
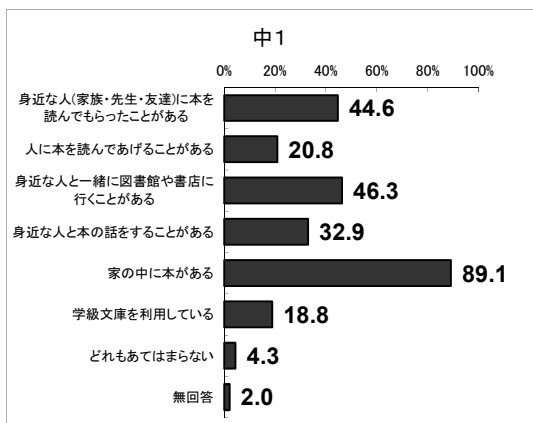
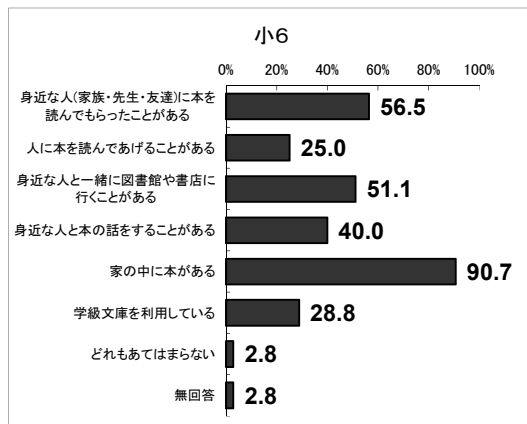
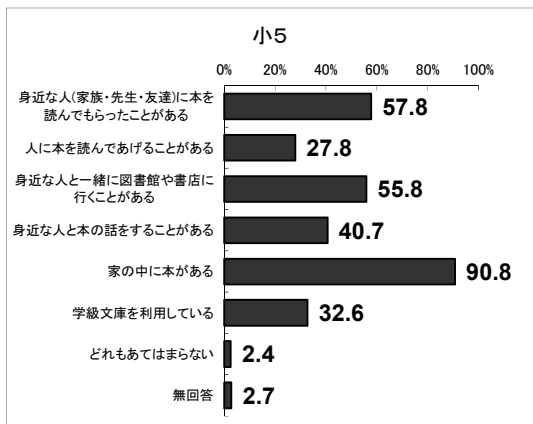
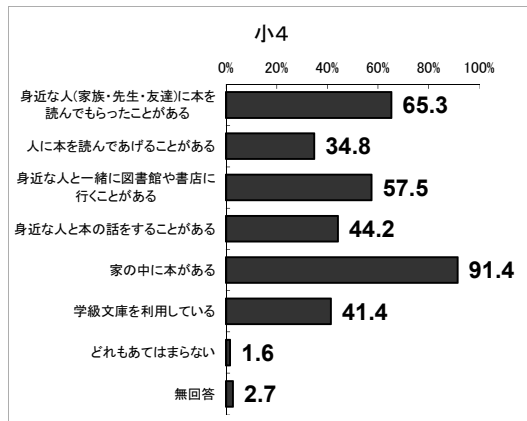
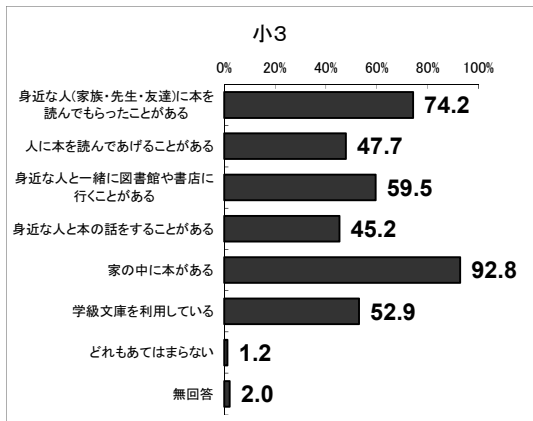
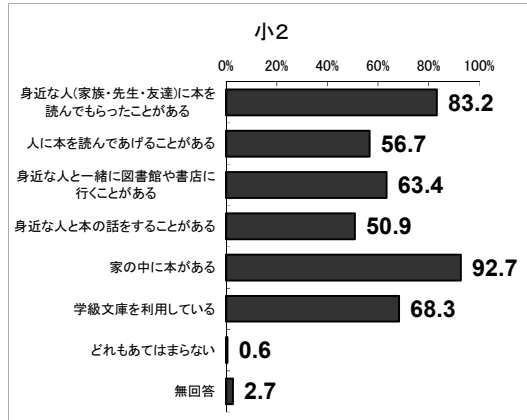
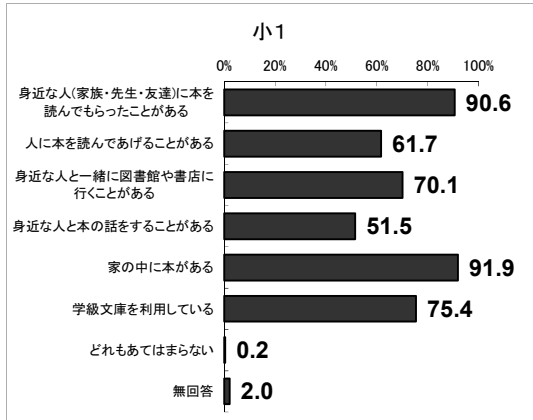


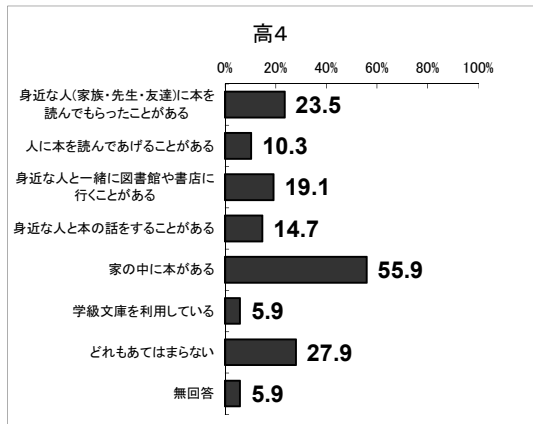
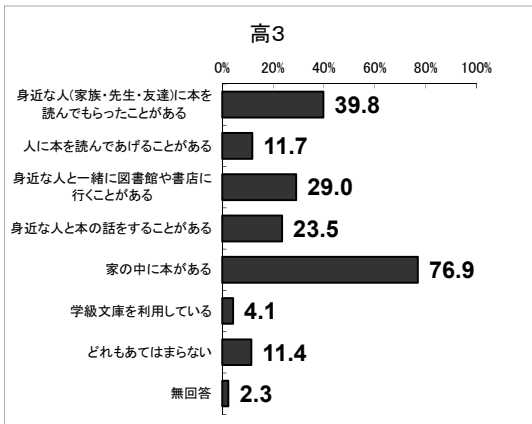
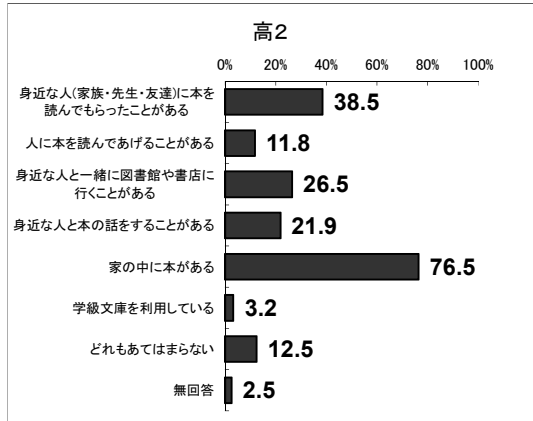
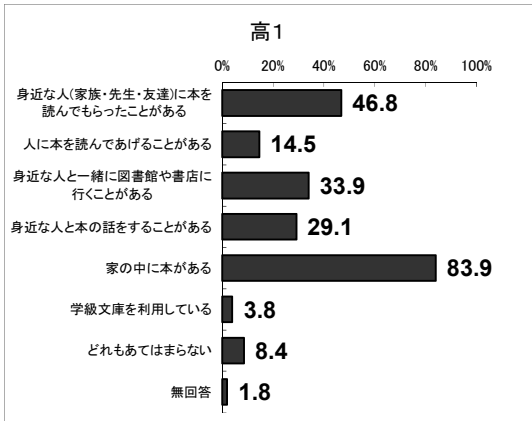
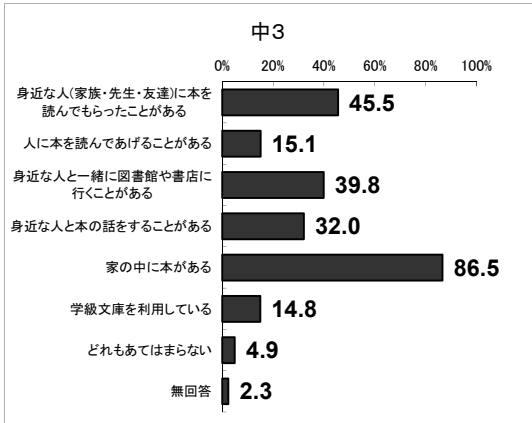
Q5. あなたは本を読むことが好きですか。



Q6. あなたについてあてはまるものを選んでください。(複数回答可)



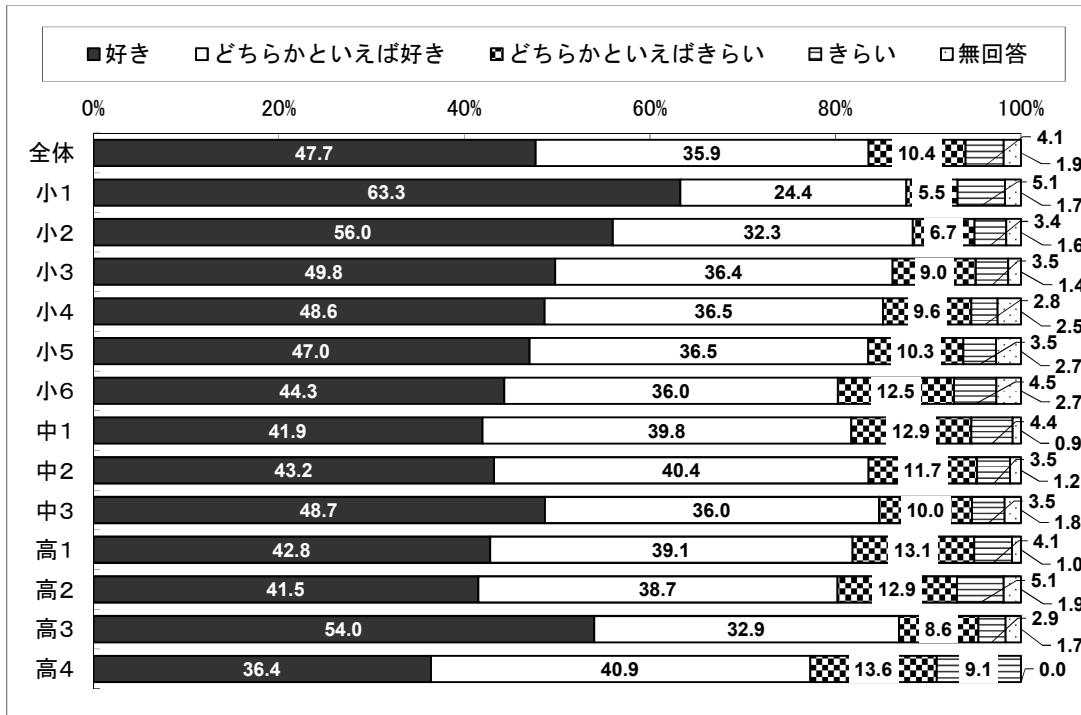




【クロス集計】

Q2. この1か月に本を読みましたか 「読み終わった本が1冊以上ある」

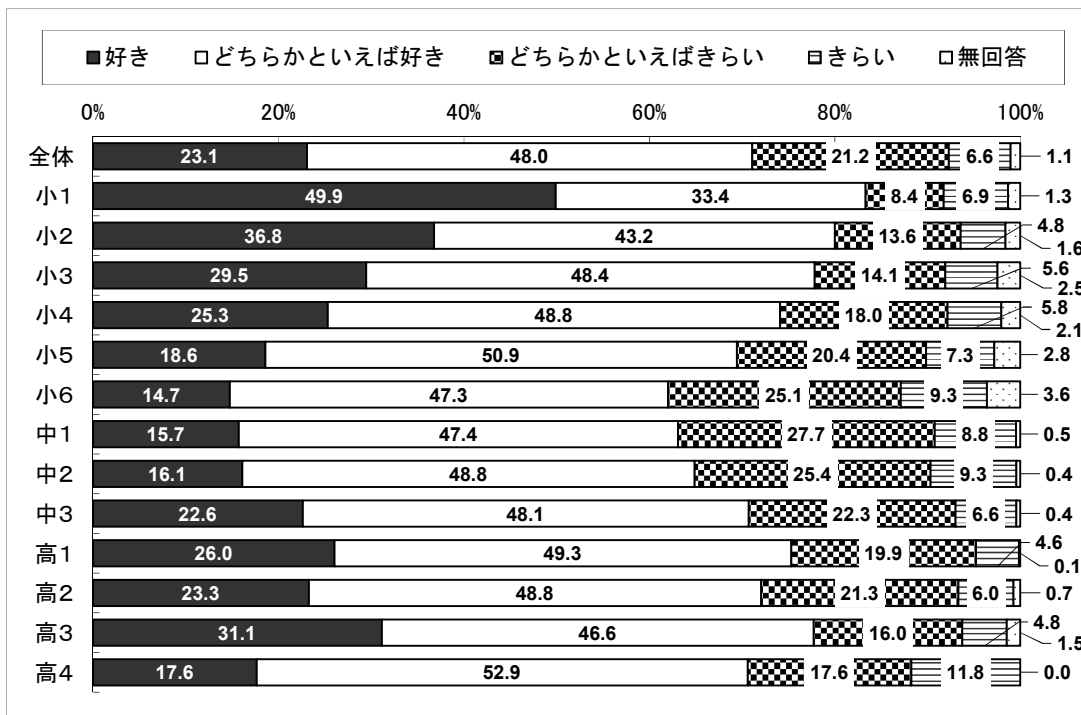
× Q5. あなたは本を読むことが好きですか



【クロス集計】

Q2. この1か月に本を読みましたか 「読み終わってはいないが、途中まで読んだ本はある」

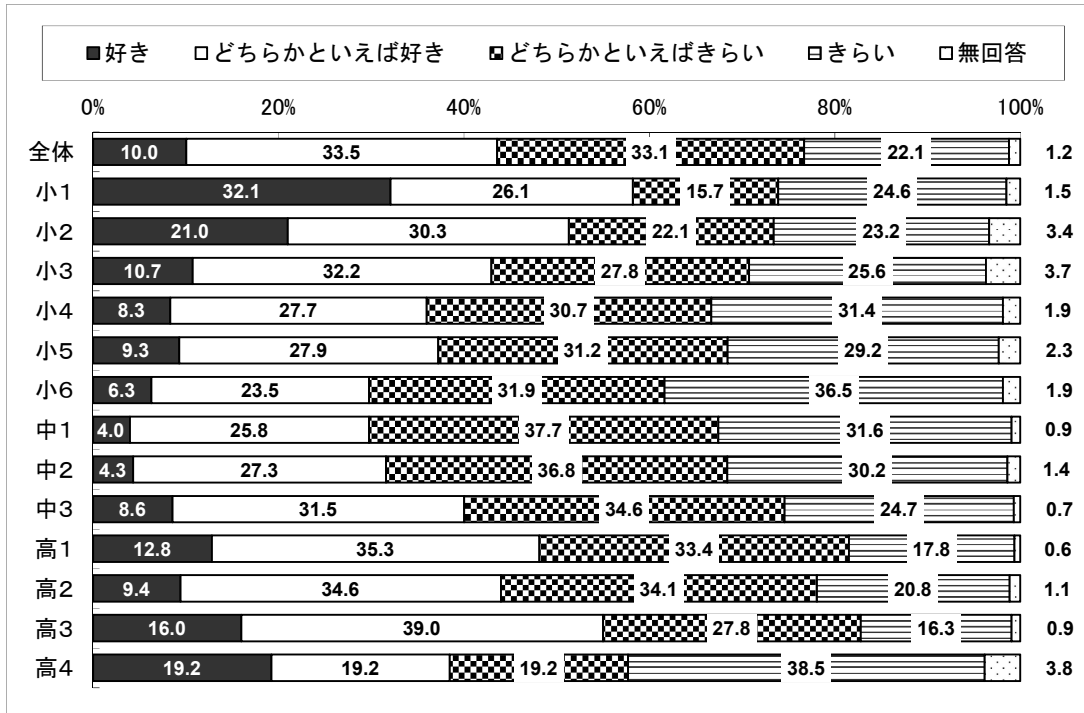
× Q5. あなたは本を読むことが好きですか



【クロス集計】

Q2. この1か月に本を読みましたか 「全く読んでいない」

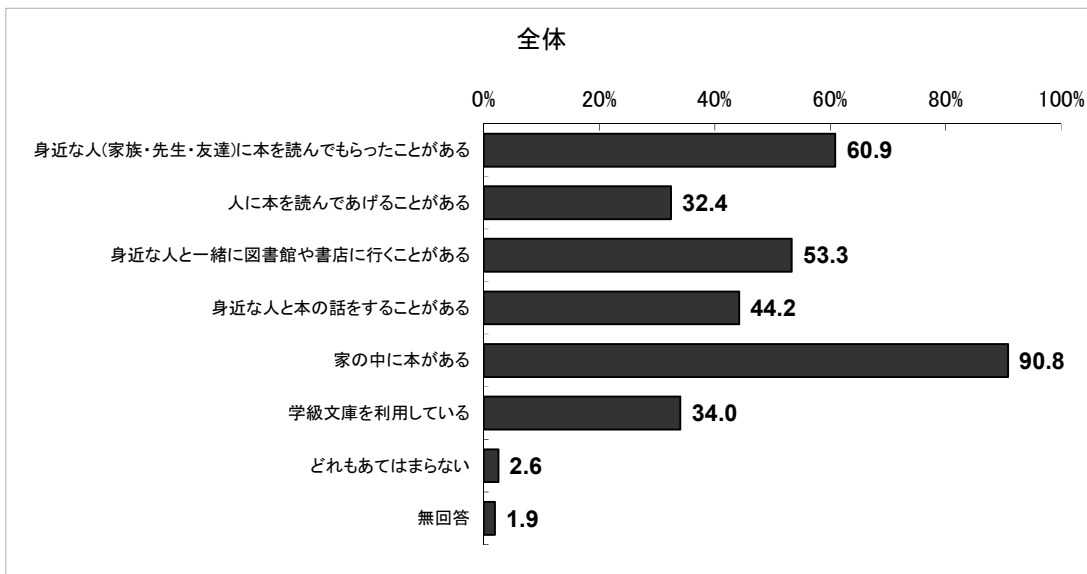
× Q5. あなたは本を読むことが好きですか

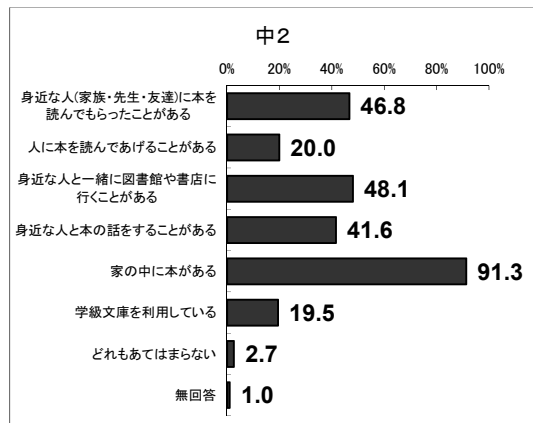
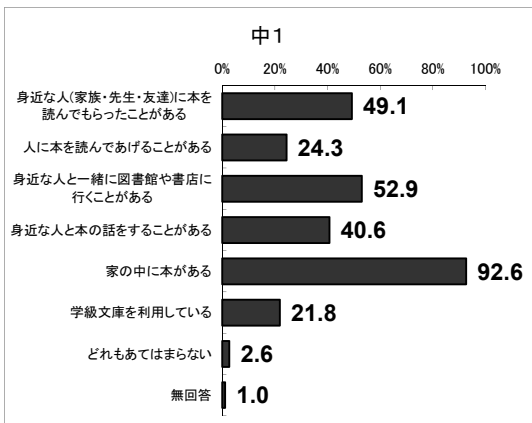
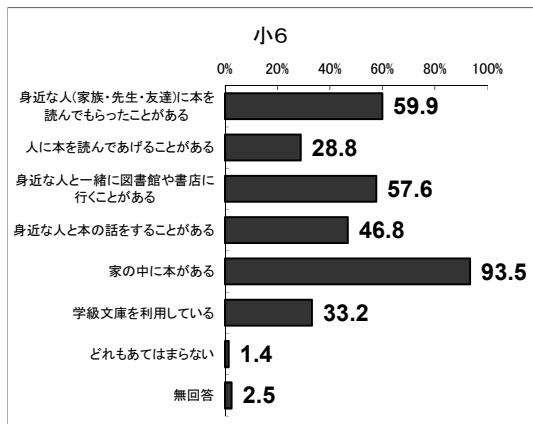
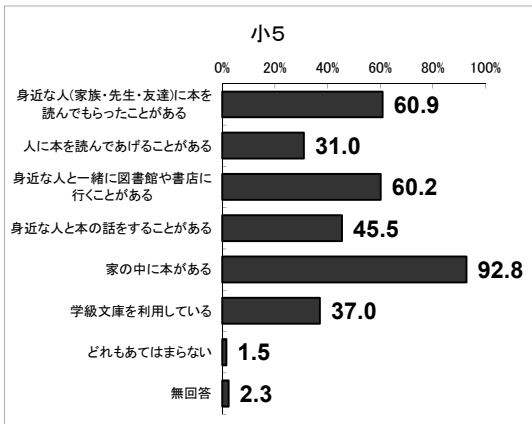
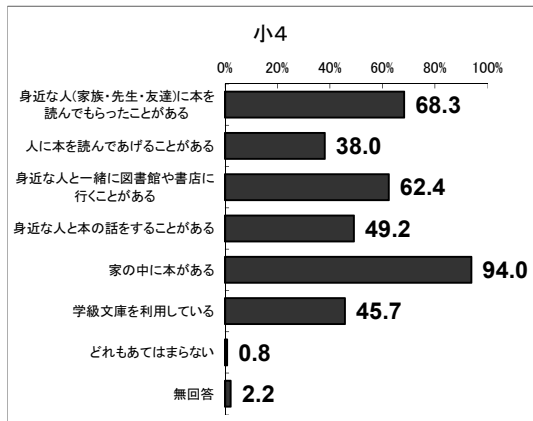
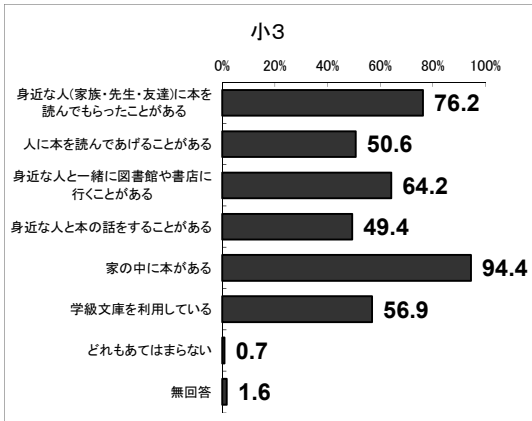
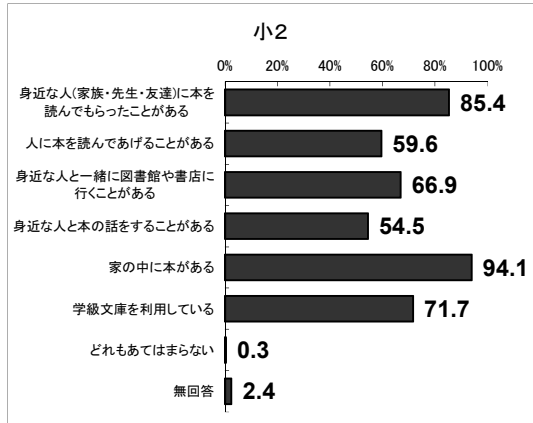
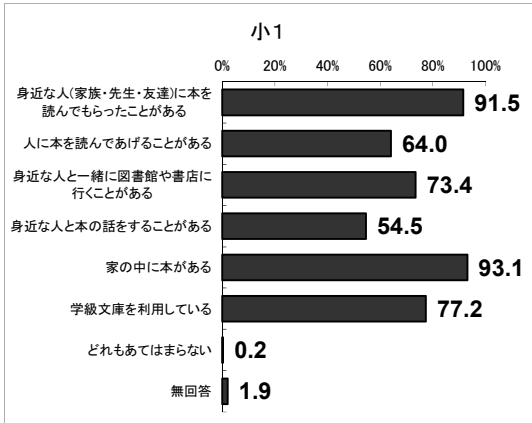


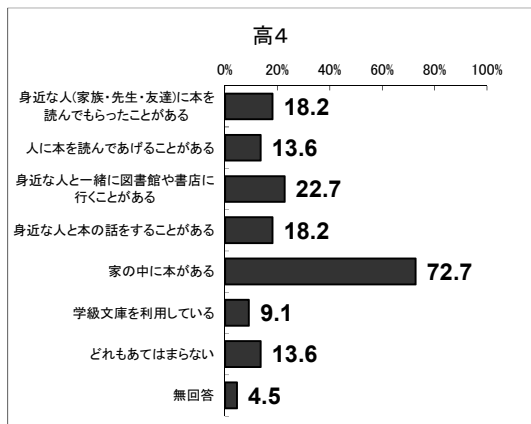
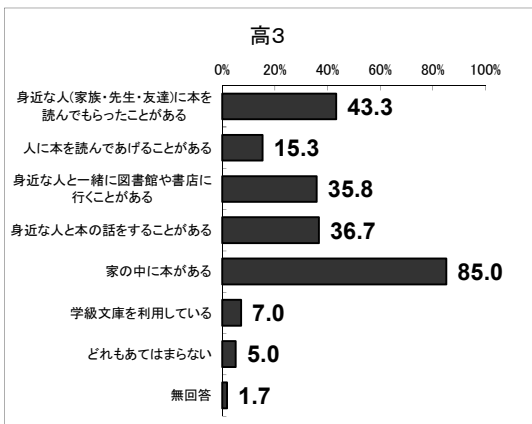
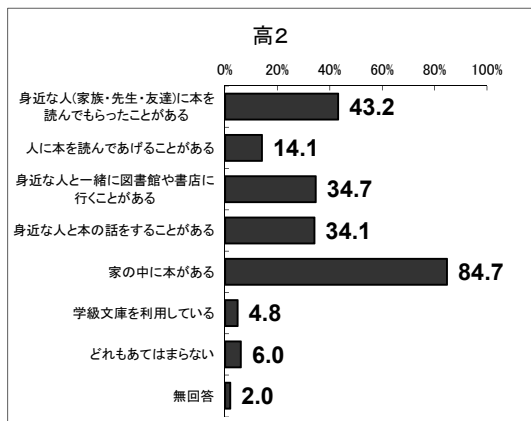
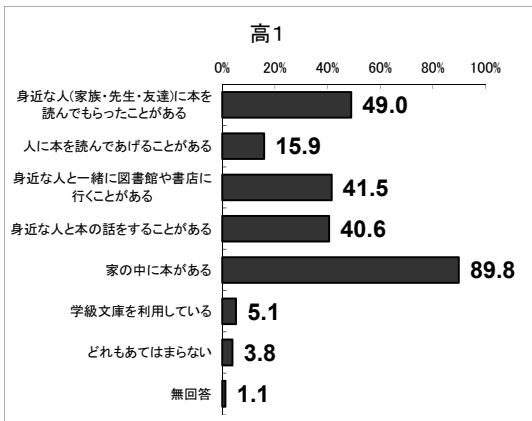
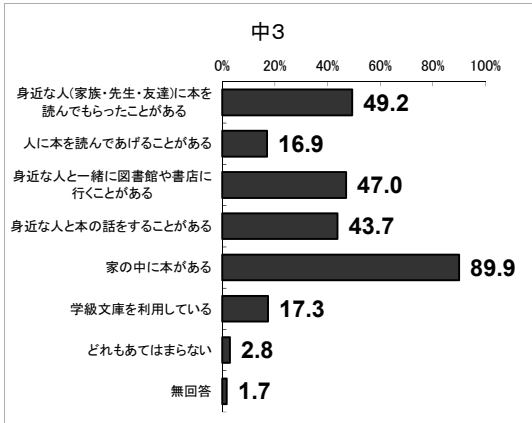
【クロス集計】

Q2. この1か月に本を読みましたか 「読み終わった本が1冊以上ある」

× Q6. あなたについてあてはまるものを選んでください。(複数回答可)

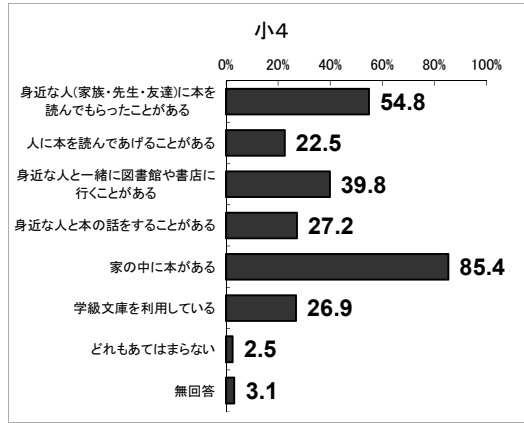
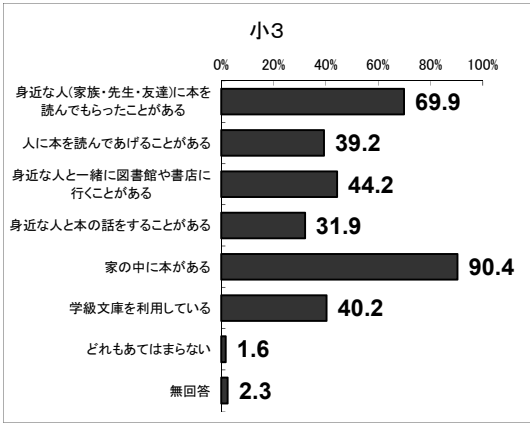
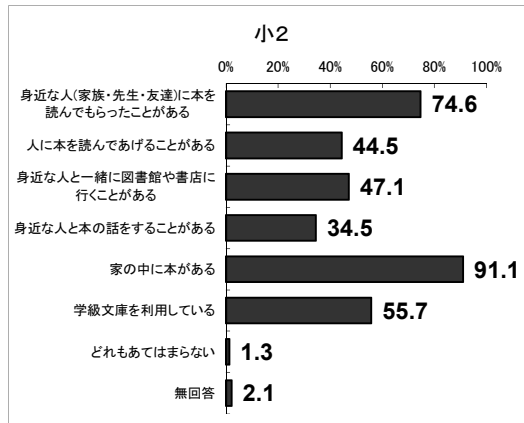
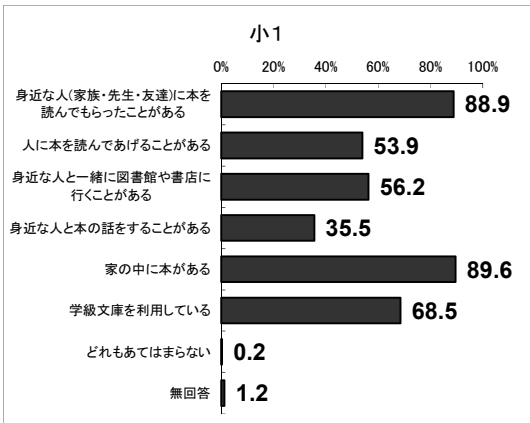
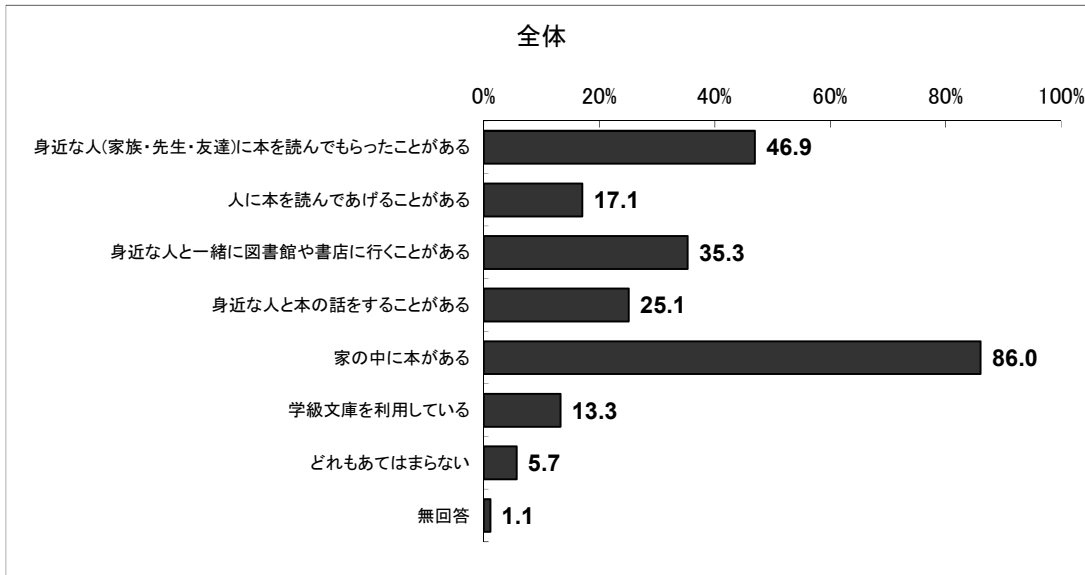


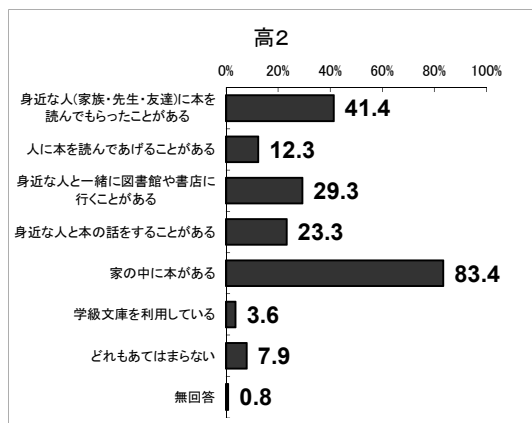
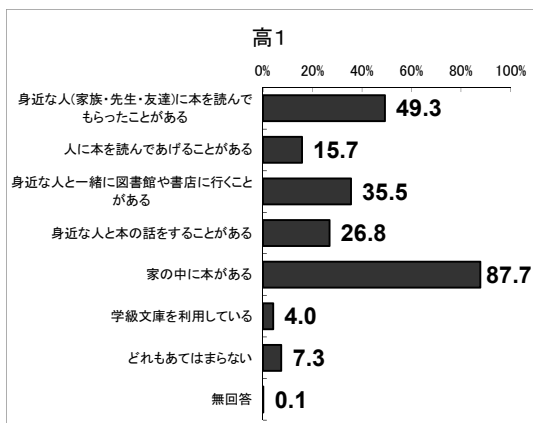
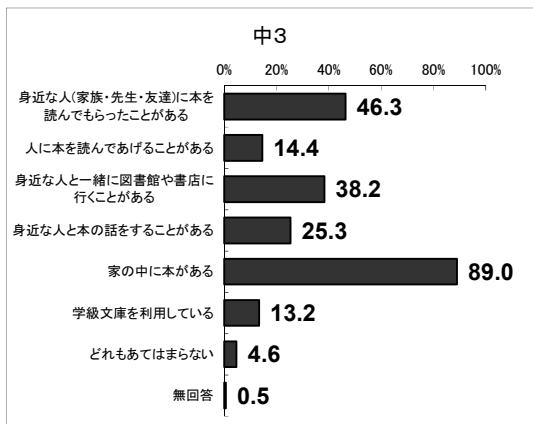
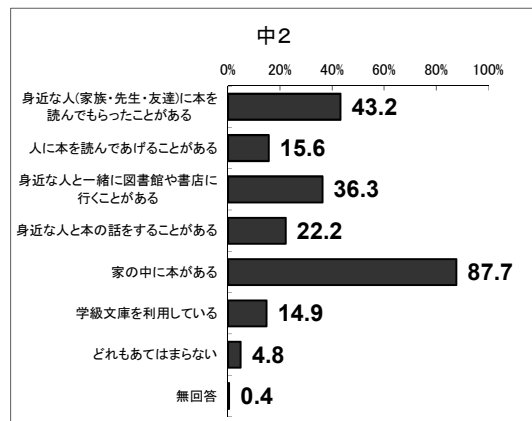
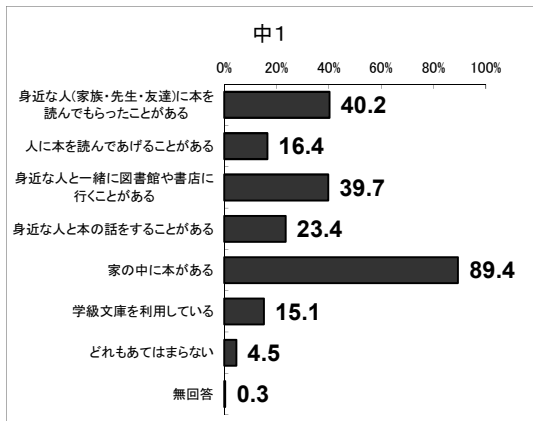
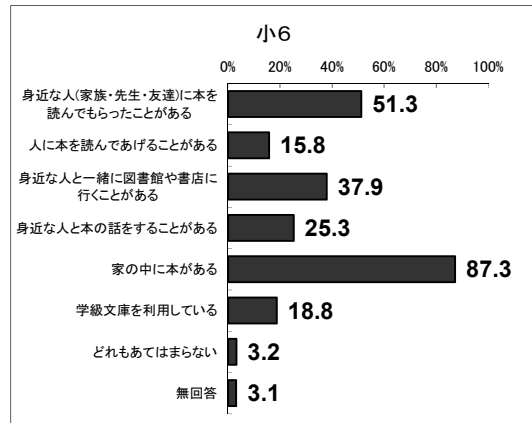
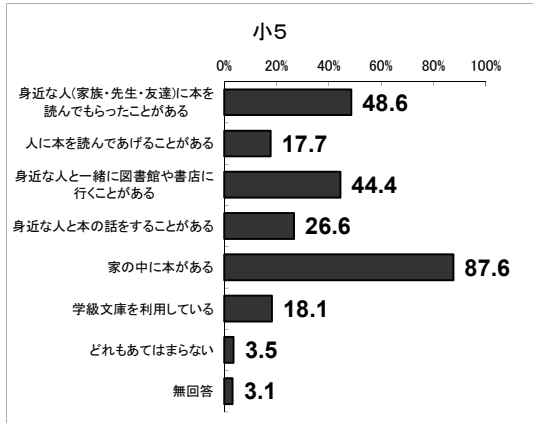


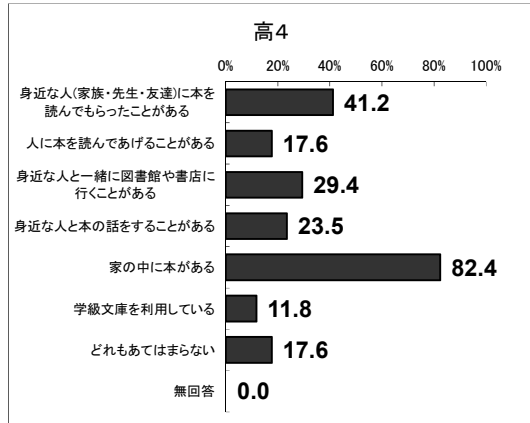
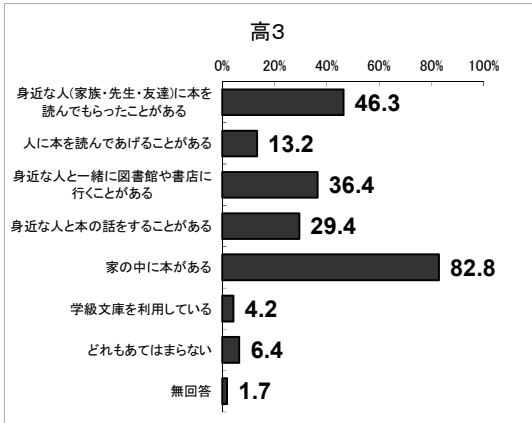


【クロス集計】

Q2. この1か月間に本を読みましたか 「読み終わってはいないが、途中まで読んだ本はある」
 × Q6. あなたについてあてはまるものを選んでください。(複数回答可)



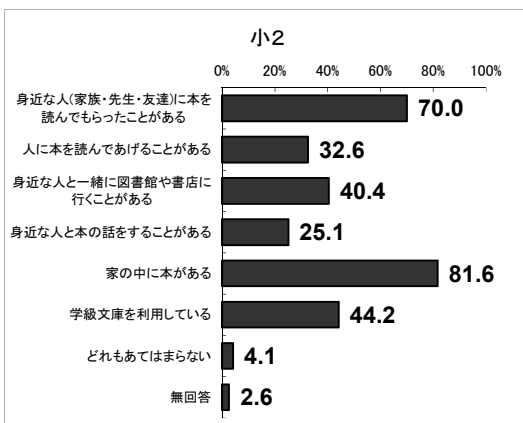
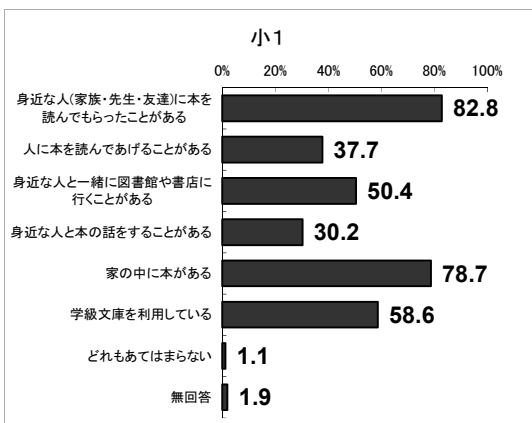
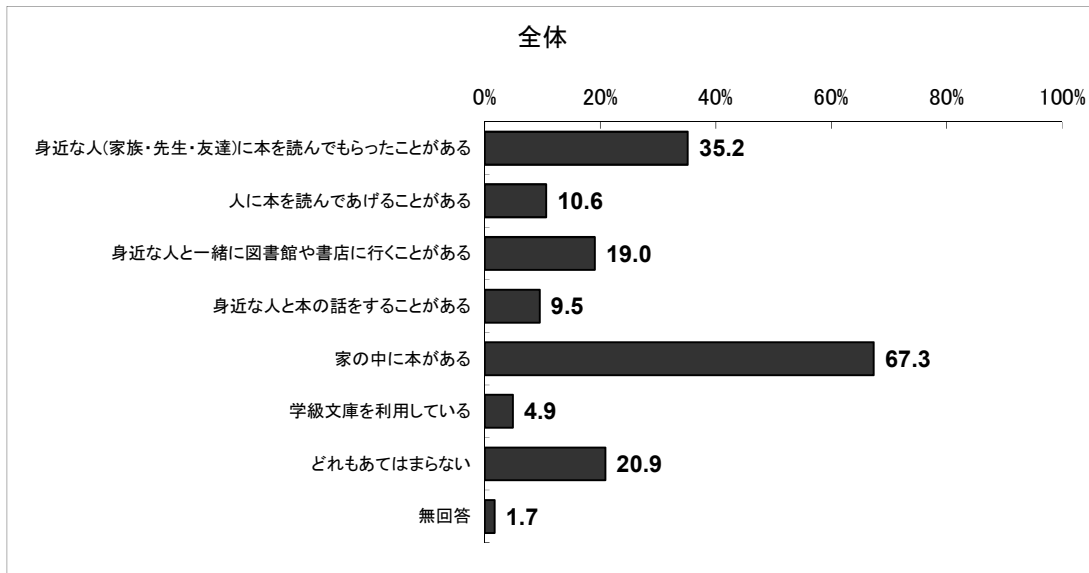


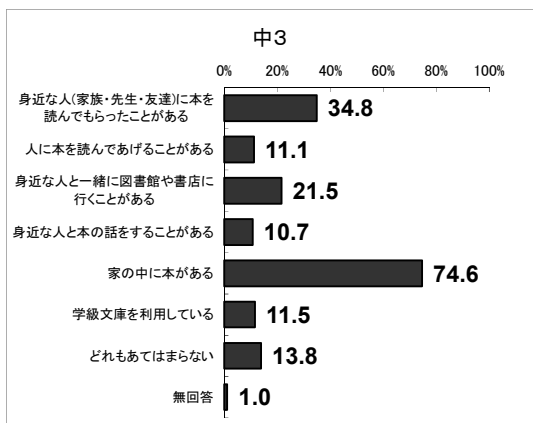
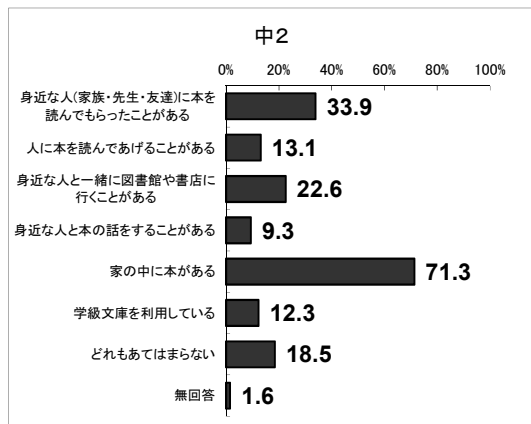
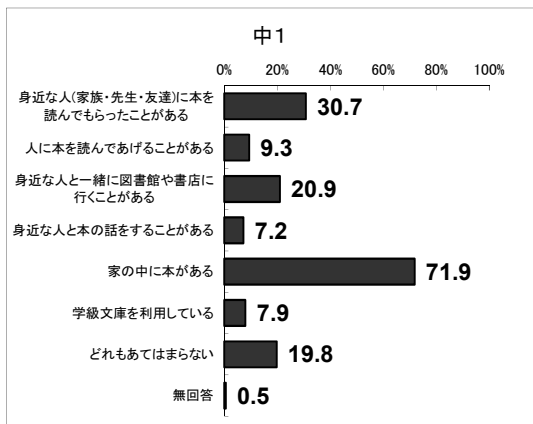
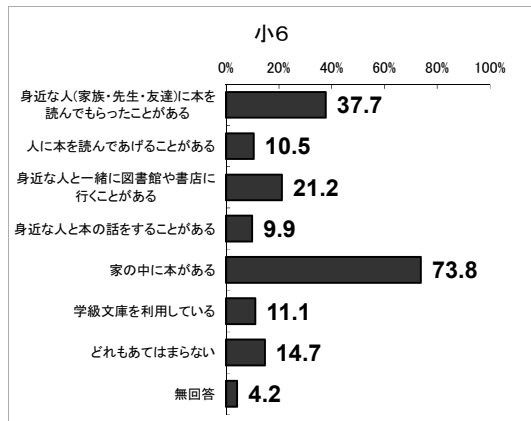
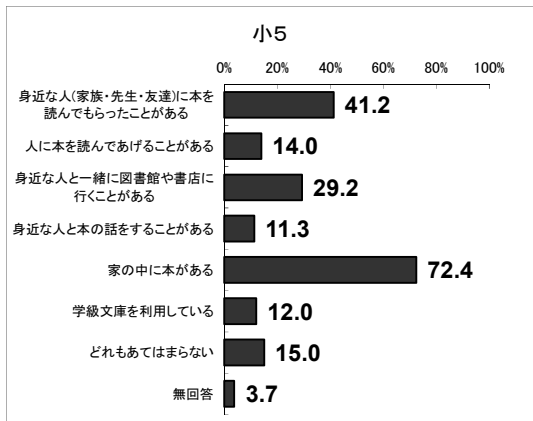
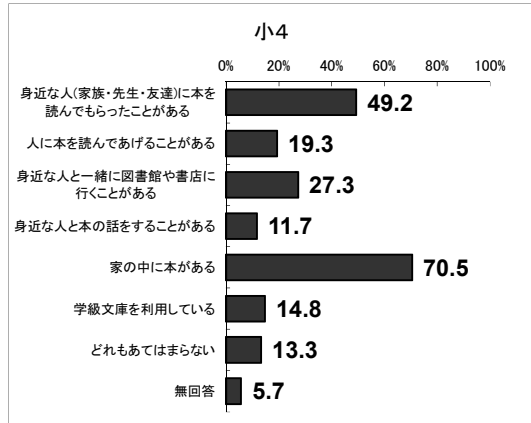
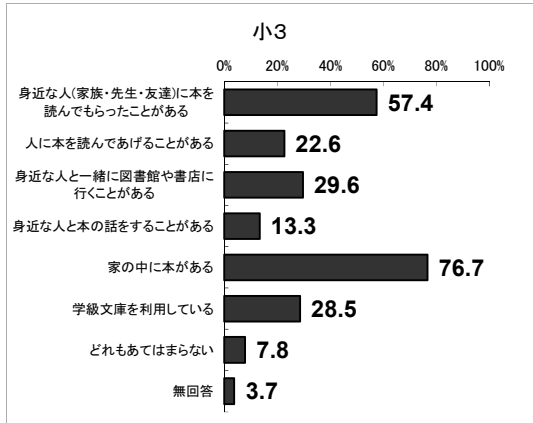


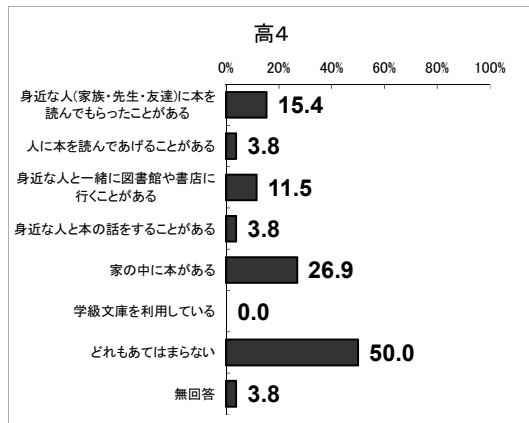
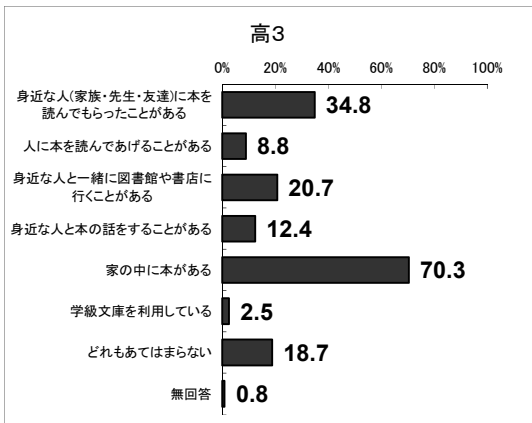
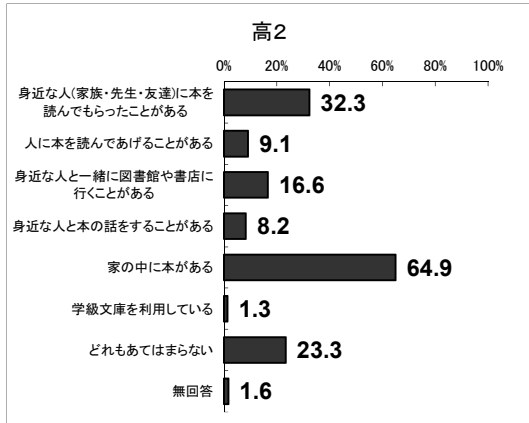
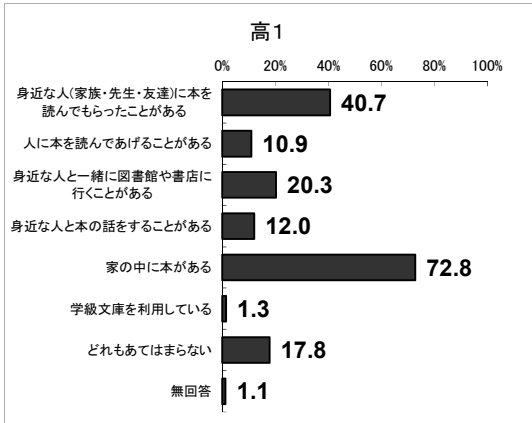
【クロス集計】

Q2. この1か月間に本を読みましたか 「全く読んでいない」

× Q6. あなたについてあてはまるものを選んでください。(複数回答可)

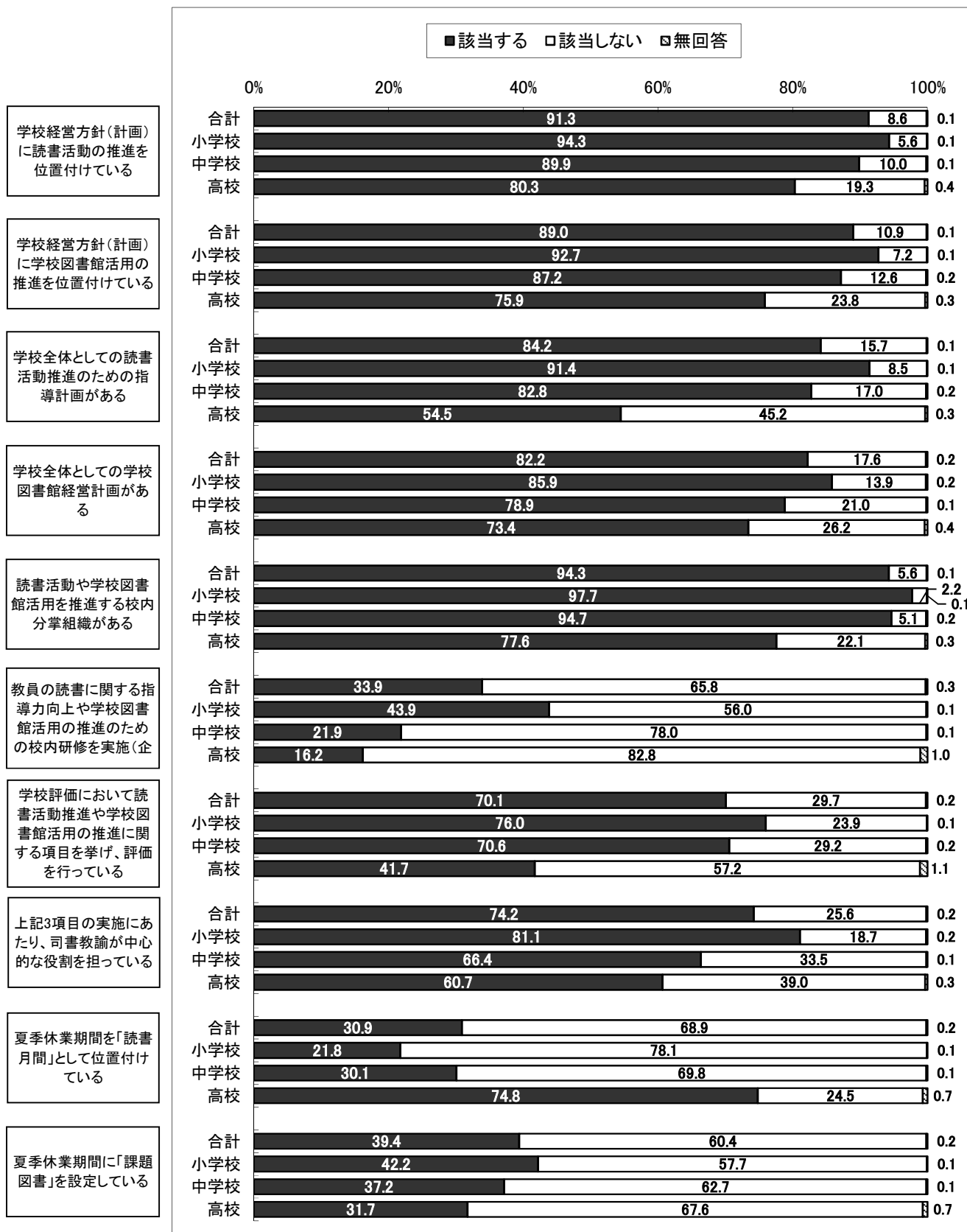






令和4年度 【調査2】学校における読書活動等の状況に関する調査結果

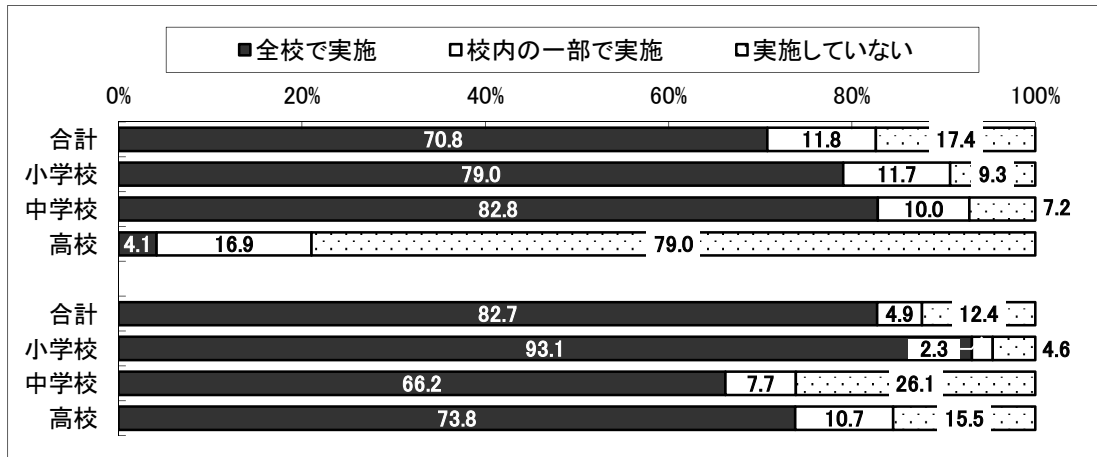
1. 学校としての読書活動等の推進



2. 読書時間の確保 ※教科及び総合的な探究の時間で実施しているものを除く。

朝や昼休み等に読書時間を設定している

「読書週間」「読書月間」等を設けている(夏季休業期間中を含む)



3. 読書指導の充実

教師や生徒(児童)による読み聞かせを実施している

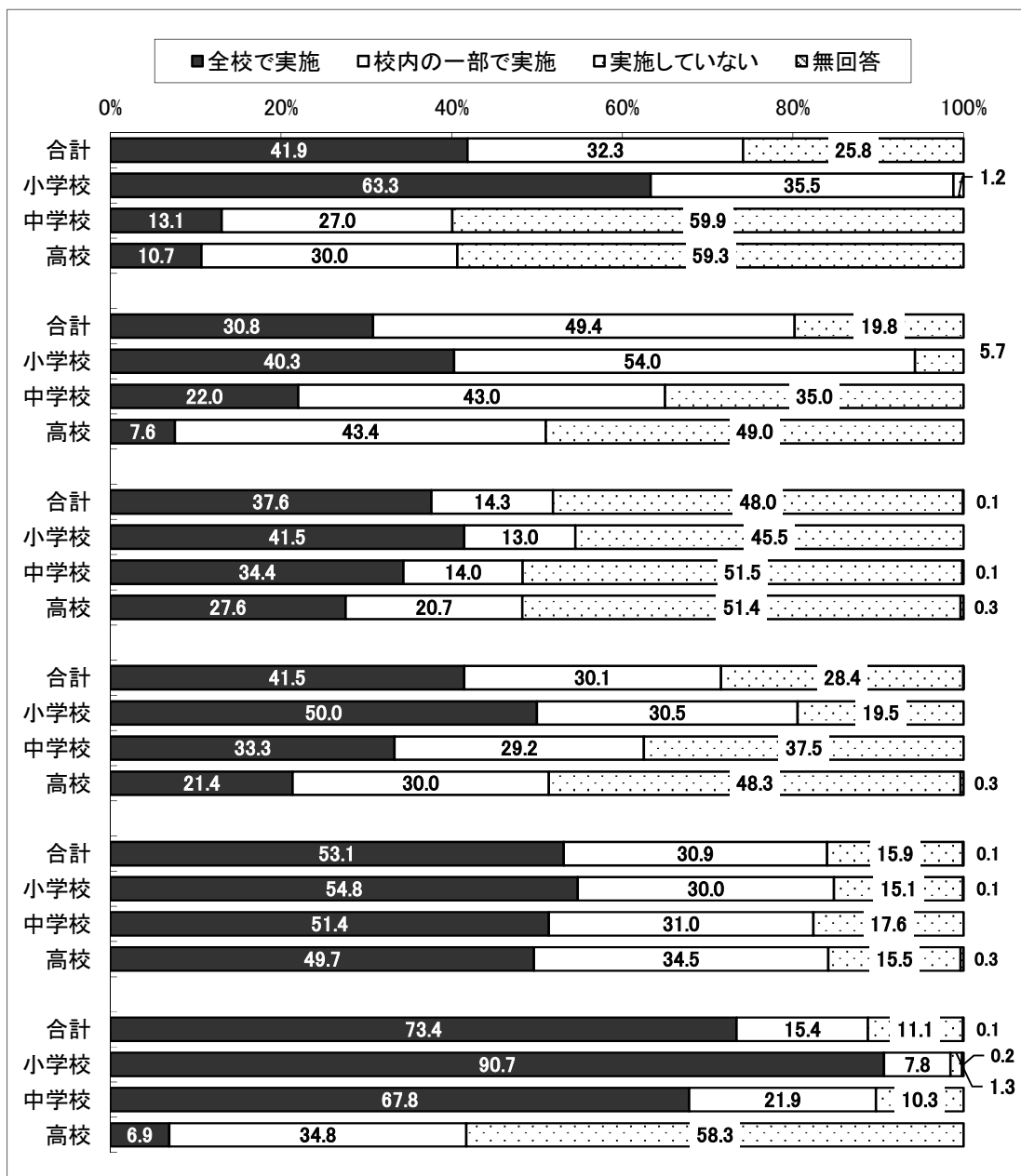
学級活動等で読書会等、本を読んで思ったことを伝える場を設けている(ピブリオバトルを除く)

独自の「課題図書」等のリストを作成している(夏季休業期間中を含む)

読書指導の資料・教材を作成し、校内で組織的に活用している

教師の推薦図書を冊子や授業等で生徒(児童)に紹介している

学級文庫を設置している



Q 4. 各教科、特別活動、総合的な学習の時間における学校図書館の利用の位置付け(学校数)

★小学校

	国語	社会	算数	理科	生活	音楽	図画 工作	家庭	体育	道徳	外国語 活動	総合	特別 活動	その他
1学年	1,255		39		693	35	151		36	173			285	131
2学年	1,262		42		717	32	154		35	170			298	132
3学年	1,259	801	39	568		38	162		50	164		991	299	136
4学年	1,259	852	39	537		50	179		54	159		1,075	304	143
5学年	1,253	886	41	518		55	201	135	60	159	112	1,092	370	148
6学年	1,248	883	42	511		57	201	140	60	164	115	1,090	370	150

★中学校

	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保健 体育	技術 家庭	外国語	道徳	総合	特別 活動	その他
1学年	556	196	32	91	46	118	42	64	72	66	531	295	104
2学年	536	195	35	84	45	112	44	63	82	64	532	285	102
3学年	527	198	38	75	43	114	44	65	81	66	539	289	104

★高等学校(全日制)

	国語	地理 歴史	公民	数学	理科	保健 体育	芸術	外国語	家庭	情報	専門 教科	学校 設定 教科	総合	特別 活動
1学年	93	24	15	5	9	16	16	17	12	6	13	11	66	26
2学年	84	27	14	3	9	33	15	18	25	5	14	18	68	23
3学年	69	22	20	4	13	9	15	12	28	5	18	18	53	22
4学年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

★高等学校(定時制・通信制)

	国語	地理 歴史	公民	数学	理科	保健 体育	芸術	外国語	家庭	情報	専門 教科	学校 設定 教科	総合	特別 活動
1学年	29	7	7	2	3	4	7	6	2	2	3	4	19	11
2学年	25	10	9	2	3	4	5	5	4	1	3	4	18	9
3学年	24	12	7	3	3	3	4	5	3	1	5	5	18	8
4学年	20	6	5	2	2	2	2	3	2	1	7	3	17	6

★特別支援学校小学部(視覚障害・聴覚障害・肢体不自由・知的障害・病弱)

	国語	社会	算数	理科	生活	音楽	図画 工作	家庭	体育	道徳科	外国語 活動 ・外国語	総合	特別 活動	各教科を 合わせた 指導	その他
1学年	51		5		15	1	4		1	4			17	37	11
2学年	50		5		13	3	4		1	4			17	37	10
3学年	50	7	4	5		3	3		1	3	1	17	16	36	11
4学年	48	7	5	6		3	3		1	3	1	15	14	36	11
5学年	51	7	5	6		1	3	4	1	3	2	15	16	38	11
6学年	52	7	6	6		1	3	4	1	3	2	16	16	38	11

★特別支援学校中学部(視覚障害・聴覚障害・肢体不自由・知的障害・病弱)

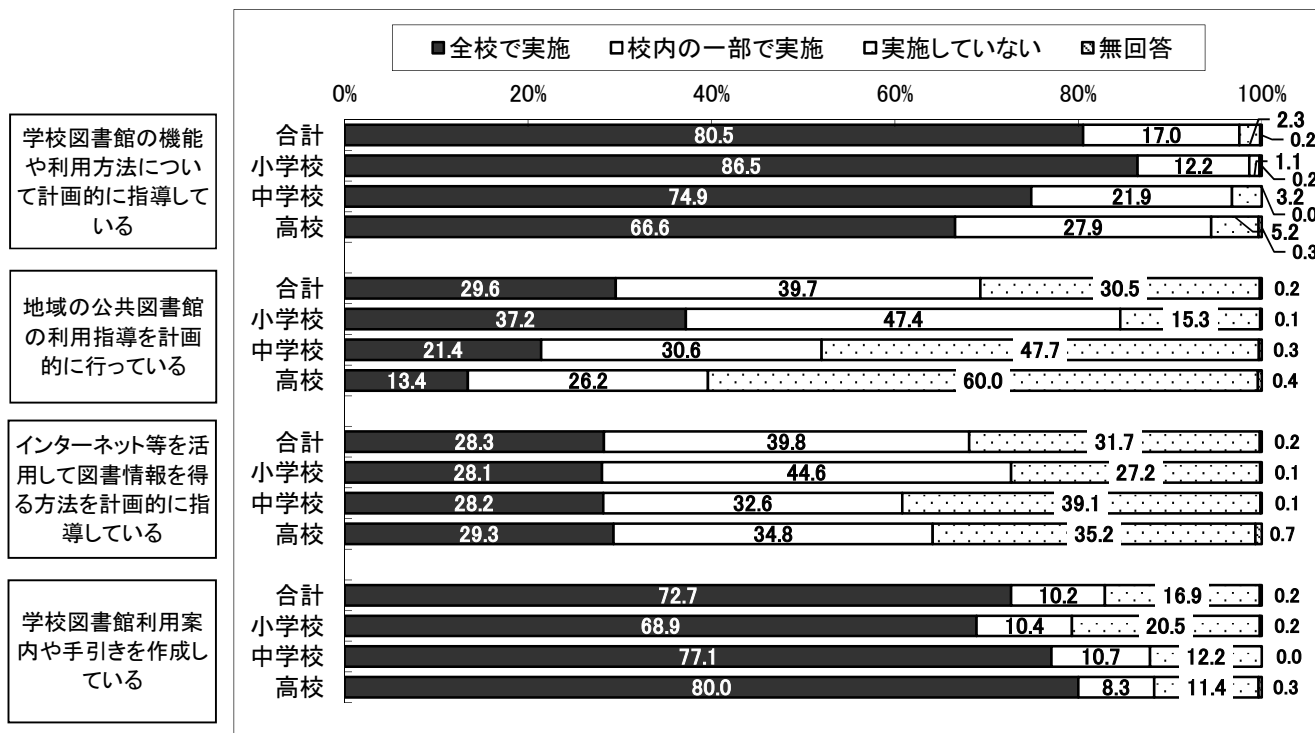
	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保健 体育	技術 家庭	外国語	道徳	総合	特別 活動	各教科を 合わせた 指導	その他
1学年	51	6	2	3	1	1	1	2	1	2	23	19	32	11
2学年	51	6	3	3	1	1	1	2	1	2	22	19	32	11
3学年	50	6	3	3	1	1	1	2	1	2	22	19	33	11

★特別支援学校高等部(視覚障害・聴覚障害・肢体不自由・知的障害・病弱)

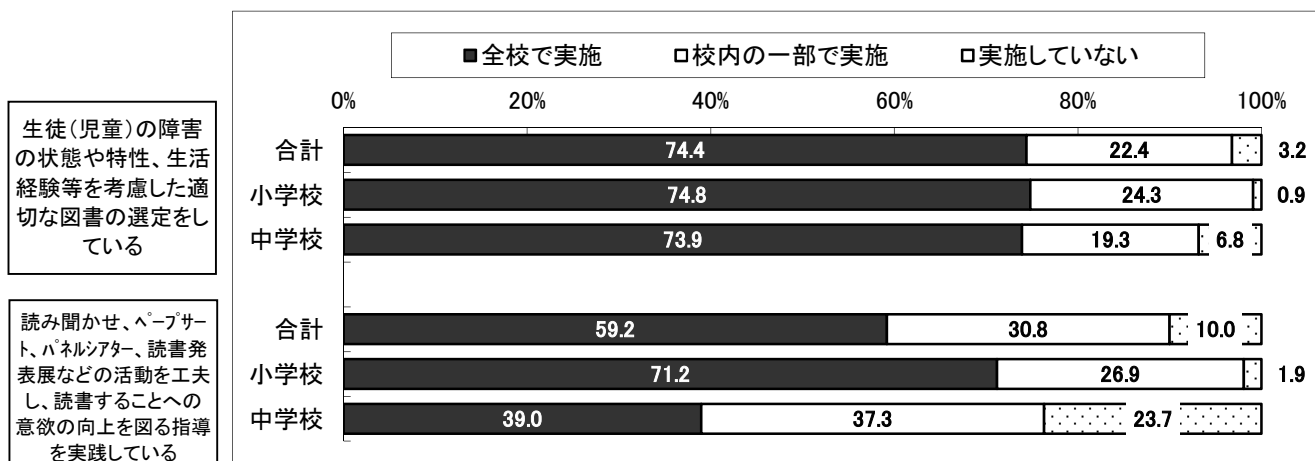
	国語	地理 歴史	公民	数学	理科	保健 体育	芸術	外国語	家庭	情報	専門 教科	学校 設定 教科	総合	特別 活動	各教科を 合わせた 指導
1学年	52	5	4	2	2	2	3	1	4	1	3	1	26	23	24
2学年	52	7	5	2	2	2	3	2	4	2	3	1	26	22	23
3学年	52	7	5	2	2	2	3	2	4	2	3	2	26	22	24

※「総合」：高等学校及び特別支援学校高等部では総合的な探究の時間、それ以外では総合的な学習の時間

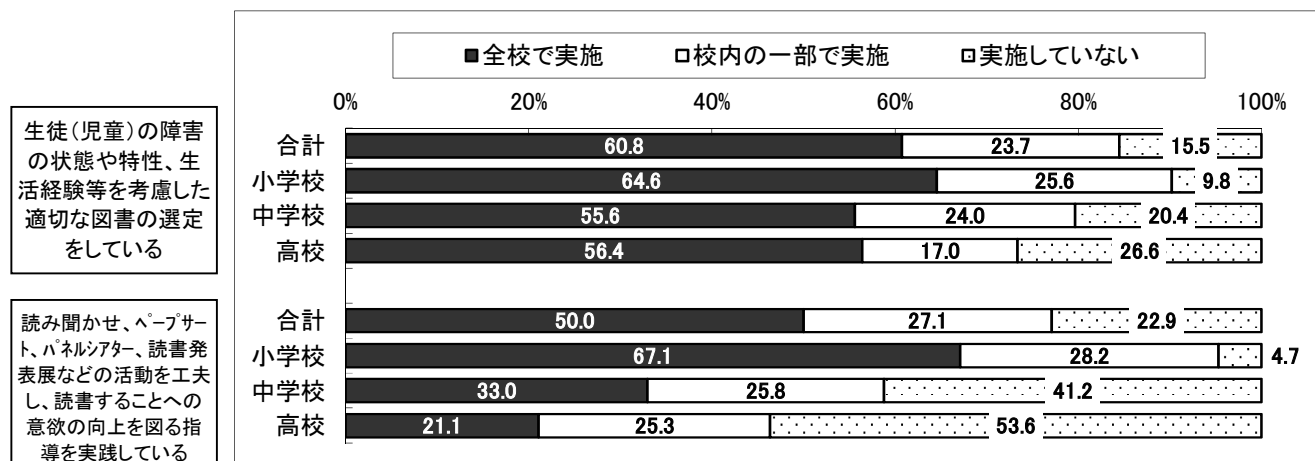
5. 学校図書館及び公共図書館の利用指導の充実



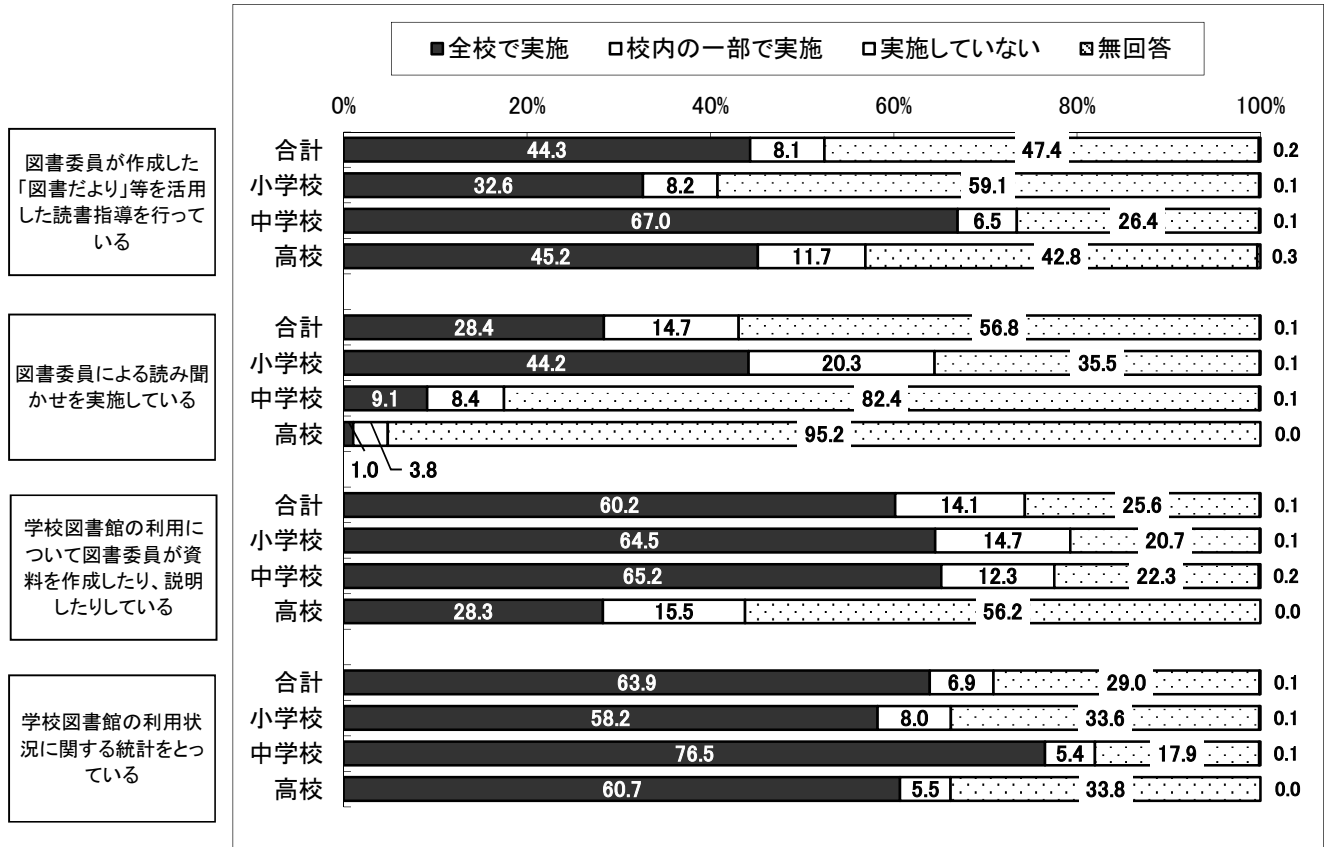
6. 障害に配慮した読書活動の充実(ア. 校内に特別支援学級を設置している場合)



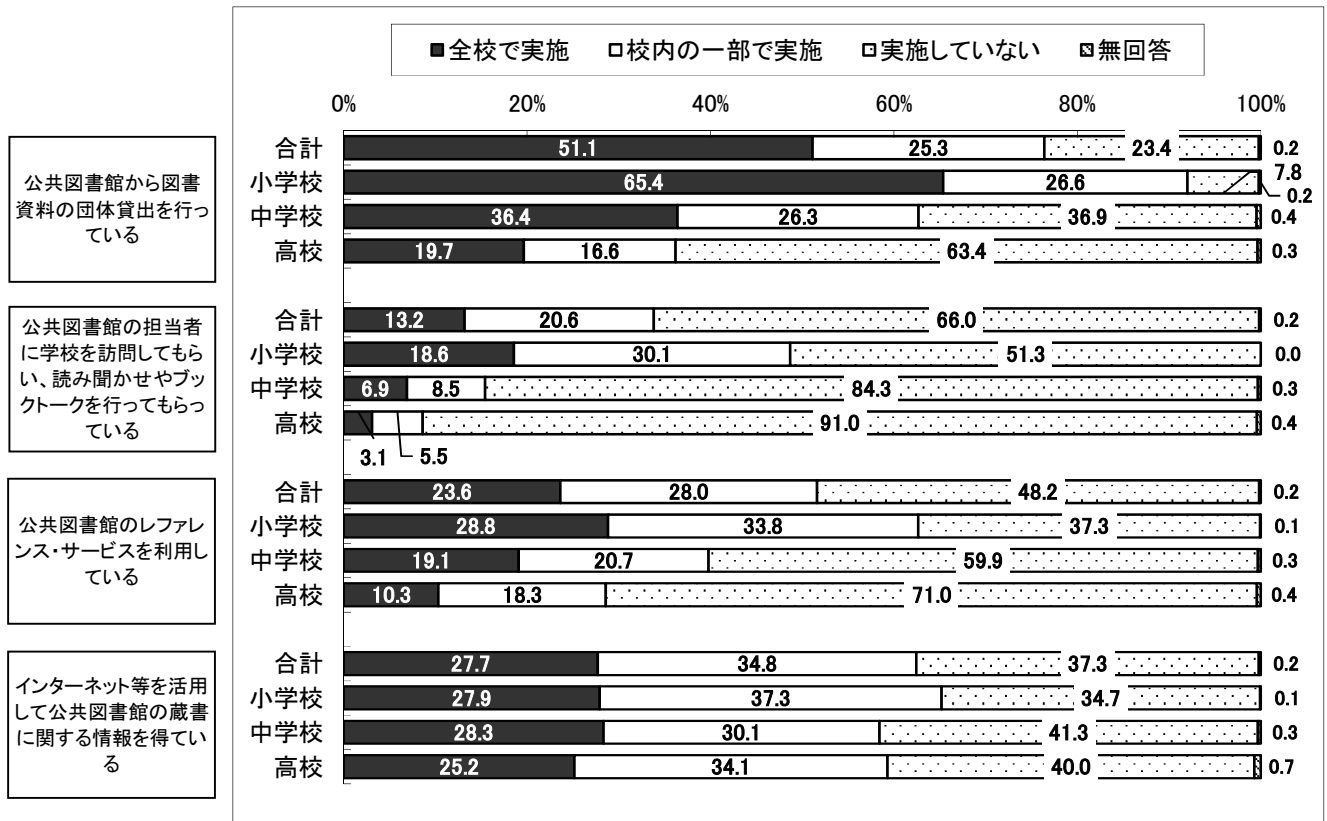
6. 障害に配慮した読書活動の充実(イ. 校内に特別支援学級を設置していない場合)



7. 図書委員会の活動の充実



8. 地域の公共図書館との連携



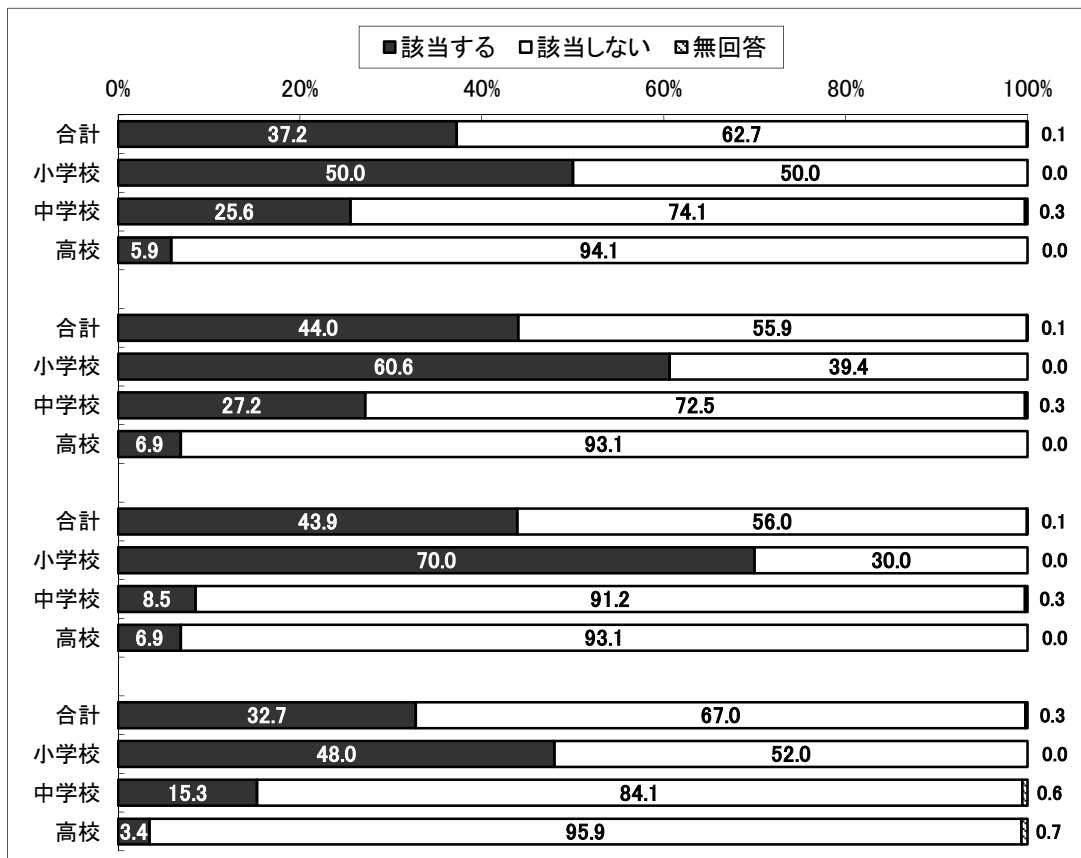
9. ボランティアの活用

ボランティアが図書の整理や貸出・返却業務など、学校図書館の運営に関する支援を行っている

ボランティアが学校図書館の書架見出し、飾りつけ、図書の修繕など、施設の整備に関する支援を行っている

ボランティアが読み聞かせやブックトークなどの読書活動の支援を行っている

ボランティアの資質向上のための取組を行っている



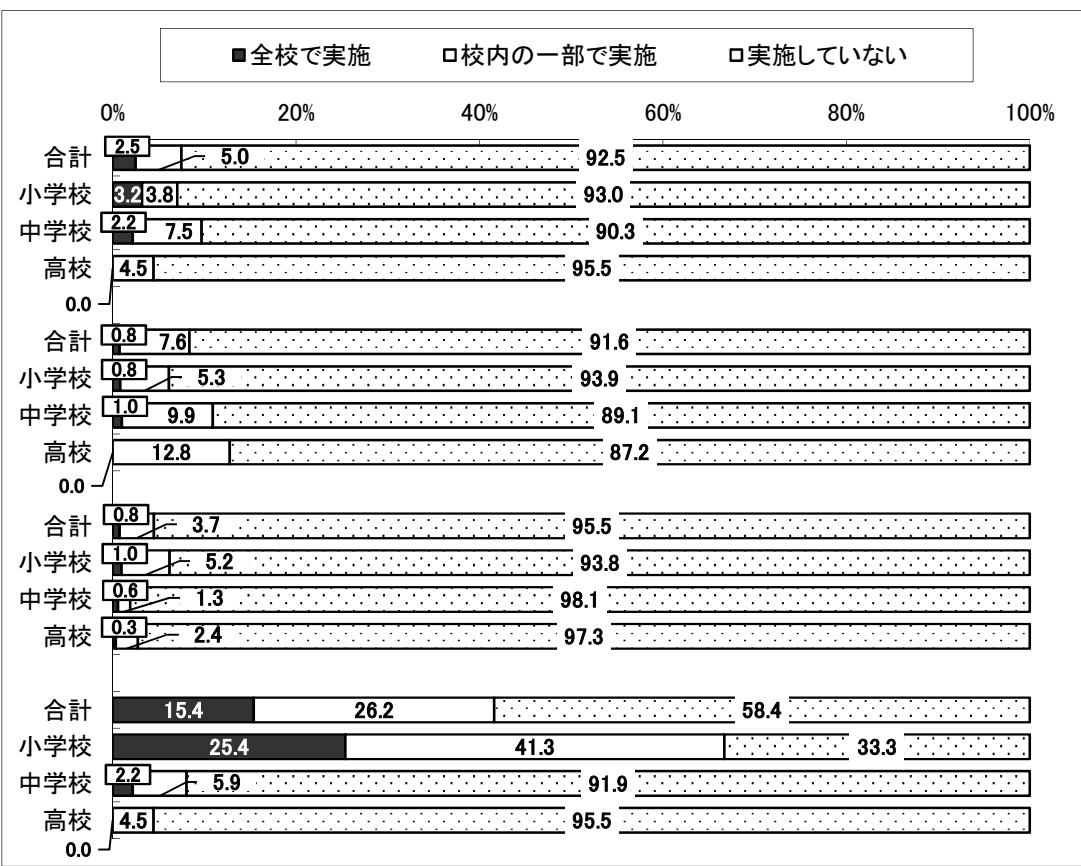
10. 生徒(児童)による異校種の学校、幼稚園及び保育園との連携(異年齢・異校種間交流)

異校種の学校を訪問し読み聞かせ等を実践している(幼稚園・保育園等を除く)

幼稚園や保育園を訪問し読み聞かせ等を実施している

自校で読書会等を企画し、異校種の学校、幼稚園や保育園の子供を招いたりしている

同じ校内で上級生が下級生に読み聞かせ等を行っている

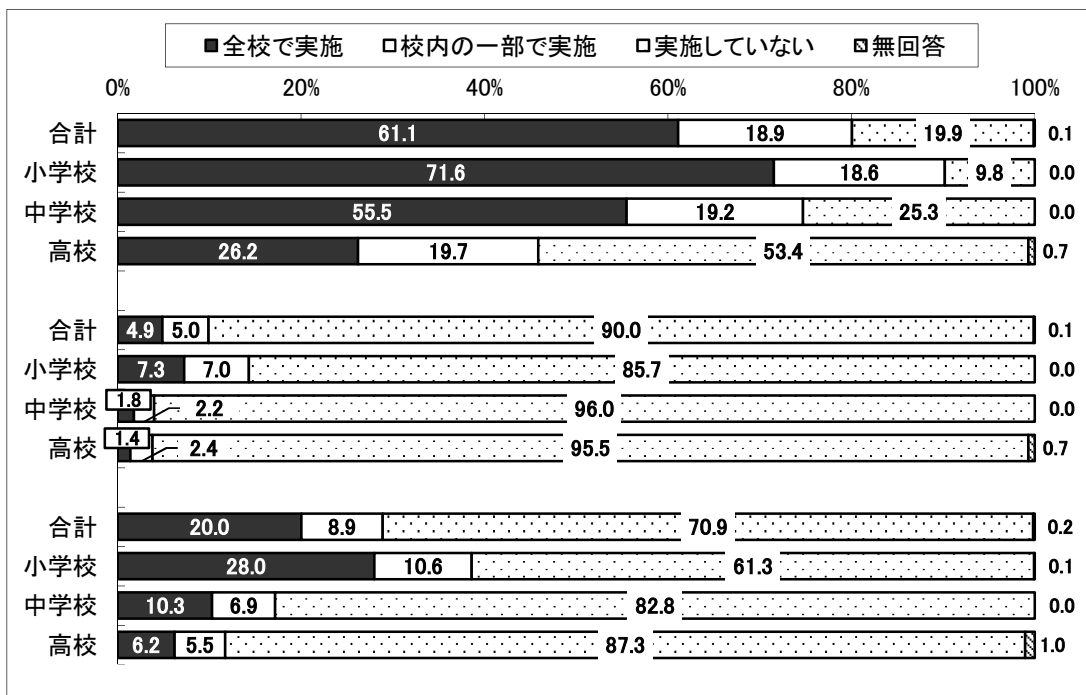


11. 家庭への啓発

保護者会や各種通信等を通して、読書の意義を家庭に説明している

読み聞かせ・家読等、家庭における読書活動を啓発するための、講演会・研修会等を実施している

上記以外で家庭における読書を推進するための啓発事業を実施している

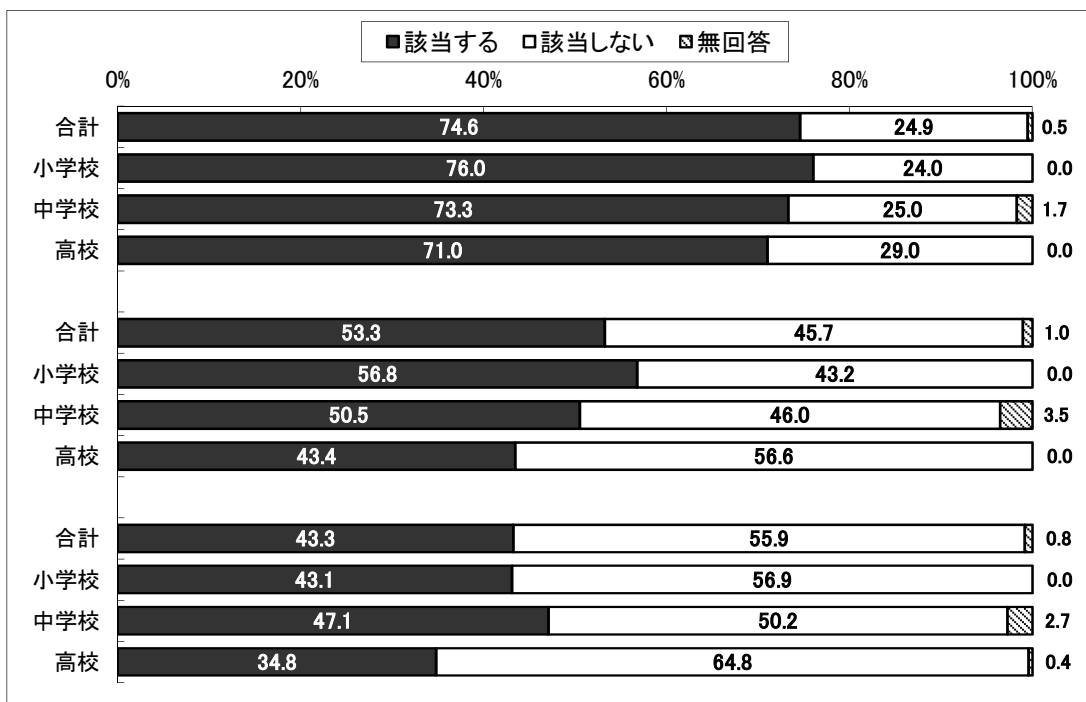


12. 学校図書館運営上の課題

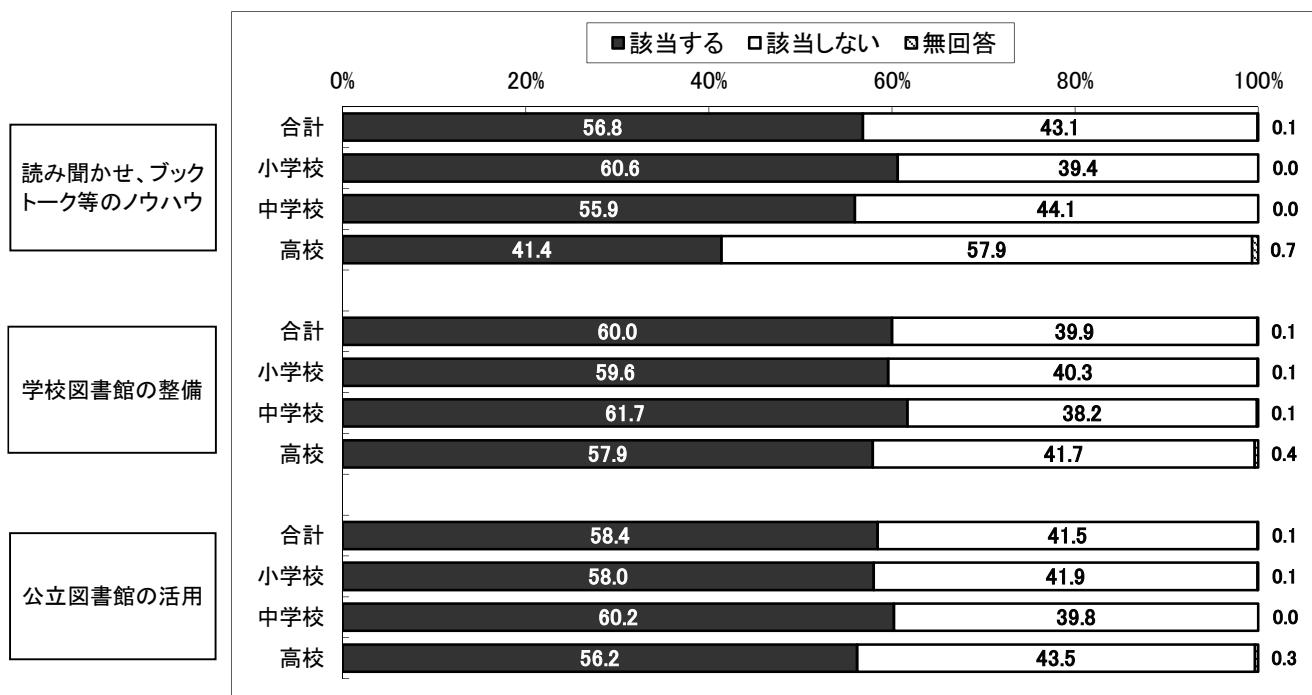
蔵書の充実

選書・図書整理のノウハウ

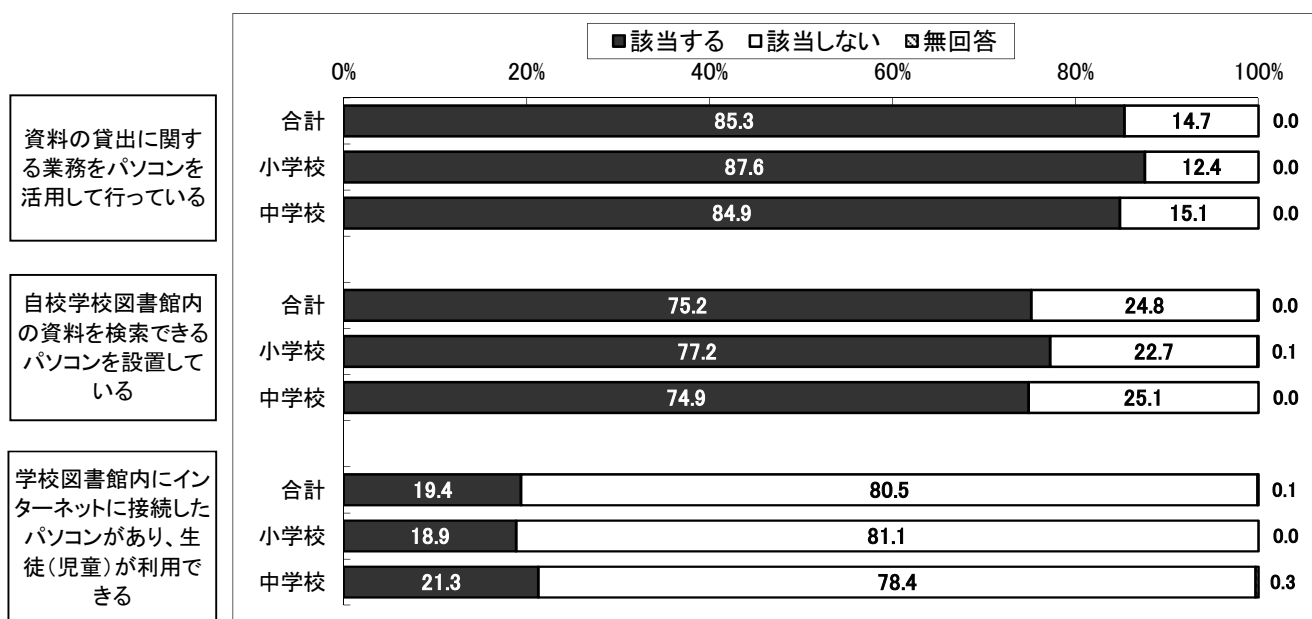
蔵書目録のオンライン化



13. 読書活動、読書指導に取り組む上での課題



14. 学校図書館へのコンピュータ導入



15. 貴校で実施されている特色ある取組

特に、以下に関する取組がありましたら、是非ご記入ください。

- ①電子書籍や一人1台端末、高速通信環境(Wi-Fi)等のデジタル技術を活用した読書環境整備や読書活動の取組
- ②障害や日本語を母語としない等により特別な配慮を必要とする児童・生徒の読書環境整備や読書活動の取組
- ③レイアウトの工夫や子供の興味・関心を高めるためのコーナーの設置等の学校図書館リニューアルに係る取組

※以下の記述は、主なもの、特色あるものを抜粋・整理したものです。ぜひ、異なる校種の取組も御覧ください。

小学校・・・35ページ 中学校・・・39ページ 高等学校・・・41ページ 特別支援学校・・・43ページ

【小学校】

①デジタル技術を活用した読書環境整備や読書活動の取組

読書活動の推進や調べ学習に一人1台端末を活用した取組が多く報告された。調べ学習では、一人1台端末と学校図書館、紙の書籍とデジタル資料を組み合わせ活用する取組が見られた。

<電子書籍等の導入事例>

- ・「MottoSokka!(もっとそっか!)」「Yomokka!(よもっか!)」「わいわい文庫」「School e-Library(スクールイーライブラリー)」等
- ・調べ学習では「Sagasokka!(さがそっか!)」「ブリタニカ」デジタル子供新聞等を活用

<ICTを活用した読書環境整備、読書活動の取組事例>

- ・新着図書情報や図書だよりの配信(Google Classroomを活用)
- ・学校図書館の蔵書検索・予約(「カーリル 学校図書館支援プログラム」を活用、自治体支給の専用アプリの活用、学校図書館サイトの開設等)
- ・公立図書館の蔵書検索(端末にリンクを配置)
- ・読書記録(読書管理アプリケーション「読書管理ビブリア」を活用して読んだ本や感想を記録)
- ・おすすめ本や推薦図書リスト、パスファインダー等の共有
- ・司書によるオリエンテーション動画の共有(授業支援クラウド「ロイロノート」を活用)
- ・デジ図書・教科書(音読や読み取りに活用)
- ・おすすめ本の紹介購入希望のアンケート
- ・図書委員の業務日誌作成
- ・図書館クイズ
- ・アニメーション

<ICTを活用した交流活動の取組事例>

- ・一人1台端末で本の表紙を撮影し、紹介文を書き、共有システムを活用して紹介し合う。
- ・高学年で本の紹介カードをタブレット上で作成し端末内で公開、互いに作ったカードを見ながら本を選ぶ参考にする。
- ・図書委員がおすすめの本についてそれぞれのChromebookを使用してポスターを作成
- ・小中が連携し、『つなげ！続けていこう読書習慣』と題し、Google Classroomを使って、6年生から質問や意見を集めて集約した情報を、中学校図書館に伝え、中学校からの回答を、Google Classroom上でレスポンスし、図書だよりに掲載し配布。小学校で身に付いた読書習慣を継続させる支援においても活用。
- ・『タブレットを活用し、本と出会う。理系読書のすすめ「科学道ジュニア100冊」より』(高学年)自ら検索して理系の本に出会い、すすんで視野を広げる。
- ・コロナ禍においてICTを活用し、図書委員が本を推薦する場面を撮影して読書週間に各教室でその動画を視聴
- ・一人1台端末を活用して、読書への関心・意欲を高めるムービーづくりの取組
- ・一人1台端末で公立図書館の電子書籍サービスが利用できることを伝え、夏休みに積極的に読書活動をするよう案内したり、利用指導を実施

<ICTを活用した読み聞かせ等の取組事例>

感染症拡大の影響により、学校図書館ボランティアの活動、家庭や地域との連携、対面での読み聞かせ等が再開できていないという学校があった。一方で、ICTを活用した読み聞かせ等の取組が報告された。

- ・図書委員会が一人1台端末を活用してオンラインで読み聞かせを実施(Google Meet等を活用)
- ・ビブリオバトルを行う様子を動画で校内に紹介
- ・おすすめ本の紹介や来館者への本や読書に関するインタビュー動画を作成し各クラス等で視聴
- ・PowerPointでおすすめ本の紹介資料を作成して上級生が下級生に読み聞かせ実物投影機(プロジェクター)と大型テレビを活用して密にならないよう工夫しながら読み聞かせを実施
- ・オンラインを活用し保護者や地域のボランティアによる読み聞かせを継続
- ・夏季休業中のオンラインでの読み聞かせ活動
- ・英語の絵本作品などの英語による読み聞かせと日本語による読み聞かせの両方を一人1台端末のGoogle Classroomで閲覧できるようにした。現在約20冊あり。
- ・感染症防止のため、例年行っている保護者やボランティアによる読み聞かせや、図書委員会による企画、インターネットを使つての検索など、できないことが多かったが、図書室では司書が電子黒板を使って、また図書委員が児童用端末を使って絵本を投影しての読み聞かせ等を行っている。
- ・保護者ボランティアによる読み聞かせを今年度10月より再開予定。実物投影機で絵本の挿絵をテレビに拡大投影し、児童と読み手の距離を保って行えるように工夫している。
- ・参集による集会活動ができない状況なので、一人1台端末を活用して、ネットビブリオバトルを行い、全児童がアンケートフォームによる集計を行い、学習情報センター内に面見せの展示をしている。
- ・授業支援ソフト「オクリンク」を利用した読み聞かせを実施。今後、図鑑等の利用指導にも活用

<ICTを活用した調べ学習の取組事例>

- ・百科事典(電子版)と(書籍版)を併用した情報活用能力の育成についての取組
- ・教科との連携を図った調べ学習での図書館活用(ICTと図書資料の両方を活用)
- ・書籍とパソコンを使った探求型学習の取組
- ・図書館内でのWi-Fi環境が整っており、児童が個人タブレットを利用して、蔵書検索のうえ、図書資料での調べとインターネットでの調べを並行して行う授業を高学年で実施
- ・学校司書とICT支援員が連携して、調べ学習の方法(図書とインターネットの効果的な活用法)を講義している。
- ・各教科の学習で図書資料を使って「調べる学習」をし、一人1台端末を活用してまとめ等をしている。
- ・図鑑指導、百科事典指導、アニメーション
- ・各教科の単元で調べ学習を行う事前準備として、Google Classroomに司書が投稿したスプレッドシートに自分の調べたいテーマを各自が入力しておき、それを基に司書がレファレンスを行って必要な資料を収集し授業に必需した。小学生は検索が難しいため、同時にサイト情報もスプレッドシートに入れておき、授業の際に、必要な情報に行かれるよう工夫した。また、テーマや関連本についての質問や回答もGoogle Classroomで行った。

②特別な配慮を必要とする児童の読書環境整備や読書活動の取組

<読書環境整備の取組事例>

- ・一人1台端末でのデジ教科書利用(QRコードを紹介しダウンロードして使用)及びデジ図書貸出
- ・点字の本や視覚的に工夫されている本、LLブックの配備
- ・カウンターにリーディングトラッカーを配備または必要な児童に配付
- ・特別支援学級の読書活動用に大型本・しかけ絵本・紙芝居を計画的に購入
- ・特別な配慮を必要とする児童の興味が深い本をブックトラックで廊下に配置
- ・特別支援学級や通級で使用できる文庫の設置
- ・読書が苦手な児童用に「読書に取り組みやすい図書」のコーナーを設置
- ・特別支援学級で教師による読み聞かせと「わいわい文庫」の視聴を併用
- ・特別支援学級の児童には、毎週学年別に学校図書館支援員が読み聞かせをする時間を設けている。同一学年でも、理解力に差はあるものの、児童の心情にひっかかるものがあるようで、読書をするのが好きになっている。

<多言語対応の取組事例>

- ・母国語が日本語ではない児童にも考慮し、イラストや写真も載っていて、日本語と他国語併記している本や日本語で出版された本で、英訳されている本などを少しずつ増やしていく取組
- ・教科書にある物語文で英語表記のものを特に計画的に配架
- ・英語の本はもちろん、日本の文化を伝える日本語と英語で書かれた本なども置いている。例えば、折り紙を日本語と英語で説明している本は低学年児童に人気がある。
- ・各国の言語で書かれた図書の購入や寄贈を募り図書室に配架している。また、国際理解として、各国の言語で書かれた図書の団体貸し出しを公共図書館に依頼し、学校図書館にコーナーを設け利用できるようにした。
- ・「外国語の本」コーナーを設け、外国の児童も図書を探しやすいようにしている。
- ・母国語の図書を公共図書館や学区内の中学校の学校図書館から借りて提供
- ・日本語学級に定期的に幼児向け絵本を団体貸し出しを利用して届けている。
- ・英語を母国語とする子どもの要望に応え、公立図書館と連携して、英語のYAおよび児童用の本を定期的に30冊以上借りて、その読書支援を行った。学校購買流通経路ではなかなか買えない外国語本を公立図書館と連携して提供している。今後、タガログ語、スペイン語などを母国語とする児童が入学および転学してこられることを想定し、都立多摩図書館にて研修を行った。合理的配慮が必要な児童に対しては、別途本を確保し、希望者は、別室で選択できる等、児童の自尊感情に配慮しながら本を選択できる工夫を行っている。

③学校図書館リニューアルに係る取組

<レイアウト等の取組事例>

- ・図書館内のスペースを機能により分割し利用内容で使い分け(読書スペースと調べ学習スペース、学習センターと情報センター等。書架や家具も用途に応じて工夫)
- ・リラックスして読書できる環境整備(人工芝のマット、絨毯、畳、ウレタン製フローリング)
- ・授業で活用することを想定した電子黒板の導入
- ・回転書架の増設(児童が手に取りやすく貸出数が伸びる)
- ・分類を児童にとって分かりやすく示す工夫(色シールを貼る、本棚の上段だけでなく床にも表示、シリーズごと・テーマごとにブックトラックにまとめて配架等)
- ・校内各所にコーナーや掲示を設置し本を身近に感じられる環境づくり(学年ごとに興味をもちそうな書籍や、授業で使いそうな書籍をブックトラックに用意しクラス前に配置等)
- ・学校図書館と廊下の接続(廊下にも書架を置き、仕切りを開けて発表やグループ活動など学習スペースとして活用)
- ・館内に「分類マスターカード」(ラミネートされた絵の裏面に、その絵に関する本が館内のどこにあるかの説明が書いてあるカード)を設置している。例:カブトムシの絵⇒裏面にそのカブトムシの種類と分類48の棚もしくは図鑑コーナーにカブトムシに関する本があるという記述をしている。(児童が自分で本を探す力がつくための工夫)

<児童の読書への興味関心を高める取組事例>

- ・特設コーナーの設置・定期入替(新着資料、季節や学校行事に関する本、教科書掲載作品や学習内容に関連した本、生徒・図書委員・教員のおすすめ本、生徒の人気の高い本、ビブリオバトルで高評価だった本等)
- ・学習や読書活動の成果物の掲示(調べ学習の成果作品、自選詩集、本のポップや感想カード)
- ・「読書の木」の取組(生徒がおすすめの本の紹介をカードに記述し、木の形をした掲示に貼っていく)
- ・SDGsコーナーを設置し調べ学習等で活用
- ・体験が可能な科学コーナーの設置
- ・購読している小学生新聞を活用し、そのニュースにあわせて本を展示し、Google Classroomに公式サイト情報を投稿するなど行っている。(例:部分日食のニュースにおいて 専門書、参考書を展示し、ブックトークを行うとともに、国立天文台等公式サイト情報を紹介して児童の鑑賞に寄与した)

<学校図書館運営等の取組事例>

- ・小学部の児童一人一人の名札に図書バーコードを印刷し、学校図書館を利用しやすくしている。
- ・図書記録カードに個人のバーコードをはることで、貸借がスムーズにできるようになっている。
- ・貸出中の図書の予約を受け付けており、図書の用意ができれば児童へ手紙で知らせている。
- ・近隣区立図書館の貸出カードの作成申し込みを学校で受け付け、区立図書館の利用促進を図った。
- ・教員が学校図書館において調べ学習のアドバイスを行う取組

④その他、各校の創意工夫による多様な取組

＜読書に取り組む機会を増やす取組事例＞

- ・学校経営方針に児童一人当たり年間貸出冊数目標を設定
- ・短時間の読書タイムの定期的な設定
- ・給食中の放送(図書館利用の呼びかけ、おすすめ本の紹介、読み聞かせ等)
- ・給食とのコラボレーション(「ぐりとぐら」のカステラ等作中に出てくる料理を提供、給食の時間に季節感のある絵本や童話の読み聞かせ等)
- ・読書週間に全児童が学校図書館を利用する取組
- ・全学年、毎週火曜日の宿題は読書のみとし、読書を広める活動を家庭にも理解してもらっている。
- ・夏休みに全児童が1冊以上地域の公立図書館から本を借りる取組(貸出カードを作成)

＜児童の読書への興味関心を高める取組事例＞

- ・読書通帳(読書記録カード)の活用、読書スタンプラリー(スタンプカード)、読書冊数等に応じた表彰
- ・学校オリジナルのブックリストを作成し、リスト内の読破数により、独自の称号(リーダー、スーパーブックリーダー、ブックマスター、スーパーブックマスター、ブックマイスター)を付け、全員がブックリーダーになることを目指している。
- ・親子での読書(家族と一緒に本を読み読書カードにコメント等を記入、親子で相互におすすめ本を紹介等)
- ・読書ビンゴ(十進分類法で様々な本を読む、指定された本を読みビンゴを揃えていく等)、読書すごろく
- ・本の福袋(おすすめ本を中身の分からない福袋形式で貸出)、本おみくじ
- ・図書委員会児童が作成の「ミステリーブック」コーナー。本を紙ぶくろに入れ、題名を見せずに紹介文を書く。
- ・図書室利用の時間に味見読書を実施(3～6年生)。選書は図書館指導員が6つのテーマで行っている。児童は自分が味見した本から気に入ったものを一人1冊選び貸し出しを行い、今月の学級文庫として教室に持ち帰る。
- ・おすすめ本ラリー
- ・子ども新聞の活用(学校司書がクイズを掲示し、子供が新聞から答えを見つける「学校司書からの挑戦状」)
- ・図書に関するクイズやクロスワードパズル、読書クイズラリー
- ・ブックメニュー:お話の中に出てくる料理や食べ物を探し、各自メニューブックを作って掲示。
- ・年度末にブックジ(借りた本の冊数によりくじが引ける)等、児童の意欲を高める工夫を実施している。
- ・おはなしコンチェルト
- ・ポップ作り、しおり作り講座
- ・学校図書館キャラクター募集

＜読み聞かせの取組事例＞

- ・図書室内に読み聞かせエリアを設置し、担任や学校司書による読み聞かせ活動を推進している。
- ・全校ふれあい読書(兄弟学年での読み聞かせ、図書委員による読み聞かせなど)を行っている。
- ・専科教員や栄養士によるブックトーク・読み聞かせを計画的に取り入れ、教科と図書との関連に気付かせるようにしている。
- ・読書週間の時には担任しているクラス以外に読み聞かせに行き、交流を図っている。教員や図書委員のおすすめの本をポスターに書いて掲示し、お昼の放送で本人が話している。読み聞かせボランティアの保護者が週に1回子供たちに読み聞かせを行っている。
- ・異学年ペア(読書バディ、リーディングバディ)や縦割り班での読み聞かせ
- ・多様な主体による読み聞かせ(図書委員、担任、担任以外の先生、専科教員、校長、保護者、ボランティア、地域の方、卒業生、学校図書館支援員、地域の公立図書館職員、ゲストティーチャー等)
- ・隣接する中学校図書館と連携をとり、英語の絵本を借りて同じ日本語の絵本をクラスで読み聞かせを行っている。
- ・隣接する中学校の特別支援学級を図書館に招待し、交流を図っている。

＜読書郵便の取組事例＞

- ・低中高学年がそれぞれのペアの子にお勧めの本を書いたハガキを送る。図書委員がポストに入っているハガキを各クラスに届ける。
- ・学年や学級を越えて、手紙形式で本を紹介し合う。
- ・お勧めしたい本について専門のはがきに書き、友達や教員と送り合う活動。はがきには、分類番号を記入でき受け取った児童が自ら学級図書館で勧められた本を探すことができるようにしている。
- ・近隣中学校との交流活動として、中学生からの「読書郵便」というおすすめの本の紹介

＜ブックバイキングの取組事例＞

- ・「読書バイキング」として、教師が読みたい本を選び読み聞かせをしている。(児童が聞きたいクラスに行く。)
- ・管理職を含めた全教員が自分の好きな本を選び、児童が好きな場所に行って読み聞かせを聞く「読み聞かせバイキング」を実施している。
- ・読書月間中、担任が入れ替わって行う読み聞かせや、「ブックバイキング」(教員による読み聞かせ。児童が書名とあらすじのみを見て、本を選び、指定された教室で聞く。)を行っている。

【中学校】

① デジタル技術を活用した読書環境整備や読書活動の取組

＜ICTを活用した読書環境整備、読書活動の取組事例＞

- ・電子書籍を活用した朝読書
- ・一人1台端末で本のポップ作りを行い相互に紹介
- ・Google Formsを活用したおすすめ本アンケートや選書リクエスト
- ・学校図書館専用のタブレット端末を設置
- ・一人1台端末の「探調TOOL」の活用
- ・「空想科学図書館通信」の受信
- ・小中連携活動として一人1台端末を活用したビブリオバトルの実施
- ・読み聞かせ動画を近隣小学校へ配信

＜ICTを活用した学校図書館運営の取組事例＞

- ・学校図書館独自でクラスルームを作り、各学年の生徒に参加してもらっている。そこでは、司書のおすすめ本や図書館のイベントなど情報を発信している。
- ・学習センター（学校図書館）及び図書委員会でもGoogle Classroom、Googleドライブを活用し、おたより・バスファインダー・活動のお知らせ等の作成・配布を行っている。貸与端末で使えるオンラインデータベースや蔵書検索等をガイダンスや授業で紹介・活用する等、様々な種類のレファレンスツールを使って情報検索を行う場面を少しずつ増やしている。
- ・図書委員会の「Googleサイト」をつくり、「おすすめ本の紹介（投稿）」「ほんの紹介カード」「読書推進動画」などを全校に紹介。また、タブレットPCにて動画を撮影し、校内放送にて読書推進に関わるCMを流す予定
- ・図書委員会活動で、オンライン図書室を開設し、委員による本の紹介を行っている。
- ・図書委員会発行の学校だよりをスプレッドシートを用いて作成し、クラスルームで配信している。
- ・貸出や蔵書の確認は学習支援アプリ「ロイロノート」を通じて、生徒一人一人が確認が取れるような環境が整っている。
- ・電子図書館を運用し電子書籍や生徒成果物を掲載している。契約しているオンラインデータベースにも電子図書館機能がある。WebOPACを運用し、オンラインで予約ができる。Teams上に図書館及び図書委員会のチームを開設し、図書館からの情報提供や委員会活動の活性化を図っている。

② 特別な配慮を必要とする生徒の読書環境整備や読書活動の取組

＜読書環境整備の取組事例＞

- ・マルチメディアデジ、LLブックなどを用意し、担任や特別支援担当者と連携しながら必要とする生徒が利用できるようにしている。
- ・特別支援学級の担任やSCとの連携を行い、特別支援学級や不登校生徒への読書環境整備や読書活動を行っている。図書館で実施している。
- ・リーディングトラッカーや拡大鏡等の読書補助具を、文字の読みに課題のある生徒だけでなく、誰でも使用できるように、手に取りやす場所に置いている。
- ・特別な配慮を必要とする生徒や周囲の理解を促すことを目的として自閉症、ADHD、LGBTについてわかりやすく説明されている資料や、昔話の絵本の日本語版と英語版を配架している。
- ・障がい問題に関する本を常設。さわれる本や絵本の展示（外国籍の生徒への配慮したものを作成）
- ・発達障害がある生徒の参考になる本や読みやすい本、学習や生活をサポートしてくれる本を積極的に購入し、特別支援の生徒や教員に紹介する取組

＜多言語対応の取組事例＞

- ・日本語を母国語としない生徒が多いため、絵本やルビ付きの書籍を数多く備えている。
- ・外国語版、やさしい日本語の本を設置
- ・外国語を母国語とする生徒が利用できる本を購入し、長期貸出もしている。
- ・日本語教室の先生に、指導に使用される資料を提供（公共図書館に資料貸出予約）

③ 学校図書館リニューアルに係る取組

＜レイアウト等の取組事例＞

- ・朝読書を実施しているので、短時間でも集中しやすい短編をまとめておき、図書館入り口正面の目につく位置に用意している。
- ・特別な配慮を要する生徒がクールダウンできるように机、椅子の配置を工夫している。
- ・今夏、図書館と隣接していたパソコン室（書架と棚で区切られていた部屋）を撤廃し、図書館スペースとして広く利用できるよう再構築した。新たに広げたスペースは、0～8類の資料と閲覧、自習用テーブルを中心とし様々な学びのスタイルに対応できるようにした。9類と新聞をまとめたエリアは、視界を低くしゆったりと作品を読み込めるレイアウトに変更した。リニューアル後に生徒に公開したところ、非常に好評を得ている。
- ・学校図書館を読書センターとして機能させるほか、子どもたちの「居場所」として活用できるように、また、身近な場所と認知されるように、レイアウトの工夫や関心を高めるコーナー等を設置し、学校図書館リニューアルを夏休みから取り組んでいる。また、NPO法人の協力でボランティアも活用し始めている。さらに、学習・情報センターとして機能させるために、日常的な活動で多く活用するようにしている。人が入ることによって、学校図書館にエネルギーが出てくるのを感じている。

＜本が身近にある環境づくりの取組事例＞

- ・出張図書館・移動図書館(図書館が教室から離れている場合等、各学年の行事や各教科の内容に合うものを廊下に設置)
- ・短時間でも座って読めるよう各所に椅子を設置
- ・各教科の年間指導計画をもとに、授業と連動した展示を、メディアセンター前の廊下とメディアセンター内に設置している。また、各教室前に新聞が読めるベンチ(NIEストリート)を置いており、生徒が今気になることを、すぐにメディアセンターで探究的に知るために、話題の分野の資料を常に選書している。
- ・冒頭数ページをコピーしてとじた見本本を作って、校内の各所に配置し通りすがりに眺められるようにしている。文庫本(寄贈本)の一部を別置き、図書館に行けなくとも本を自由に読める環境を作っている。
- ・生徒の興味・関心を高めるためのブックコーナーを職員室前や廊下に設置している。階段踊り場の掲示板を利用してお勧め図書の紹介をしている。
- ・職員室前に、お勧め図書の展示コーナーを設置し(ポップとともに)、無人貸出ができるようにしている。

＜生徒の読書への興味関心を高める取組事例＞

- ・各種コーナーの設置(新書、話題の本、本屋大賞等の受賞本、アニメ化・ドラマ化・映画化した本、生徒の関心の高い「恋愛」「韓国」の本、新しく入った本、図書委員・先生・司書等のおすすめの本、授業に関連する本 等)
- ・朝読書の時間に読むためのおすすめコーナーの設置
- ・「英語コーナー」を設けて、オックスフォードリーディングツリー180冊も揃えている。「受験対策コーナー」、「学習対策コーナー」を設置し、生徒たちの要望に応えている。
- ・高校受験に関する書籍(過去問題集等)のコーナーを設置し、生徒自ら手に取って学習する体制を整備している。時事問題に関する資料をまとめており、面接指導時に役に立つようにしている。
- ・NIE実践指定校として、新聞を活用したコーナーを設置している。
- ・生徒のおすすめ図書をPowerPointでまとめて印刷し、掲示するとともに、動画にして校内デジタルサイネージで提示している。
- ・葉・花・ハートの形の用紙で図書委員おすすめの本の紹介を作成し、読書の本で廊下に掲示する。同時にプリントにて発表とポップ(縮小してパウチ)にし、館内の本の表紙や書架などに貼り、生徒たちの興味・関心を高めるための一助にしている。
- ・「科学道100」という科学に関する100冊セットの本の展示
- ・図書室での人気本を決定する本の総選挙

＜学校図書館運営等の取組事例＞

- ・公立図書館と連携した蔵書点検や選書の実施
- ・学校司書職員に各教科の年間授業計画を年度初めに渡すことにより、授業進行に合わせた図書館内展示を展開
- ・図書だよりに、本のリクエスト用紙があり、生徒の希望を反映しやすい
- ・図書委員会活動の充実。委員会だより作成、ポップ作成、読み聞かせ、図書購入・紹介、イベント企画、書架整理・装飾の6つの異学年混合班に分かれて取り組んでいる。
- ・借りた本のタイトルをまわりの生徒に知られたくない等生徒から意見があったので、1貸出時にブックカバーの有無を選択できるようにしたこと。2予約システムで担任を通して受け取れる。3(特に性にまつわる本は)保健室に常設するなど、生徒のプライバシーを確保するための工夫をしました。

④その他、各校の創意工夫による多様な取組

＜読書に取り組む機会を増やす取組事例＞

- ・朝登校して、各学年のフロアに司書がいて、貸出を行う「朝貸出キャンペーン」の実施
- ・1年生が学校図書館になじめる工夫としてクラス対抗「返却パズル」を実施
- ・本を紹介したはがき新聞を2年全員に作成してもらい全校生徒・教員による「全校はがき新聞投票」、本を紹介したポップを1年全員に作成してもらい「全校POP投票」。以上を読書週間を抱き合わせにし、その時期だけ借りられる冊数も増やし、貸出冊数と来館者数を増加させている。
- ・小中一貫教育の9年間で100冊の本を読破する計画を立てている。各学年(9学年)で選書した11冊の本と最後の一冊は子供が自ら選んだ本で100冊の本としている。年間を通して選書した本の紹介等を図書委員が朝礼等を活用して全校に周知したり、全校が見られるように見出し作りを行っている。キャリアパスポートに読んだ本の記録を9年間記載し、100冊読破した子供には賞状等を検討。

＜生徒の読書への興味関心を高める取組事例＞

- ・来館者におすすめ図書を紹介するおみくじ
- ・リクエストに応じた本を届けるウーバーブック
- ・お楽しみ貸出(袋に入れた図書委員のおすすめ本)
- ・本のイントロ(図書委員が本の冒頭を紹介し袋に入れて貸し出す)
- ・サプライズ本(先生の紹介本をにかバーをかけたタイトルを隠して夏休みに貸出)
- ・本の福袋(図書委員がテーマを決め3冊の図書を袋に入れて貸出)
- ・読書ビンゴ(0～9類の図書を読むことでビンゴを完成させる。学級対抗で実施している学校もあり)
- ・図書委員会が企画した「おすすめ本」の紹介(本の処方箋・本の帯等)や「読書ページで世界の旅」(ページ数でマイルが貯まる)を地域の公立図書館に展示
- ・本の中に出てくる(物語や歴史上の人物に関する)食事を給食にアレンジし本についての理解を深める。
- ・名探偵コナンが好きな生徒が多いので、コナンの学習漫画シリーズや映画ノベルズ本をそろえています。本が苦手な生徒もこれなら読めると借りていきます。入学して本を借りた冊数が30冊になったら、ラミネートカードを作成して貸出冊数を増やすなど特典を付けています。「あと何冊」と借りるモチベーションになっています。
- ・古本交換会(家庭にある不要な図書や学校図書館の廃棄予定の本)

＜調べ学習の取組事例＞

- ・「図書館を活用した調べる学習コンクール」等への応募
- ・各授業の調べ学習における関連書籍の貸出を司書によるレファレンス付きで実施
- ・SDGsに関連した本を読み、レポートを提出することにより、バッジがもらえるという取組をしている。意欲的に取り組む生徒もあり、バッジを誇らしげに着けている。
- ・ハテナシートに挑戦(百科事典を活用して問題を解く)

＜交流活動や読み聞かせ等の取組事例＞

- ・国語科や総合的な学習の時間でビブリオバトルを実施し文化祭等で発表
- ・ビブリオカフェの定例実施
- ・新潮社「ワタシの一行ノート」を活用し読書記録を友達に紹介
- ・近隣中学校等との読書交流会
- ・英語部による公共図書館での英語の読み聞かせ
- ・図書委員会の読み聞かせ活動も活発で、全校の生徒が聞きに行く行事である。図書委員のモチベーションも高く、楽しみなイベントになっている。
- ・近隣保育園、公共図書館と連携し、定期的に生徒が保育園児に読み聞かせ交流をする場を設けている。
- ・地域の児童館への出張朗読会
- ・公立図書館主催のポップコンテストへの応募

【高等学校】

① デジタル技術を活用した読書環境整備や読書活動の取組

＜ICTを活用した読書環境整備、読書活動の取組事例＞

- ・「LibFinderクラウド」の活用(一人1台端末やスマートフォンからの学校図書館蔵書検索、本のリクエストや予約、図書館だより等の配信)
- ・「Classi」の活用(図書館活用資料の共有)
- ・Microsoft Teamsの活用(図書館ページの開設、図書館だより等の配信)
- ・オンラインで図書館活動の定期配信
- ・オンラインでの図書館見学会や講演会視聴
- ・一人1台端末によるビブリオバトル
- ・動画による図書館利用案内
- ・国語科で一人1台端末を活用した読書活動を実施
- ・令和3年度から、オンライン授業になった期間を中心に、司書教諭によるオンラインを活用した読み聞かせを「放課後の活動」と位置付けて実施している。

＜ICTを活用した調べ学習の取組事例＞

- ・一人1台端末を図書館に持参し、ネットと本を両方同時に活用して実施する探究活動を支援する取組
- ・図書館管理システムのブックリスト機能を活用し、教室からも参考図書の確認ができるようにしている。また図書館内で使える校内Wi-Fiを整備し、生徒は本、データベース、インターネットを活用し情報収集をしている。

② 特別な配慮を必要とする生徒の読書環境整備や読書活動の取組

＜読書環境整備の取組事例＞

- ・マルチメディアデジター図書や視聴覚資料、点字やLLブックを所蔵している。読書や調べ学習等で、読む力に幅がある生徒に対応できるように、ふりがなや内容が易しいもので、高校生の興味関心に合う資料を選書している。
- ・障害についての理解を深めたり、優しく読みやすい書籍の充実
- ・読むことに障害のある生徒に配慮し、一行ずつ読むことができる道具「リーディングトラッカー」を閲覧机等に置いて自由に使えるようにし、場合によっては貸し出すようにもしている。

＜多言語対応の取組事例＞

- ・外国籍生徒のために館報にはルビを振っている。日本語習得に役立つ図書(絵本、日本語検定の本)の選定、購入。生活についての情報として多言語パンフレットを入手、配架している。
- ・日本語を母語としない生徒のために、洋書や日本語学習に活用するための学習参考書等を購入しコーナーを設置している。
- ・日本語能力試験に関わる書籍や洋書(自律予算による)の購入を行い、様々な状況にある生徒向けの図書の充実に努めている。
- ・日本語を母国語としていない生徒には、日本語能力試験の問題集がある。また、公共図書館より、その生徒の母国語の資料も借用可能である。
- ・在京生徒の読書支援のため、彼らの母国語の本を購入したり、国際子ども図書館から団体貸出を受けたりしている。
- ・多言語版(英・仏・中)の利用案内作成・掲載、バイリンガル版のコミックを含む洋書の収集
- ・在京生徒のために、本のリクエストを募り、そこから選定して洋書などの様々な言語の本を購入している。

③学校図書館リニューアルに係る取組

<レイアウト等の取組事例>

- ・科目ごとに蔵書を展示し、各学科の生徒がわかりやすいレイアウトにしている。選書の際は、特に科目に特化するようにしている。
- ・進路関連図書コーナーは職業のジャンル別に分けてあり、小論文対策や、大学の授業の入門的な内容の本なども積極的に購入して、進路選別に少しでも役立つコーナー作りを意識しています。一般書架については文庫・新書・単行本を全て一緒に並べて、同じジャンルの本はなるべく1か所を見れば探せるようにしています。
- ・SDGsや進路のコーナー等、テーマに合わせたコーナーに関連図書を掲示している。特に進路コーナーは、進学関連と職業関連に大きく分類し、さらに小論文対策コーナーは細分化させ、学部別特集や書き方のテキスト等、目的に合わせた選書がしやすいうように配慮している。毎月、季節や行事・時事問題に合わせた展示をしている。
- ・様々なコーナーを設け本を表紙を見せるようにして展示し、生徒が本を手に取りやすいようにレイアウトに工夫を凝らしている。特に心や体に辛さを抱える生徒がそっと手に取りやすい本は、「心と体の本棚」として、あえて目につきにくい場所に展示するなどの配慮もしている。

<生徒の読書への興味関心を高める取組事例>

- ・別置コーナーの設置(進路、小論文、入試問題に取り上げられた本、部活動、教員の推薦図書、日本の古典の漫画版、映画の原作本、コミック、ライトノベル等)
- ・図書館にある映像化された本をA4一枚に1冊ごとに紹介したポスターを作成し「読んでからみるか、みてから読むか」という題で図書館の外からも中からも見られる形で展示している。
- ・週替わり、月替わり、特設等の図書展示を行い、図書館だよりやポスター等の作成で宣伝している。常に生徒の関心を高められるよう日々変化させ、新鮮さを失わないよう心掛けている。
- ・図書館前廊下に新聞各社の1面を掲示、生徒が意見を記入する生徒参観型の展示を複数回実施
- ・SDGsのコーナーを設け、半月に1回、テーマ別に新聞のスクラップ、関連書籍を展示
- ・赤本(教学社の大学入試シリーズ)の国語に関して、出題元の著作をブックリストにして2年生に配布。また、実際の本も極力購入し、読書月間の課題図書とした。
- ・毎月変わる「司書のおすすめ本」コーナーのほか、可愛い動物の写真集を集めた「ほっとできる本」コーナー、「先生のおすすめ本」コーナー、短編ばかり集めた「かんたんに読める本」コーナーなどは人気である。
- ・図書委員長や有志の生徒に書架の1コーナーをスペースとして与え、好きな本やそれに関連する小物、ポップなどを展示する企画「私の本棚」として取り組ませている。担当を定期的に交代しながら常時10人程度の生徒が展示に参加している。

④その他、各校の創意工夫による多様な取組

<読書に取り組む機会を増やす取組事例>

- ・学校設定科目「読書活動基礎」を創設したり、総合的な探究の時間において「地域図書館から見える地球」を全7回の講座として開講したりして、図書館や読書に親しむ授業を年間を通じて実施している。
- ・国語科と連携した新書課題図書の貸出
- ・全校でのビブリオバトル
- ・校内読書会、他校との合同読書会
- ・作家訪問(生徒が希望する作家にインタビューし、記録をまとめる)
- ・図書委員会による文化祭映画作成資料の整備・貸出・相談
- ・文化祭でのポップ展示
- ・図書委員による月例選書会
- ・ブックハンティング
- ・古本市

<調べ学習の取組事例>

- ・総合的な探究の時間において、本校では2～3年次にかけて1人1テーマを調べ、論文作成、発表を行っている。そこへ司書教諭が全体的にかかわり、ZOOMで2年次へ図書館ガイダンスを実施したり、3年次へ論文作成における資料活用の注意点を説明したりしている。また、一斉に図書館へ資料探しに来るのは物理的に不可能(密にもなる)なため、各教室でスマホでオンライン蔵書検索を行い、自分のテーマにあった資料をあらかじめ検索する工夫も行っている。
- ・2・3年次における探究活動の教科「課題研究」の研究テーマを決めるために、文献調査を兼ねて必ず関連図書を読むことを指導している。

【特別支援学校】

①デジタル技術を活用した読書環境整備や読書活動の取組

<ICTを活用した読書環境整備、読書活動の取組事例>

- ・一人1台端末に読み上げアプリを導入
- ・デジタル教科書・図書の活用(教育課程ごとに実態に即した図書を選定)
- ・「わいわい文庫」の導入
- ・電子書籍での読書方法を生徒に紹介
- ・高等部の生徒が情報科の授業で絵本をデジタル化し、幼稚部の生徒への読み聞かせを行った。
- ・地域の公立図書館の電子図書館利用申請を学校で取りまとめ、一人1台端末から利用できるよう準備

②読書環境整備や読書活動の取組

<読書環境整備の取組事例>

- ・LLブック・大型絵本・触る絵本・音の出る絵本・飛び出す絵本(壊れやすいが興味を引きやすい)の活用
- ・地域の公共図書館との連携(月100冊の借入、おすすめ図書の紹介)

<レイアウト等の取組事例>

(視覚障害)

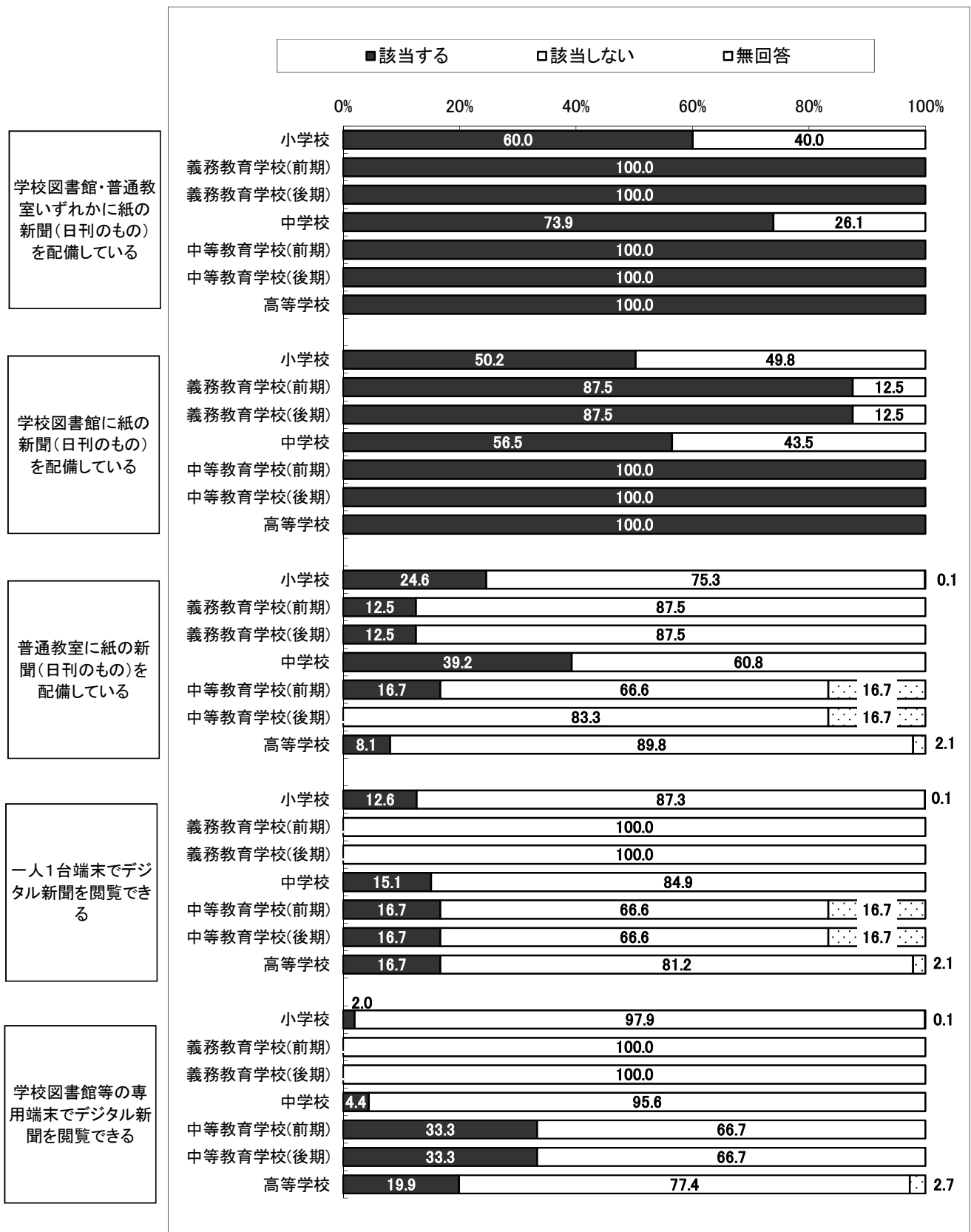
・書籍の内容や種別でコーナーをつくり、点字で紹介している。児童が読みたい本を見つけやすいように、いつも同じ棚、同じ並びになっているように整理している。

(肢体不自由)

- ・車いすの児童が使いやすい書架を使用し、表紙が見える「イーゼル展示」を多数行っている。
- ・図書の配架は面出しとし、児童が手に取りやすいようにしている。
- ・テーマを絞ったレイアウトにしたことで、貸出数が伸びている。
- ・児童が本に触れやすいように、図書室前の廊下にオープンライブラリーを整備
- ・図書館が無いが、廊下を有効活用し、分野別に配架して図書コーナーを設置(オープンラック型、ネット型)

<学校図書館における新聞の配備や活用の状況>

1. 新聞の配備状況



※「配備」とは、少なくとも1日分は生徒や教職員が閲覧できるように設置・管理していることを指します。
 全学級でなく一部の学級のみ配備されている場合も「配備している」に含みます。
 ※特別支援学校については、上記の集計結果には含まない。(以下2・3も同様)

2. 新聞の紙数

※学校全体で配備されている新聞の数(紙数×教室数とはしない。教室・学校図書館の重複も除く。)

新聞(日刊のもの)の配備校における平均配備紙数 (単位:紙)

小学校	義務教育 学校(前期)	義務教育 学校(後期)	中学校	中等教育 学校(前期)	中等教育 学校(後期)	高等学校
2.7	1.4	1.4	3.3	6.3	6.3	6.1

新聞(日刊以外のもの)の配備校における平均配備紙数 (単位:紙)

小学校	義務教育 学校(前期)	義務教育 学校(後期)	中学校	中等教育 学校(前期)	中等教育 学校(後期)	高等学校
1.4	1.2	1.2	1.6	2.2	2.2	1.8

＜文部科学省の第6次「学校図書館図書整備等5か年計画」における学校図書館への新聞配備の目標(小学校等:2紙、中学校等:3紙、高等学校等:5紙)を下回る場合のみ回答＞

今後、目標紙数以上の新聞を配備する予定はありますか。 (単位:%)

	小学校	義務教育 学校(前期)	義務教育 学校(後期)	中学校
目標紙数を下回るが、今後、目標以上の新聞を配備する予定がある	24.2	37.5	37.5	19.2
目標紙数を下回るが、今後、目標以上の新聞を配備する予定がない	35.4	37.5	37.5	33.3
無回答 (目標紙数を下回らない場合を含む)	40.4	25.0	25.0	47.5

※中等教育学校は全校で目標紙数を上回る

※高等学校は全校で予算措置がされているため対象外

配備予定なしの場合、以下に理由を記載してください(自由記述)

- 予算の都合(予算を確保できない、図書購入を優先 等)、又は、現状では必要性を感じていない(今の紙数で十分、子ども新聞や中高生新聞があるため、調べ学習等では一人1台端末でのインターネット検索で対応、活用する機会が少ない、活用する計画がない、生徒の利用が少ない 等)という回答が多かった。
- 予算化及び配備について、検討中もしくは今後検討と報告した学校もあった。
- スペースの不足、管理に手間がかかり配置が難しい等の課題も報告された。
- 島しょ部では配送が不安定という課題も報告された。

3. 新聞の種類(該当の新聞を配備している学校数 ※複数回答可)

(単位:%)

	小学校	義務教育 学校(前期)	義務教育 学校(後期)	中学校	中等教育 学校(前期)	中等教育 学校(後期)	高等学校
全国紙	52.8	62.5	62.5	78.5	100.0	100.0	100.0
地方紙	17.0	0.0	0.0	29.9	66.7	66.7	44.6
小学生新聞 (子供新聞)	53.6	75.0	75.0	2.8	0.0	0.0	1.1
中学生新聞	0.5	37.5	37.5	39.6	83.3	83.3	23.1
高校生新聞	0.3	12.5	12.5	11.0	83.3	83.3	29.6
専門紙	2.9	0.0	0.0	5.1	0.0	0.0	9.7
外国語新聞	0.2	0.0	0.0	3.6	83.3	66.7	36.0

4. 新聞の活用状況

学習や読書活動において、新聞をどのように活用していますか。教科、学習テーマ、指導方法等、貴校での取組状況や成果について具体的にご記入ください（自由記述）

<授業等での活用>

国語、社会、総合的な学習（探究）の時間の調べ学習等での活用事例が報告された。また、各教科で実際の新聞を資料や例として活用する取組が見られた。

- ・興味のあるニュースを選び、自分の考えをまとめて交流
- ・新聞を読み、要約し、感想をまとめたり、記事について詳しく調べる
- ・新聞の一面にどんな記事が載っているか調べたり、全国紙と地方紙の記事を比較
- ・同じニュースを複数紙で読み比べて、気づいたことをまとめる
- ・図書、雑誌、テレビ、インターネットのニュース等と新聞の特徴を比較
- ・調べ学習のまとめを新聞形式で行い、実際の新聞を情報のまとめ方の参考にする
- ・語彙を増やしたり、要点を的確に読み取ったりする学習に活用
- ・紙面から習った漢字や知っている言葉を探す（小学校低学年での取組）
- ・新聞記者をゲストに招き新聞の構成等を学習
- ・社会で経済や社会の動き、時事的なテーマを取り上げる際、関連記事を活用
- ・授業の導入で近年注目されたニュースを紹介
- ・ディベートの材料として活用
- ・社説やコラムを小論文や面接の指導に活用
- ・新聞社が作成しているワークシートを授業に活用

<学校図書館での活用>

新聞記事の掲示や切り抜きの作成保管、バックナンバーの配備、新聞専用の読書台の設置、新聞記事と関連図書を並べて展示、図書委員会での活用等の事例が報告された。ニュースと本を結びつけることで、読書の幅を広げる取組が見られた。

- ・新聞記事を関連図書と並べて展示、関連のインターネット情報をGoogle Classroomで発信
- ・各教室前に新聞が読めるスペースを設置
- ・新聞で話題になっている内容を取り上げて展示を構成
- ・専用のラックを設け新聞各社を比較できるよう工夫
- ・新聞記事をテーマごとにスクラップし、掲示（職業、受験・進学、健康、読書、SDGs等）

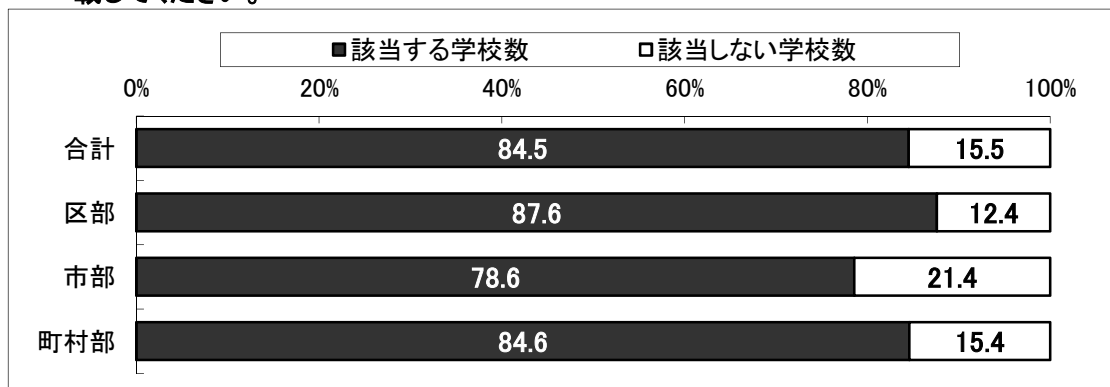
<その他の取組>

朝や帰りの会等での活用（スピーチの材料、気になる記事の発表）朝学習や朝読書の時間での活用（記事の書き写しや記事に関するコメントの作成）、新聞コンクールへの応募等の事例が見られた。なお、小学校、中学校、高等学校のいずれの校種でも、家庭で紙の新聞に接しておらず、学校で新聞に接する児童・生徒が増えているという声が寄せられた。

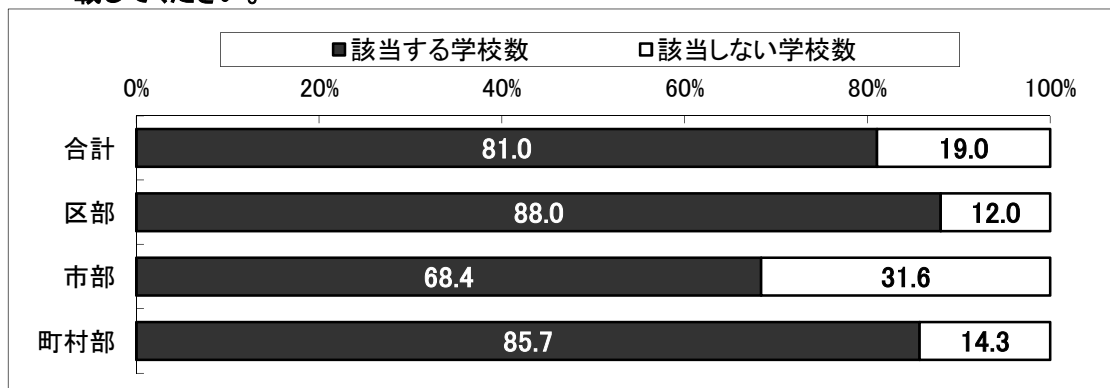
- ・朝のスピーチのテーマを「新聞記事から」と限定
- ・給食の時間に校内放送で1日のトップ記事を紹介
- ・帰りの会などで気になった記事を発表
- ・朝読書の時間等を活用し新聞に親しむ機会を定期的に設定（週1回は新聞コラムを扱う、読書活動の選択肢として新聞を提示 等）
- ・新聞コラムの書き写しを継続的に実施
- ・学級で一冊のスクラップブックを作成
- ・東京都NIE推進協議会「いっしょに読もう！新聞コンクール」への応募
- ・新聞社への投稿にチャレンジする取組

令和4年度 【調査3】 区市町村教育委員会の読書活動推進に関する調査結果

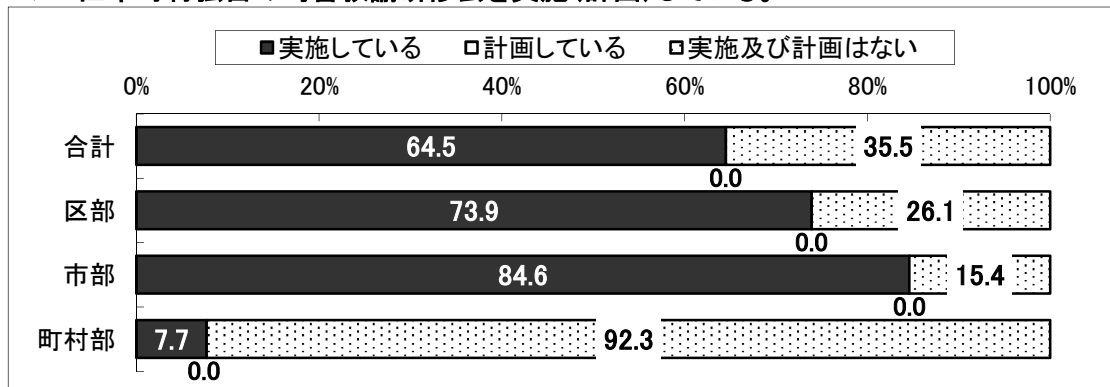
Q1. 小学校について、教育課程届の「指導の重点」に読書活動を明記している学校数を記載してください。



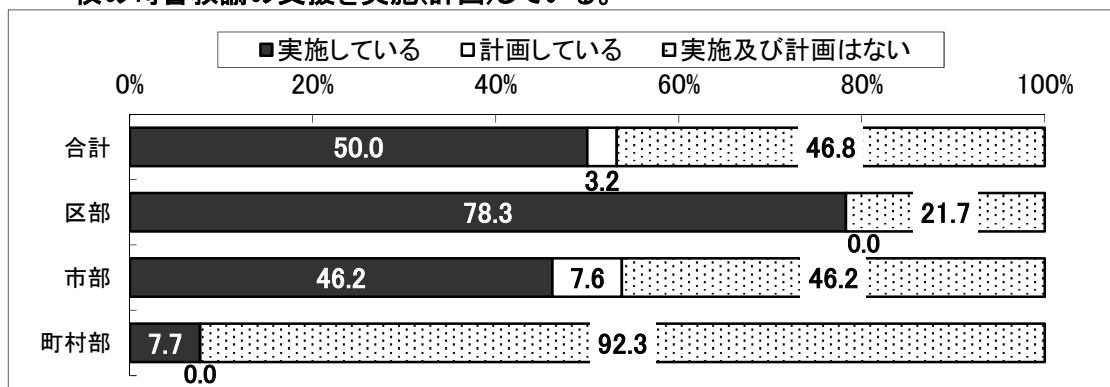
Q2. 中学校について、教育課程届の「指導の重点」に読書活動を明記している学校数を記載してください。



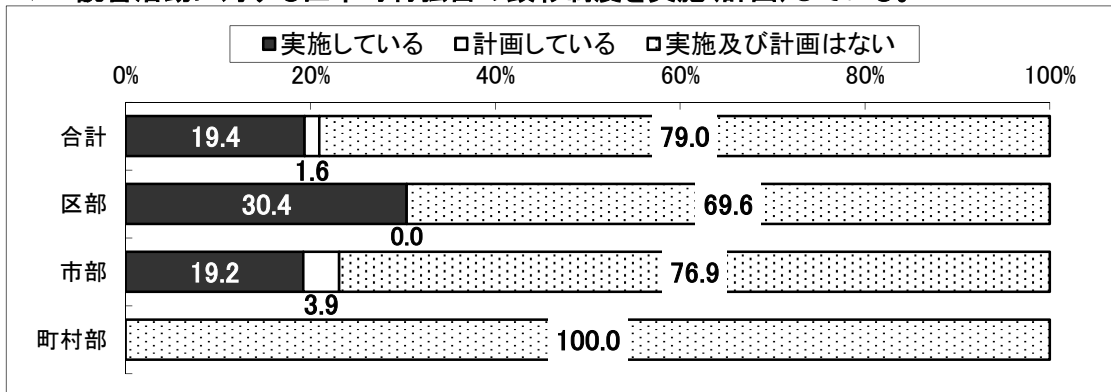
Q3. 区市町村独自の司書教諭研修会を実施(計画)している。



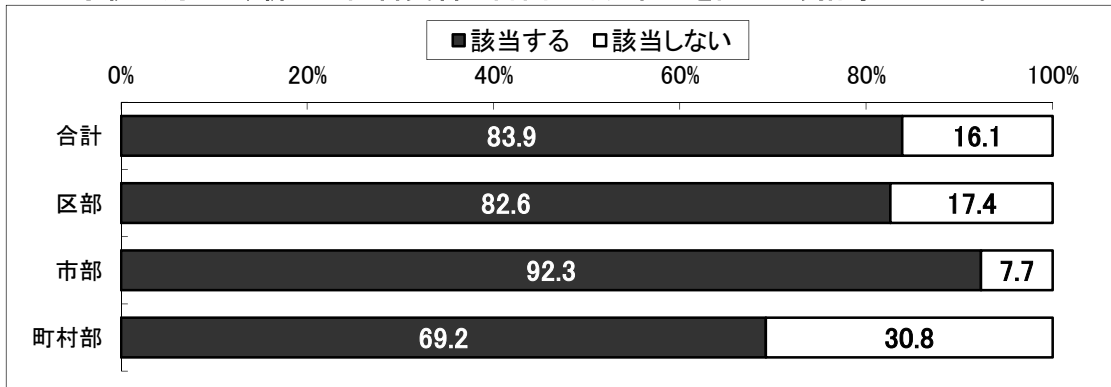
Q4. 学校図書館運営マニュアルの作成や、資料収集のための選定リスト等を作成し、各学校の司書教諭の支援を実施(計画)している。



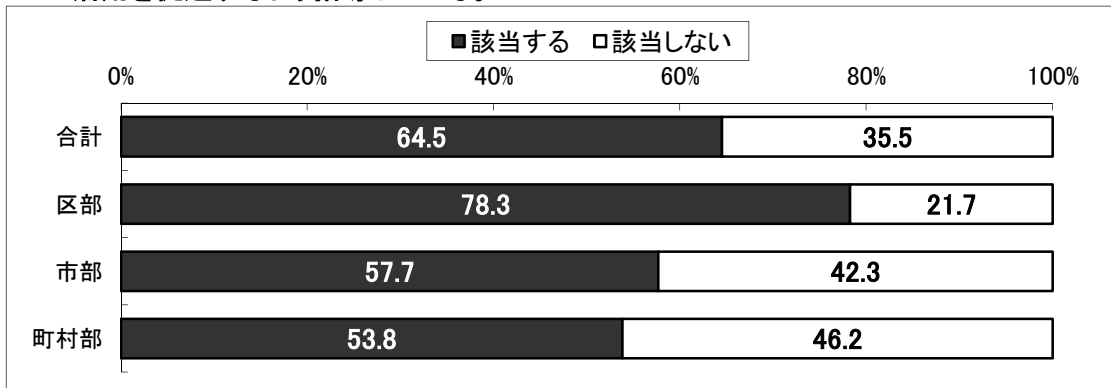
Q5. 読書活動に対する区市町村独自の顕彰制度を実施(計画)している。



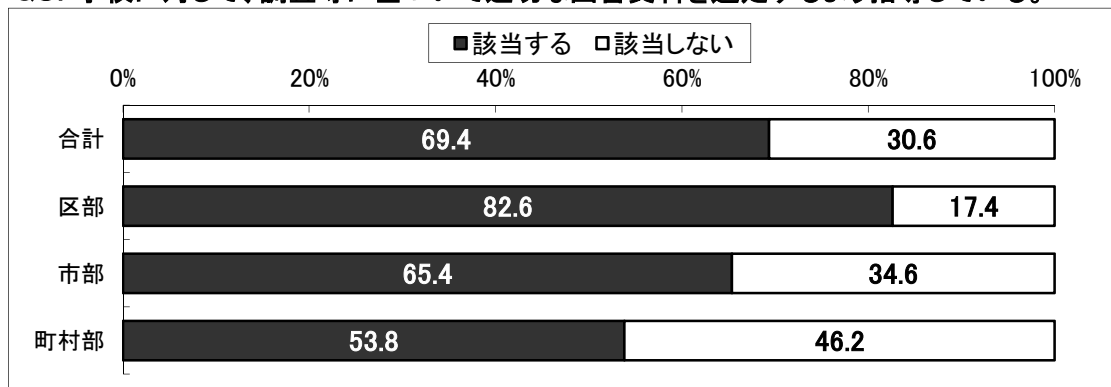
Q6. 学校に対して、新旧の図書資料の計画的な入替えを図るよう指導している。



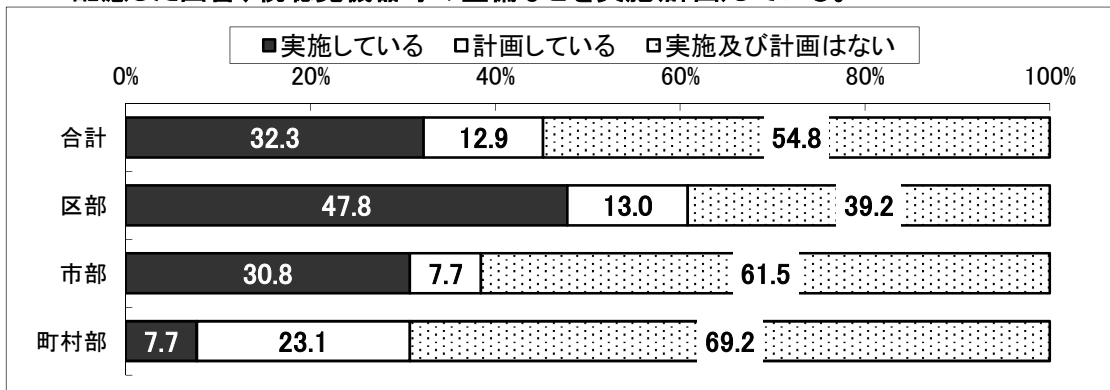
Q7. 学校に対して、読書指導等に用いる教材を学校図書館において一括管理するなどして、活用を促進するよう指導している。



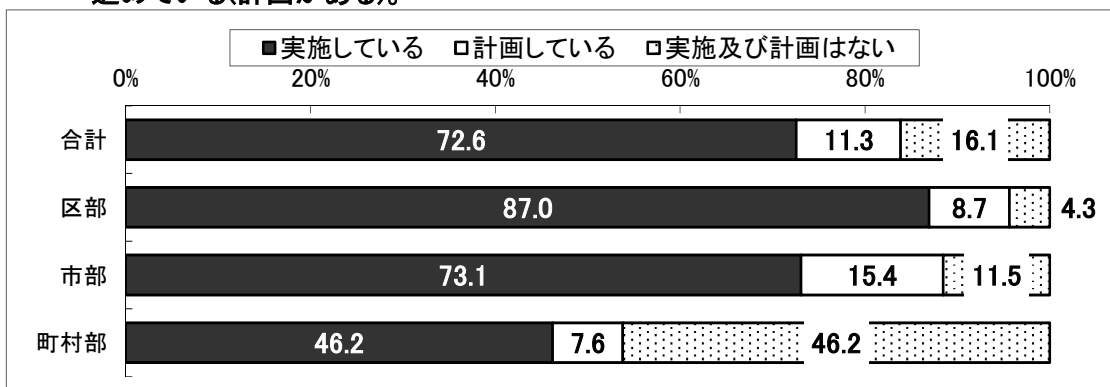
Q8. 学校に対して、調査等に基づいて適切な図書資料を選定するよう指導している。



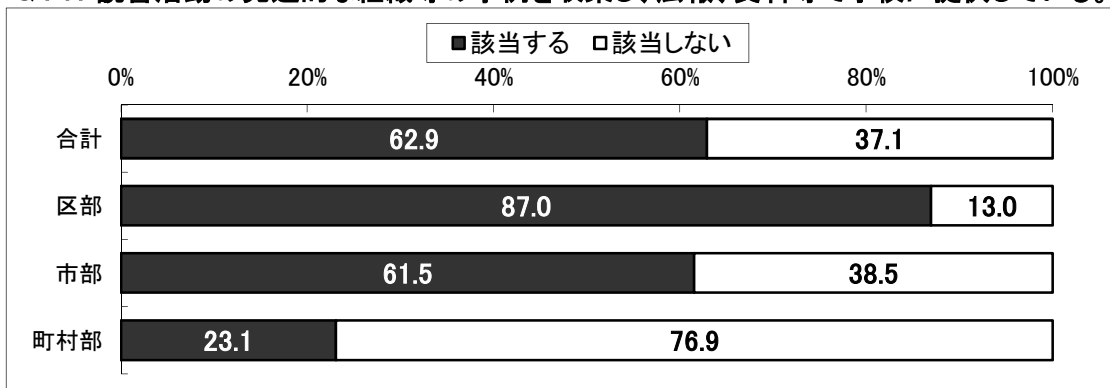
Q9. 障害のある児童・生徒が豊かな読書活動を体験できるよう、補助具や障害の状況に配慮した図書、視聴覚機器等の整備などを実施(計画)している。



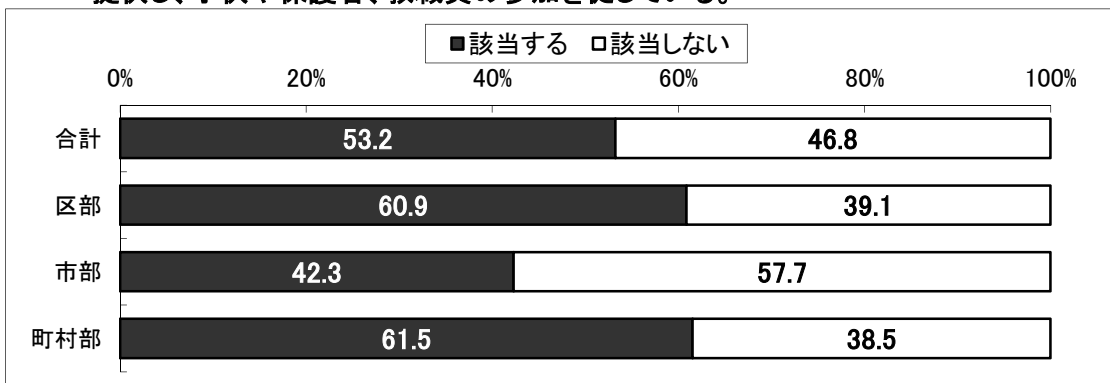
Q10. 学校図書館で所蔵する図書資料をデータベース化するなど、学校図書館の情報化を進めている(計画がある)。



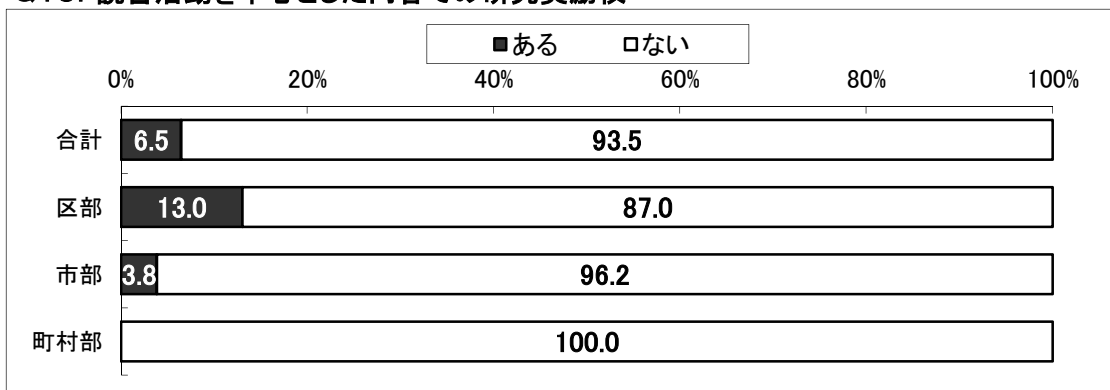
Q11. 読書活動の先進的な組織等の事例を収集し、広報、資料等で学校に提供している。



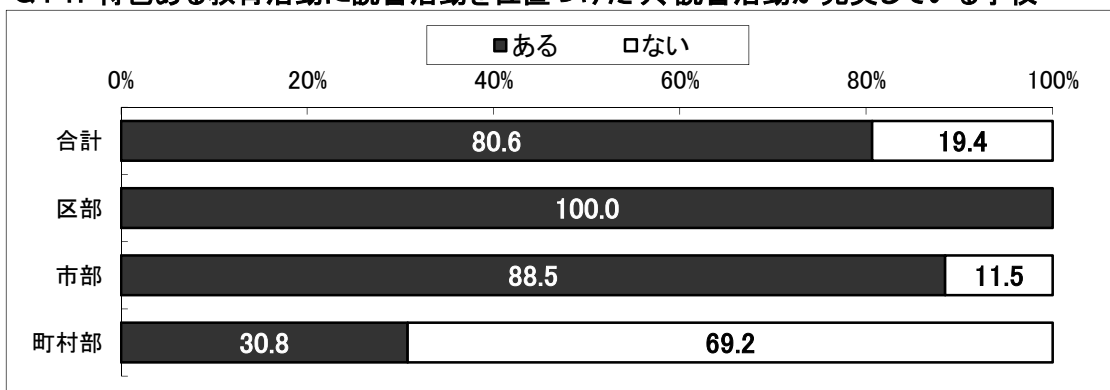
Q12. 子ども読書の日を記念した行事や読書週間に行われる各種行事の情報を学校に提供し、子供や保護者、教職員の参加を促している。



Q13. 読書活動を中心とした内容での研究奨励校



Q14. 特色ある教育活動に読書活動を位置づけたり、読書活動が充実している学校



Q15. 貴自治体で実施されている特色ある取組(自由記述)

※以下の記述は、主なもの、特色あるものを抜粋・整理したものです。

① デジタル技術を活用した読書環境整備や読書活動の取組

<電子書籍の活用>

- ・教育委員会と公立図書館が連携し、域内の児童・生徒が一人1台端末で学校・家庭から公立図書館の電子書籍サービスを利用できる環境構築
- ・公立図書館の電子書籍サービス利用のためのID・パスワードを生徒に配付
- ・電子書籍の試験導入・検証
- ・「わいわい文庫」(公益財団法人伊藤忠記念財団)の紹介研修

<一人1台端末の活用>

- ・読書記録アプリの活用
- ・おすすめ本リストやパスファインダーの電子配布
- ・読後アンケートのオンライン実施
- ・端末のポータルに公立図書館のアプリを配置

<学校図書館の環境整備>

- ・学校図書館のインターネット環境整備(一人1台端末が利用可能)
- ・一人1台端末で学校図書館の蔵書検索等が可能な環境構築
- ・小・中学校で統一的な学校図書館管理システムの導入

② 学校図書館リニューアルに係る取組

<レイアウトの工夫>

- ・特別支援学級設置校(小学校)において、学校図書館内に畳のスペースを設置し、通常級と特別支援学級の児童が交流しながら読書ができる工夫
- ・学校図書館とパソコンルームを併置し、「情報センター」として活用

<特別なコーナーの設置>

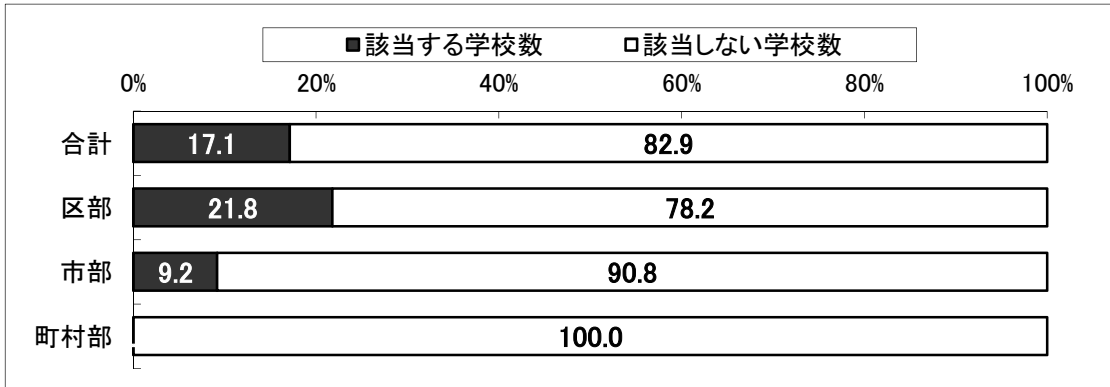
- ・全小・中学校にSDGsに関する書籍のコーナーを設置
- ・国語科教員や学校図書館指導員が、域内の児童・生徒に読んで欲しい本を選書し、各校にコーナーを設置

③ その他の取組

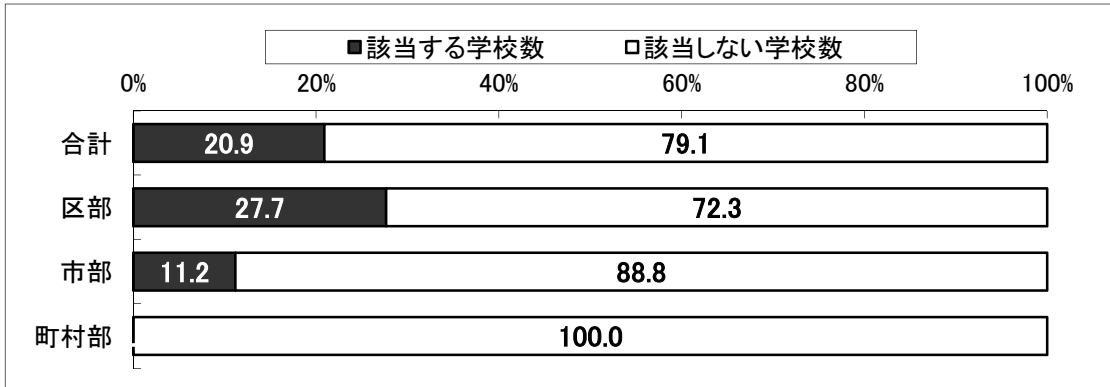
- ・学校図書館司書及び司書教諭を対象とした教育委員会主催の研修(好事例の紹介等)
- ・各校の学校図書館・読書活動担当者の情報共有や研修の機会を設定(連絡会等)
- ・ビブリオバトル等の開催
- ・「図書館を使った調べる学習コンクール」の実施(公立図書館による調べ学習用図書セットの配送サービスを活用)
- ・学校間の交換便だけでなく宅配を活用する図書貸出の体制構築

<学校図書館における新聞の配備や活用の状況>

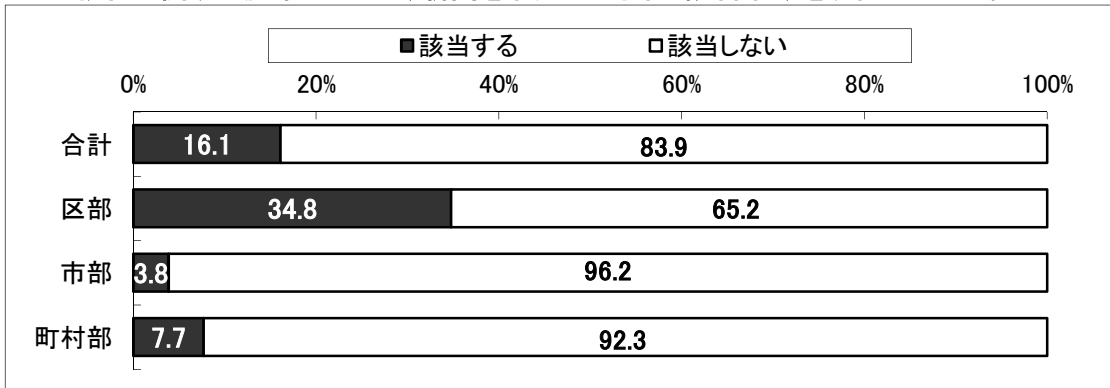
Q1. 小学校について、教育課程届の「指導の重点」に新聞を活用した学習・読書活動を明記している学校数を記載してください。



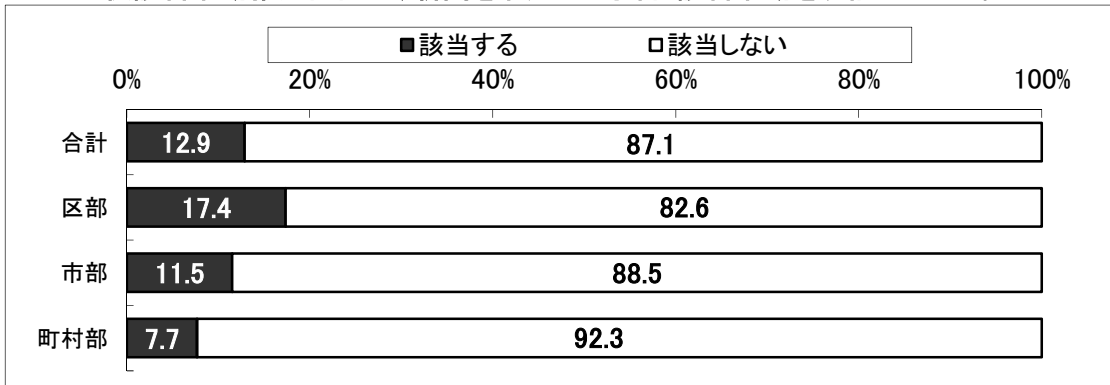
Q2. 中学校について、教育課程届の「指導の重点」に新聞を活用した学習・読書活動を明記している学校数を記載してください。



Q3. 教育に関する施策・計画に、新聞を活用した学習・読書活動を明記している。



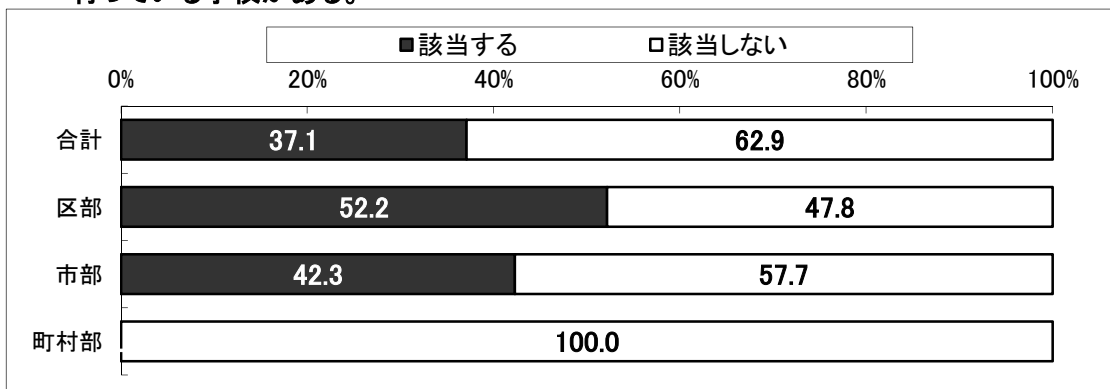
Q4. 子供読書活動推進計画に、新聞を活用した学習・読書活動を明記している。



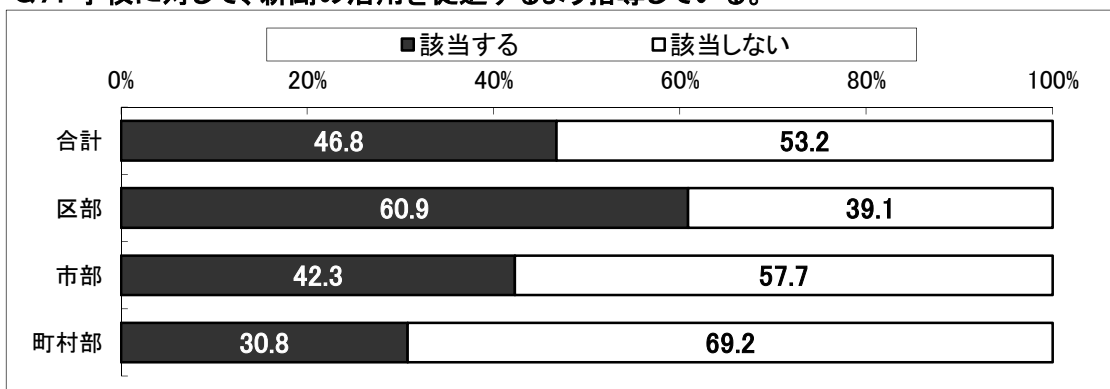
Q5. 新聞を活用した学習・読書活動を中心とした内容での研究奨励校がある。



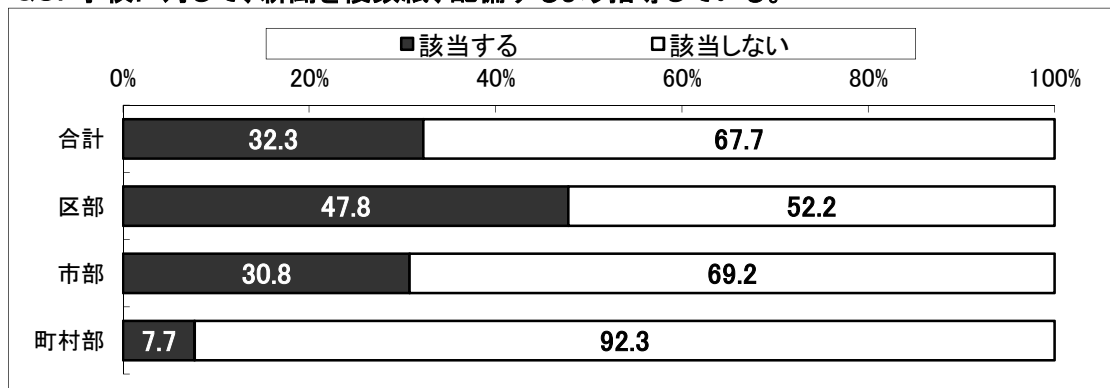
Q6. 新聞を活用した学習・読書活動を特色ある教育活動に位置付けたり、充実した取組を行っている学校がある。



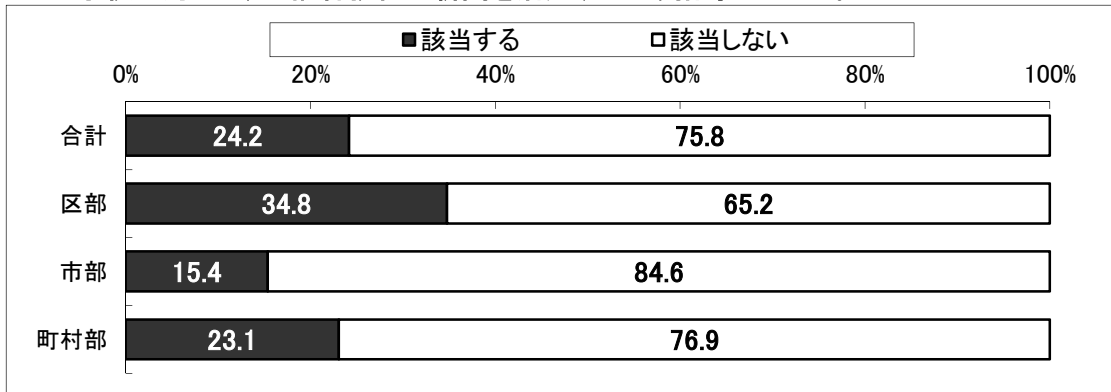
Q7. 学校に対して、新聞の活用を促進するよう指導している。



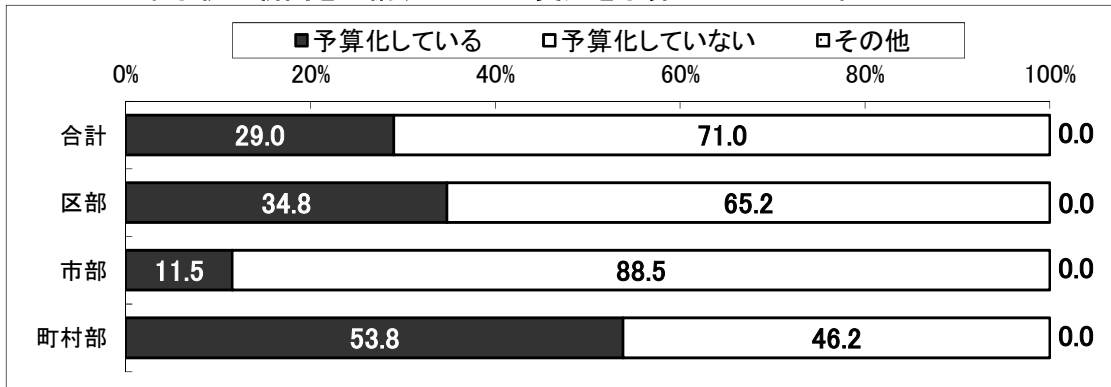
Q8. 学校に対して、新聞を複数紙、配備するよう指導している。



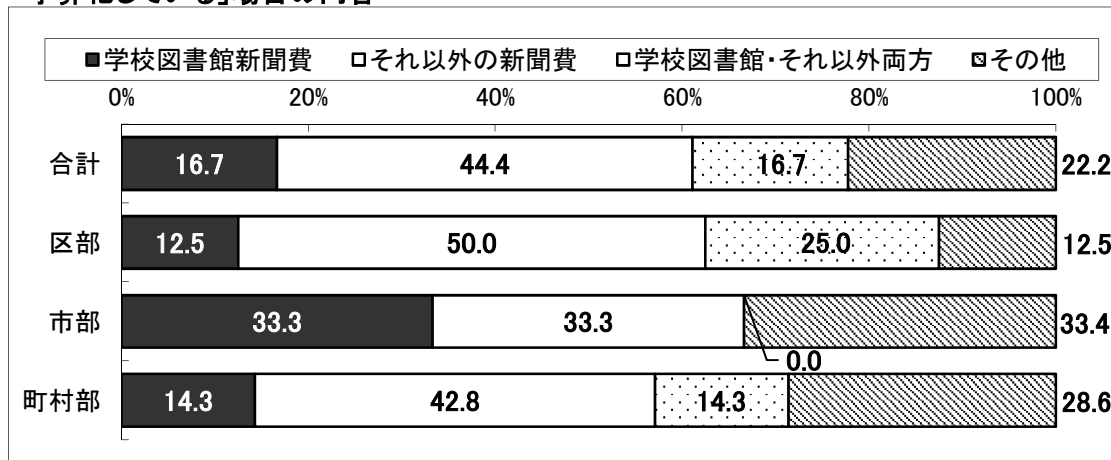
Q9. 学校に対して、主催者教育に新聞を活用するよう指導している。



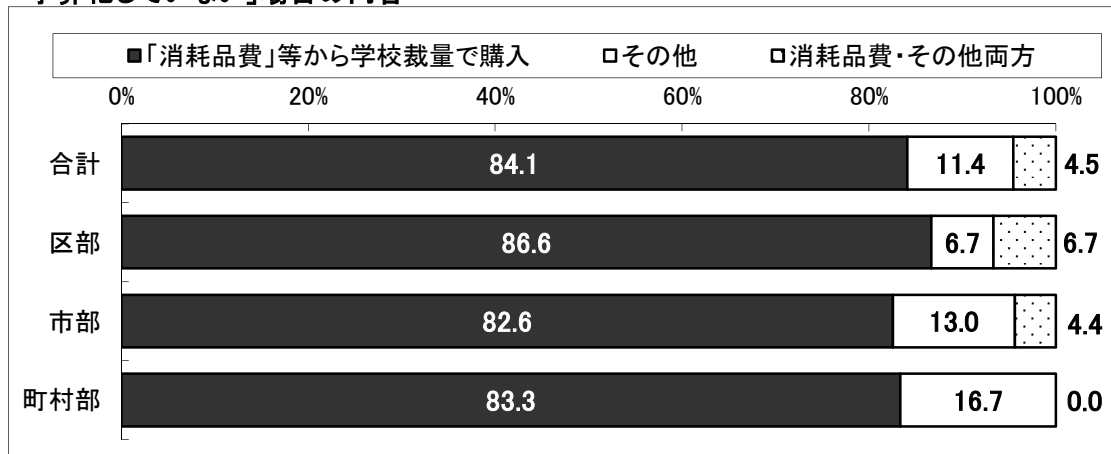
Q10. 小・中学校に新聞を配備するための費用を予算化しているか。



「予算化している」場合の内容



「予算化していない」場合の内容



予算化していない場合、その理由を記載してください（自由記述）

- 用途を特定した予算を設定せず、学校裁量によるという回答が最も多かった。
- 予算化を検討中、予算要求中という回答もあった。
- 予算の確保が困難という回答も見られた。

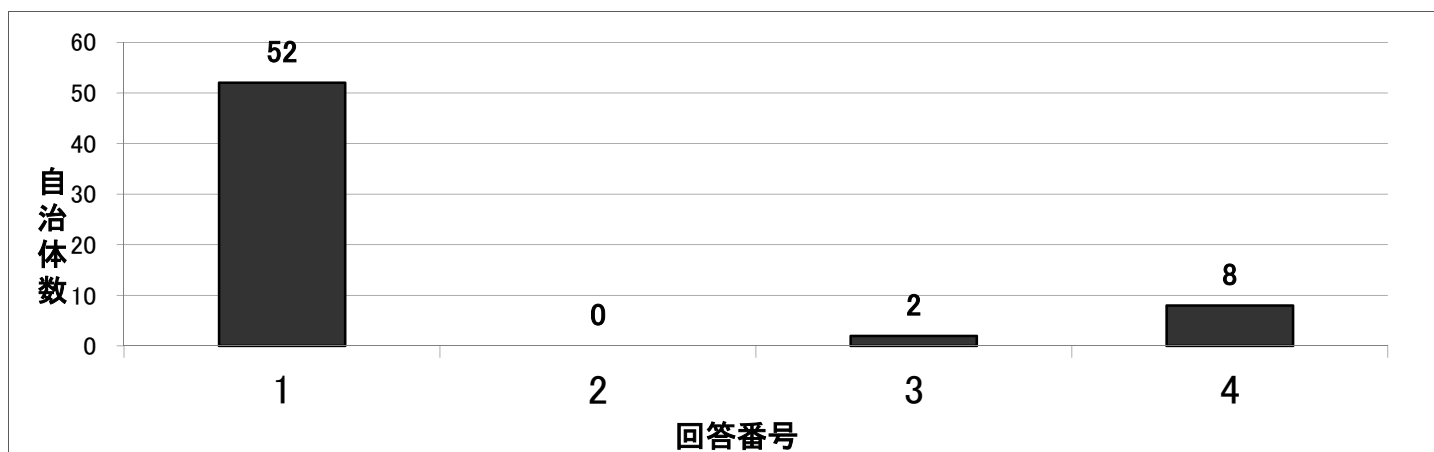
Q11. 貴域における学校図書館への新聞配備の推進や、学習や読書活動における新聞の活用について、現状を踏まえた今後の取組をご記入ください。効果的な取組事例や具体的な成果がありましたら、併せてご記入ください。（自由記述）

- 既に複数紙配備を進めている自治体のほか、予算化や配備の推進を検討している自治体があった。デジタル新聞の導入を試行・検討している自治体もあった。
- 今後の取組として、学校図書館担当者(学校司書、担当教員等)の連絡会や研修会で情報交換を行い、取組事例を共有して新聞の活用を推進していくという回答や、第6次「学校図書館図書整備等5か年計画」や新聞の配備・活用について各校に周知・指導していくという回答が見られた。
- 東京都NIE推進協議会主催のNIE教育フォーラムやNIEスタート研修会について各校に周知しているという自治体があった。
- 学校図書館への新聞配備に加え、身近に新聞がある環境づくりの観点から、教室等、学校図書館以外の場所への配備拡充を検討している自治体もあった。
- 島しょ部では、新聞の配送が不安定であり、デジタル新聞の活用を検討するにしても、学校図書館の環境や人的資源の不足等、多くの課題があることが報告された。

令和4年度 【調査4】 子供の読書活動推進に関する調査結果（子供の読書活動主管課）

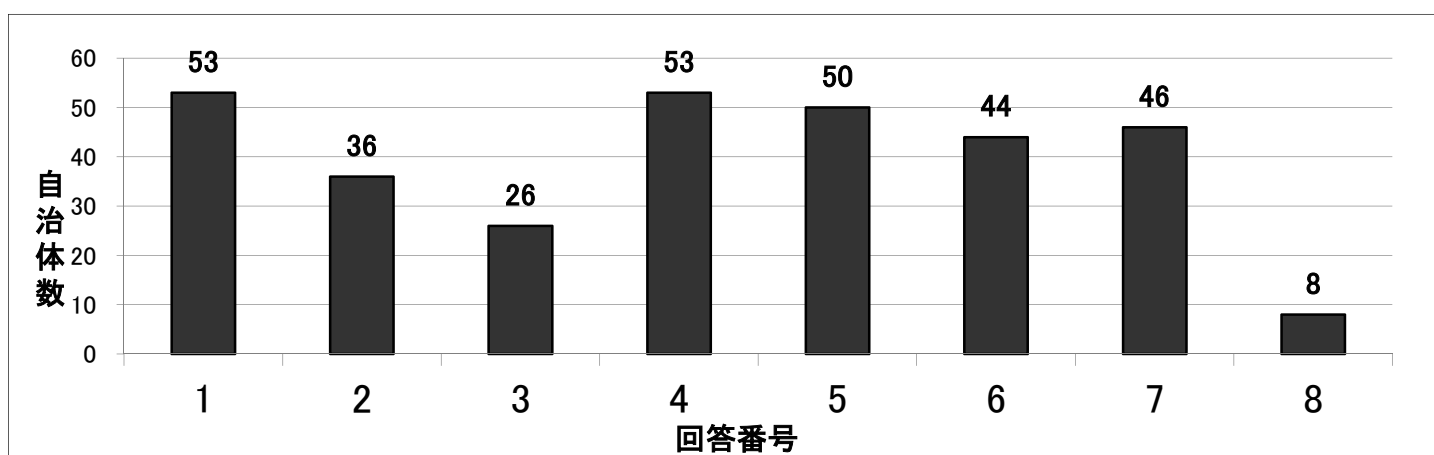
Q1. 貴自治体において「子供読書活動推進計画」を策定していますか。

番号	回答内容	区市町村合計
1	策定済み	52
2	現在、具体的に策定作業を進めている	0
3	策定するか否かについて検討中	2
4	策定の予定はない	8
NA	無回答	0



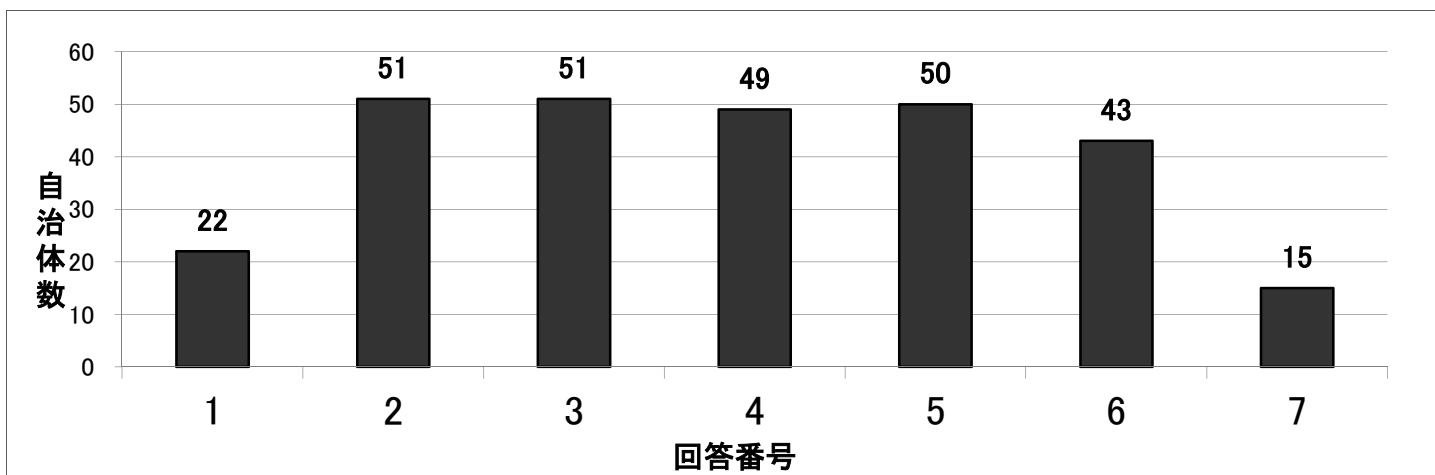
Q2. 公立図書館で以下のサービスを実施していますか。（複数回答可）

番号	回答内容	区市町村合計
1	子供のための集会行事（おはなし会、科学遊びの会、講演会など）	53
2	子供司書・読書リーダー・子供館長など体験支援	36
3	子供が生まれる保護者を対象としたサービス	26
4	乳幼児とその保護者を対象としたサービス	53
5	青少年を対象としたサービス	50
6	日本語を母語としない子供、帰国児童・生徒を対象としたサービス	44
7	特別な配慮を必要とする子供を対象としたサービス	46
8	実施していない	8
NA	無回答	0



Q2-1. 4「乳幼児とその保護者を対象としたサービス」を選択した自治体にお聞きします。
具体的にどのようなことを行っていますか。(複数回答可)

番号	回答内容	区市町村合計
1	保健所・保健センターでの乳幼児検診を利用した読み聞かせの実演	22
2	図書館での定期的なおはなし会、わらべうたの会等の実施	51
3	乳幼児とその保護者を対象とした絵本コーナーの設置	51
4	乳幼児を連れて保護者が利用しやすいような設備の充実	49
5	保護者に対する広報・啓発事業の実施(読み聞かせや絵本に関する冊子作成、HP上での発信、講演会など)	50
6	ブックスタートに関わる事業の実施	43
7	その他	15
NA	無回答	0

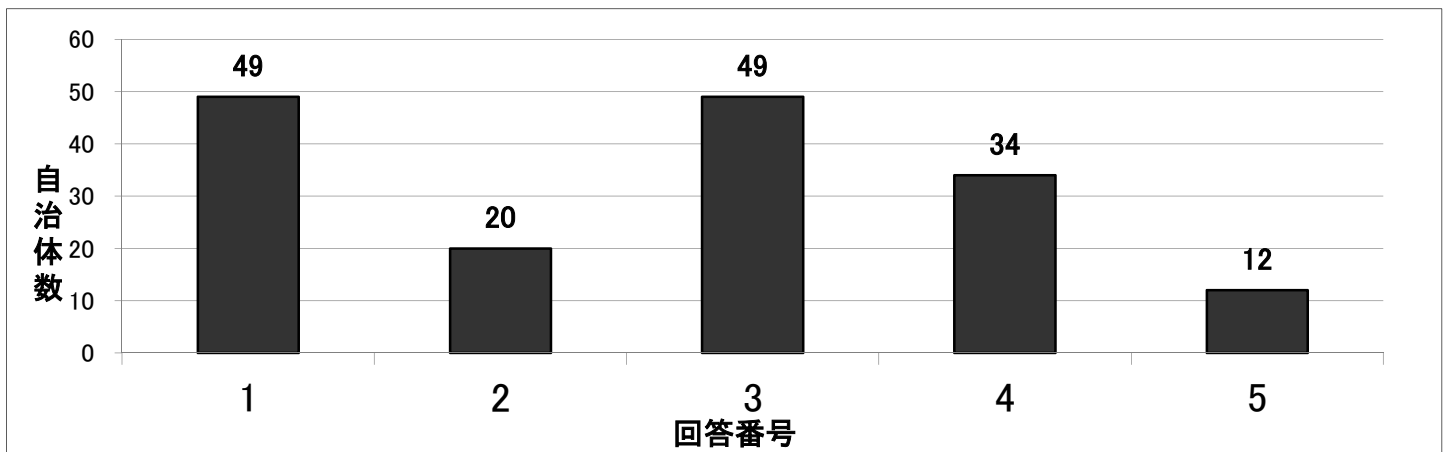


2-1 【その他】の具体例

- ・妊娠中の方とその家族を対象に、妊娠、出産、育児に関するブックトークや赤ちゃんに関する絵本の読み聞かせ等を行うとともに図書館利用を促進(プレママおはなし会)
- ・新型コロナウイルス感染症の影響で保健センターでの読み聞かせは休止しているが、今年度中に再開の見込み
- ・保健所内に、乳幼児向け及び保護者向けの資料を充実させた小規模図書館(すこやかとしょじつ)を設置
- ・4か月児健診時に引換券を配付し、図書館で赤ちゃん絵本1冊と絵本リスト・啓発パンフレット等を入れた手提げ袋と交換(「絵本」と絵本をひらく楽しい「体験」をセットで提供することができていないため、ブックスタートの名称は使用していない)
- ・図書館でのあかちゃんおはなし会開催時に、子どもセンター(子育て支援サービスの相談・情報提供を行う地域の子育て支援拠点)の職員が、保護者の相談を受ける「出張子どもセンター」を設置/保護者が赤ちゃん連れで気兼ねなく図書館利用ができるよう、泣き声などに他の利用者の理解を求める時間帯「あかちゃんタイム」の実施/あかちゃんと一緒に楽しめる絵本を紹介するブックリストの作成、配布。
- ・3歳児絵本プレゼント/「区民の会」との協働による事業実施(絵本サロン等)
- ・セカンドブック事業(3歳児)と関連する読み聞かせ会の実施・絵本の講座の実施
- ・子育て支援施設でのあかちゃんであまじょかんの実施/市関連施設や医療機関への乳児絵本の長期貸出(絵本パック)/母親学級での図書館やブックスタートに関するPR事業
- ・3、4か月児健康診査の会場で、1に加えて赤ちゃんの図書館利用カードの作成、絵本の貸出や赤ちゃんの絵本の紹介を行う「赤ちゃん絵本文庫」を実施
- ・「読書の記録」を中学生まで無料配布/子ども一時預かりサービスを実施/幼児向け図書館映画会を開催
- ・市内の子育て支援施設への「おすすめ絵本パック」(絵本20冊)の設置、「乳幼児への読み聞かせボランティア」の派遣によるおはなし会の実施。1は現在、コロナ禍のため休止中。再開については未定
- ・子育て中の方が、図書館でゆっくり本に触れ自分の時間を過ごすことができるよう併設の公民館保育室で保育スタッフが子どもを預かる託児付き図書館サービスを実施
- ・3、4か月児健診時に絵本とブックリストの配布、1歳6か月児健診時にブックリストの配布(令和2年度以降読み聞かせ等は中止)
- ・域内在住・在学の中学生以下の方には無料で読書通帳を発行、記帳する読書通帳機を市内全図書館に設置
- ・0～2歳児におすすめの絵本3冊を1点とし、「ちびっこおすすめ絵本パック」として貸出(全9種類)

Q2-2. 5「青少年を対象としたサービス」を選択した自治体にお聞きします。
具体的にどのようなことを行っていますか。(複数回答可)

番号	回答内容	区市町村合計
1	青少年の興味・関心にあったコーナーの設置	49
2	青少年が主体となった図書館事業の企画	20
3	青少年向けの本を紹介したリーフレットの作成、またはHP上での発信	49
4	青少年を対象としたイベントの実施	34
5	その他	12
NA	無回答	0

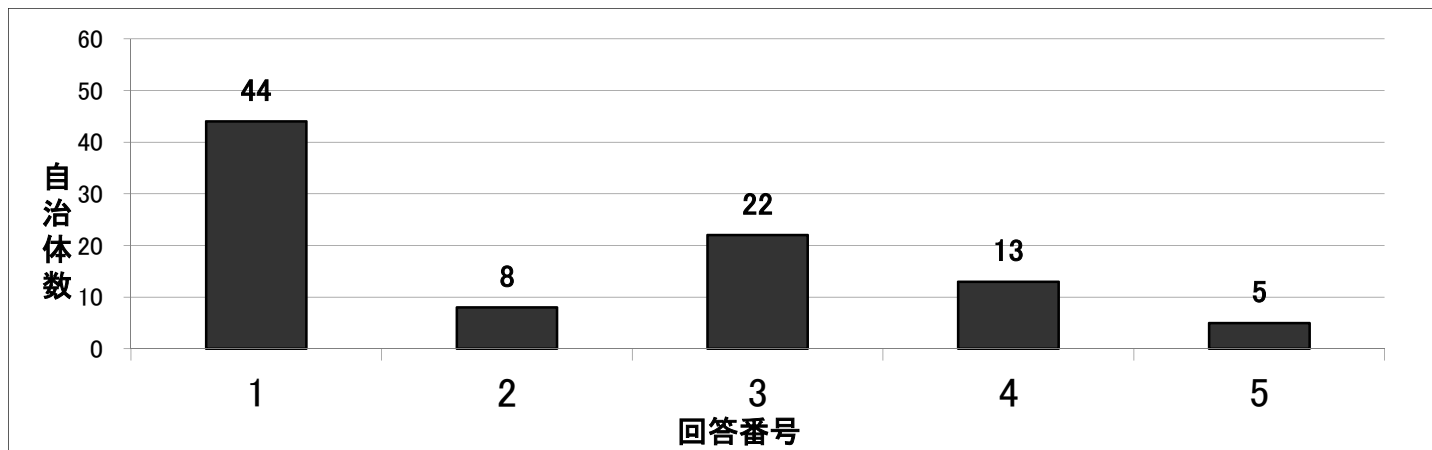


2-2【その他】の具体例

- ・域内公私立中高生を対象に懇談会、学校訪問を通じて子どものニーズの把握や情報交換の場を設けている
- ・近隣中学校美術部の作品展示、高校図書委員によるPOP展示等
- ・テスト期間に合わせ、図書館の多目的室等を中高生限定の自習室として開放
- ・図書館ホームページで本の紹介YouTubeの配信
- ・中学生から20歳くらいまでのメンバーで構成された「〇〇としょかん図書部」が同世代に向けて、本の魅力を伝える活動を行っている
- ・夏休み期間中に、YAコーナーにポストと紙を設置し、中高生の好きな本などを自由に書いて投函してもらう「My Favorite Things」という取組を実施
- ・「図書館学生ボランティア」事業：図書館利用資格のある中学生以上の学生を対象に、配架・整架などの図書館の仕事を通して様々な本に親しみながら、居場所や社会体験の場として図書館を活用してもらう。(コロナ禍で2019年～受入れ中止中。状況により再開予定)
- ・小中学校連携で、小中学校図書委員によるオススメ本の紹介用紙を柱に貼って木の葉のように展示や公民館・図書館のおまつりで「中学生のお薦め本」のポップ展示を実施
- ・青少年の興味・関心にあった電子書籍の提供
- ・ビブリオバトルの実施
- ・青少年世代との共同編集による情報紙の作成

Q2-3. 6「日本語を母語としない子供、帰国児童・生徒を対象としたサービス」を選択した自治体にお聞きします。
 具体的にどのようなことを行っていますか。(複数回答可)

番号	回答内容	区市町村合計
1	外国語で書かれた子供向け図書の収集	44
2	外国語で書かれた子供向け新聞・雑誌の収集	8
3	外国語によるおはなし会の実施	22
4	子供たちが日本語を学ぶための資料の収集	13
5	その他	5
NA	無回答	0

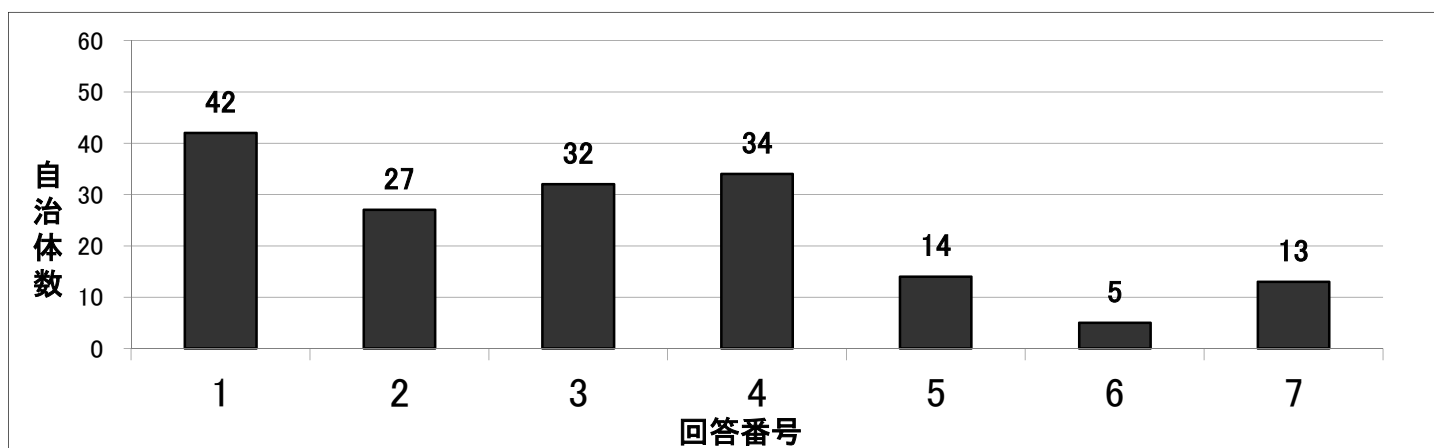


2-3 【その他】の具体例

- ・「多文化を知るお話し会」を開催し、地域の外国籍ボランティアの方が様々な国や民族の文化を子供たちに紹介したり、図書館展示を実施
- ・日本語と他の言語の絵本を収集し、セットで学校に貸出
- ・外国語資料がほぼない館では英文併記の絵本展示コーナーの設置など
- ・英語・中国語・ハングル語の利用案内の作成
- ・外国語を母語とする児童に対し、日本語の学習を支援する講座の実施

Q2-4. 7「特別な配慮を必要とする子供を対象としたサービス」を選択した自治体にお聞きします。
具体的にどのようなことを行っていますか。(複数回答可)

番号	回答内容	区市町村合計
1	子供向け点字資料の収集・提供	42
2	子供向け拡大資料の収集・提供	27
3	子供向け録音図書・DAISY図書の収集・提供	32
4	子供向けマルチメディアDAISY資料の収集・提供	34
5	手話または字幕付DVDの収集・提供	14
6	手話または字幕付おはなし会の実施	5
7	その他	13
NA	無回答	0

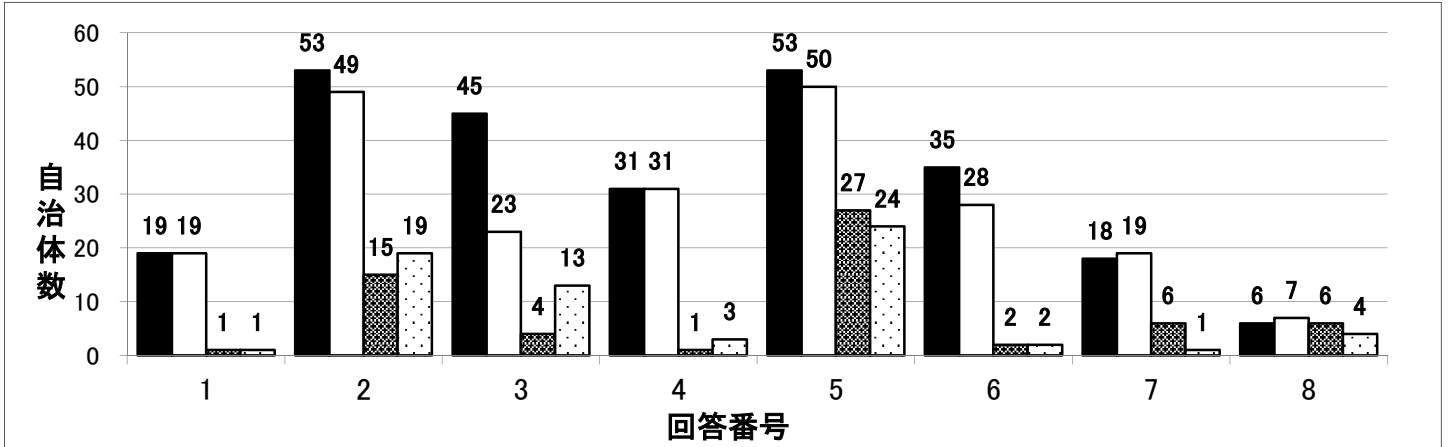


2-4【その他】の具体例

- ・特別な支援を必要とする子供向けの資料として〇〇図書館で点字資料、さわる絵本、音声資料、LLブックを所蔵。より多くの資料を所蔵する方向
- ・特別支援学校及び特別支援学級に対して、図書館見学やおはなし会を実施
- ・りんごの本棚(LLブック等を配架)の設置
- ・配慮を必要とする子どもの施設への出張おはなし会の実施
- ・手話通訳者を依頼する予算を計上
- ・布絵本の作成、さわる絵本の収集や貸出、及び心身障害者福祉センター等での展示、リーディングトラックのカウンター設置、対面朗読の実施、資料の宅配や郵送、拡大読書器の設置等
- ・布の絵本の収集・作成・提供、おはなし会での布の絵本の使用、音訳(対面朗読)
- ・LLブックの収集
- ・コロナ禍以前は、図書館休館日に、特別な支援を必要とする子どもの図書館訪問受入れを実施した他、施設への訪問による読み聞かせやブックトークを実施していた
- ・0歳～小学生の障がいのあるお子さん対象の「布の絵本プレイルーム」(コロナ禍で2019年～中止、状況が良くなれば再開する予定)／障がい児関連施設や団体への「布の絵本」の貸出
- *「布の絵本」について: 障害のある子どもたちのために作られた絵本+遊具。長年活動していたボランティアグループが製作したものだが、活動を終え図書館がほとんどの作品を譲り受け、活用している。

Q3. 公立図書館では、地域の学校との連携を実施していますか。(複数回答可)

設問番号	1	2	3	4	5	6	7	8
設問	読書指導計画等についての情報共有	資料の貸出(学級文庫への貸出や団体貸出)やレファレンスサービス	学校訪問による読み聞かせやブックトーク、お話し会など	学校図書館運営への助言等	見学受入または職場体験等	教職員及びボランティアへの研修会	その他	実施していない
小学校	19	53	45	31	53	35	18	6
中学校	19	49	23	31	50	28	19	7
高等学校	1	15	4	1	27	2	6	6
特別支援学校	1	19	13	3	24	2	1	4

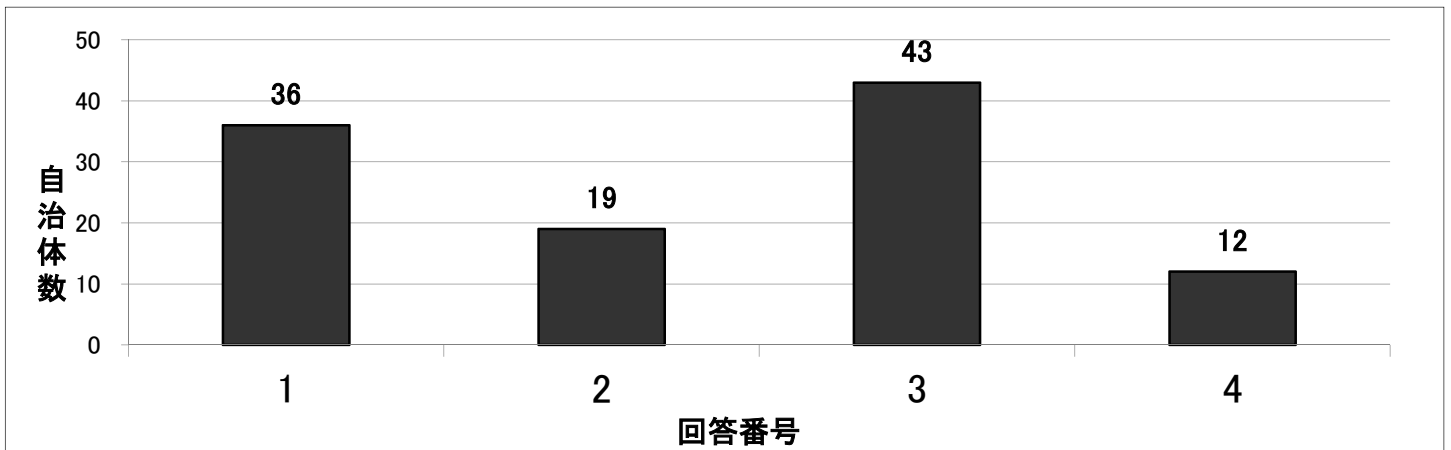


3【その他】の具体例

- ・メールマガジン配信／中高生向けの古書店街の街歩きツアー／学校(私立を含む)からの要望に応じて、読み聞かせ講座や選書講座を実施
- ・蔵書点検、学校システム
- ・地域の学校と連携して図書館を使った調べる学習コンクールを実施
- ・小・中学校の図書担当教諭連絡会議への参加(情報提供・意見交換等)
- ・6は対応可能であるが実績なし、7 読書週間の小中学生図書委員・先生のおすすめ本展示
- ・区立小・中学校へ委託により学校図書館運営支援スタッフを配置／中学校の授業で作成したPOPを図書館内に掲示し、併せてPOPで紹介している本を特集展示／高等学校の防災部が作成した掲示物を図書館内に掲示／大学図書館でアルバイトをしている学生に、図書館のティーンズサービス事業に協力してもらっている
- ・小中学校と同様に、特別支援学級についても、団体貸出、職場体験等を実施
- ・おすすめの本50事業の実施(本の選定、リーフレット・パンフレット作成、読書コンクール実施等)
- ・小中学校連絡協議会の実施
- ・小・中・高等学校へは各年代にあった推薦図書の学校での配布。小学1年生では私立等をふくめ全児童に1冊配布。中学1年生では地域別の連絡会を実施
- ・教職員の研修受け入れ
- ・特別支援学級への団体貸出／小中学校図書館への学校セットの貸出／小中学校図書館司書の連絡会の実施／学校図書館事業の公立図書館での展示(しおりコンテスト等)
- ・ブックリストの学校配布
- ・公立図書館の選定内容を学校へ情報提供
- ・学校図書館システムの整備、学校図書館の蔵書点検への協力
- ・市内高校へ利用案内配布、ヤングスタッフ(市内在住在学高校・大学生等対象)案内など
- ・学校司書1名を学校支援担当として中央図書館に週2日配置し、授業で使う本の貸出や学校図書館便りのフォーマット提供等の支援業務を実施
- ・市内高校と連携を実施する予定
- ・配送便の運行、学級単位等での個人貸出登録手続きの実施
- ・図書館を使った調べる学習コンクール(小・中・高)、学校図書館司書との情報連絡会(小・中)
- ・廃棄雑誌を中学校の美術の素材として提供、学童クラブへ子供向け雑誌の提供、保育園へ古くなった絵本を提供

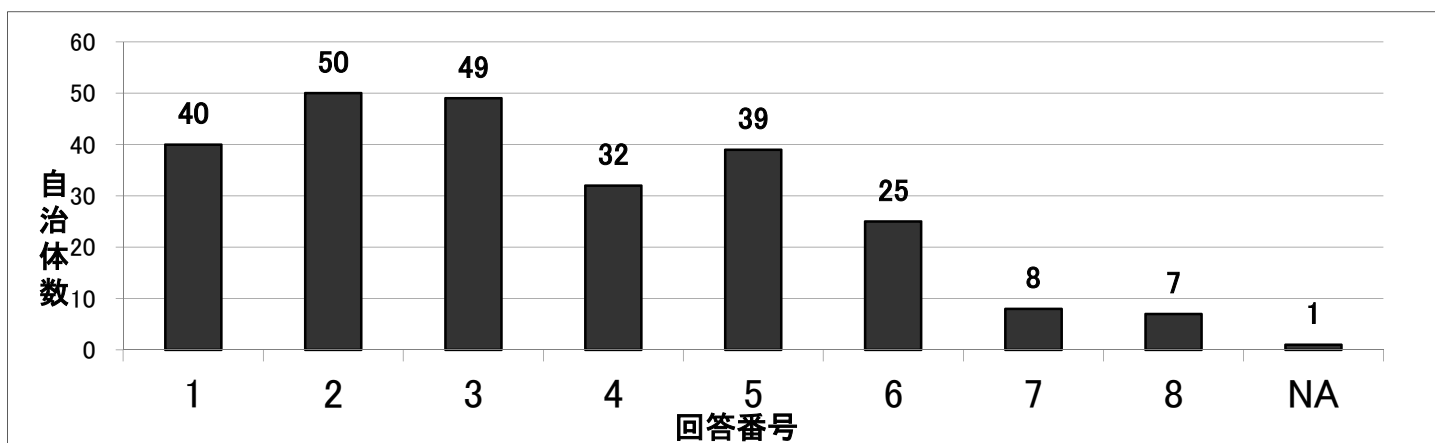
Q4. 公立図書館では、館内職員に向けた研修を行っていますか。(複数回答可)

番号	回答内容	区市町村合計
1	館内あるいは同じ自治体内の職員による研修を行っている	36
2	外部講師による研修を行っている	19
3	外部機関の研修を利用している	43
4	研修を行っていない	12
NA	無回答	0



Q5. 公立図書館や学校以外での公的機関において、子供の読書活動推進を実施していますか。(複数回答可)

番号	回答内容	区市町村合計
1	保健所、保健センター	40
2	保育所等、幼稚園	50
3	児童館、公民館、青少年施設	49
4	1～3以外の子育て支援施設	32
5	学童クラブ	39
6	放課後子供教室	25
7	その他	8
8	実施していない	7
NA	無回答	1

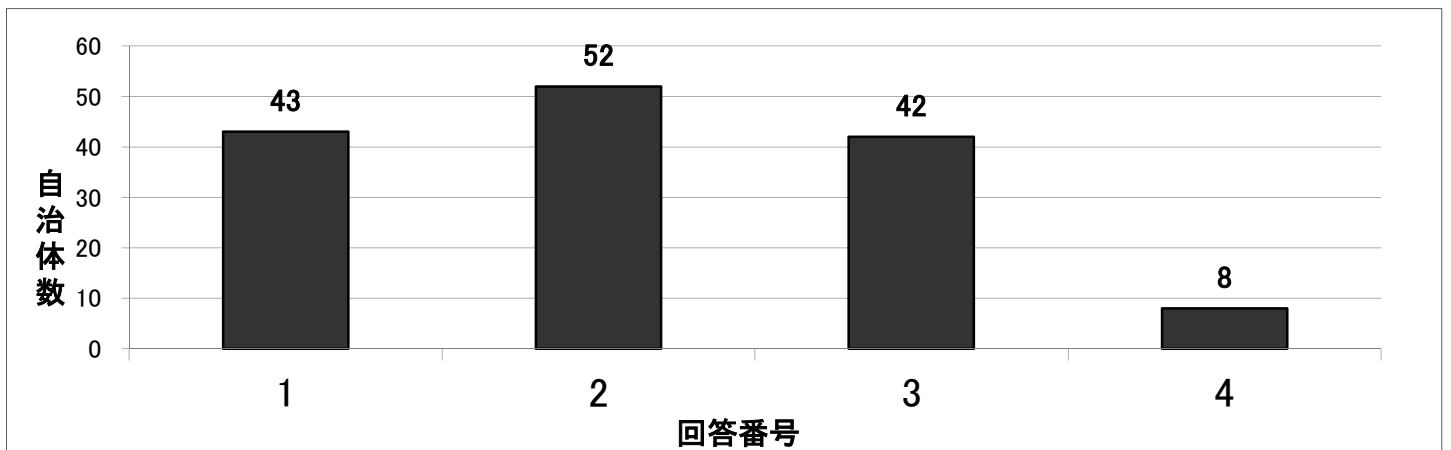


5【その他】の具体例

- ・病院内文庫など、団体貸出を実施
- ・子育て広場
- ・リサイクルセンター
- ・市民センター、役所本庁舎内等
- ・心身障害者福祉センターでの布絵本、さわる絵本展示(市子どもの読書月間)。美術館、男女共同参画センター、体育施設でのボランティア協働事業(おはなし会)
- ・文学館、生涯学習センター
- ・地域センター
- ・市民ホールで行う子ども食堂への展示資料のPOP作成・貸出し

Q5-1. 問5で1~6を選択した自治体にお聞きします。
 具体的にどのようなことを行っていますか。(複数回答可)

番号	回答内容	区市町村合計
1	絵本コーナー等、子供が本を手にとれる環境の整備	43
2	読み聞かせやブックトーク、お話し会などの実施	52
3	保護者への子供の読書に関する啓発	42
4	その他	8
NA	無回答	0

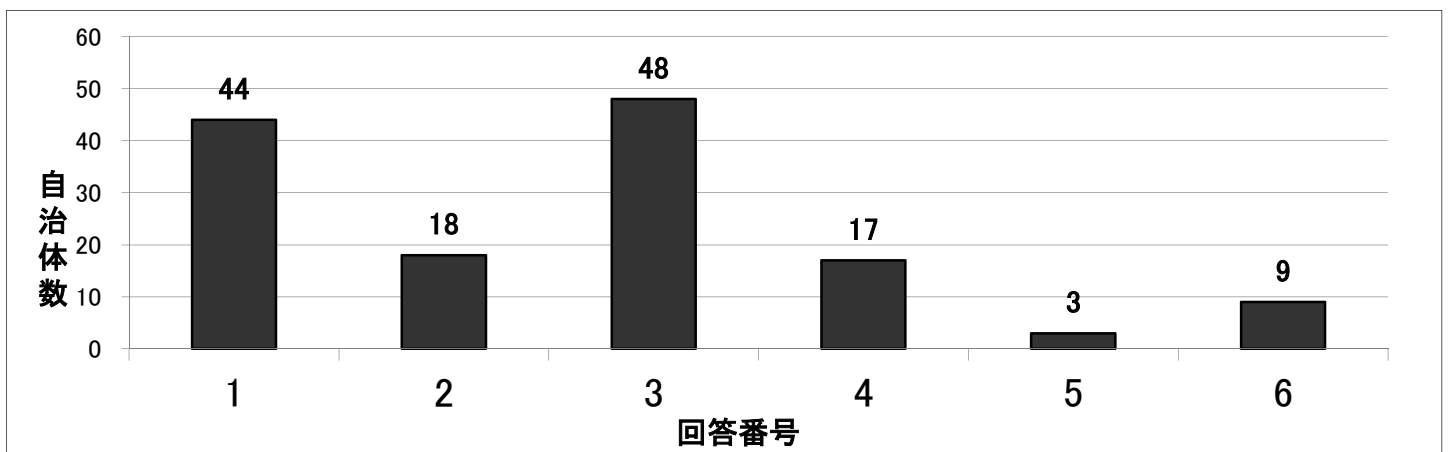


5-1 【その他】の具体例

- ・団体貸出(一回100冊 1か月間)
- ・図書館資料の団体貸出
- ・子ども家庭支援センターでのブックスタート事業の実施(主体は図書館)
- ・3、4か月健診でのブックスタートの実施/3歳児健診でのチラシの配布
- ・母子手帳に絵本記録欄と図書館と乳児向けサービス案内を掲載
- ・文学館で小中高校生を対象に「ショート・ショートコンクール」を実施
- ・ブックスタート(健康センターにて実施)、図書館見学の受入れ(保育園・幼稚園から)、読書週間の前後に「絵本に出てくるメニュー」を給食で出す(保育園にて実施)
- ・絵本や子供向けの本の団体貸出(1~3については、図書館主体ではなく、各施設主体で実施しているものも含む)

Q6. 貴自治体では、家庭文庫、地域文庫、読み聞かせグループ及びボランティア（以下「ボランティア等」）に対する支援を行っていますか。（複数回答可）

番号	回答内容	区市町村合計
1	ボランティア等の育成、研修事業の実施	44
2	活動費等の財政面での支援（補助金交付、施設使用料の減免など）	18
3	自主的な活動の支援（学習会開催、活動場所の提供、図書館資料の貸出等）	48
4	グループ相互のネットワーク化、連絡会の設置	17
5	その他	3
6	実施していない	9
NA	無回答	0

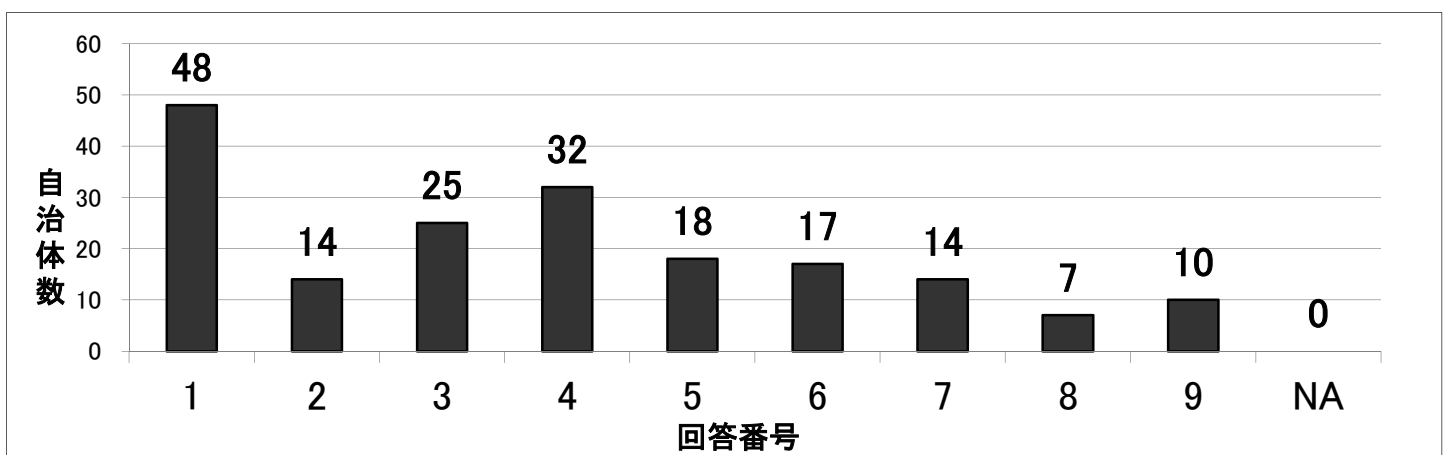


6【その他】の具体例

- ・ボランティア懇談会の実施
- ・ボランティア保険の加入
- ・共催でのイベントの実施（ビブリオバトル等）

Q7. 学校以外の各公的機関において実施されている子供の読書活動においてボランティア等を活用していますか。
(複数回答可)

番号	回答内容	区市町村合計
1	公立図書館	48
2	保健所、保健センター	14
3	保育所等、幼稚園	25
4	児童館、公民館、青少年施設	32
5	2～4以外の子育て支援施設	18
6	学童クラブ	17
7	放課後子供教室	14
8	その他	7
9	実施していない	10
NA	無回答	0

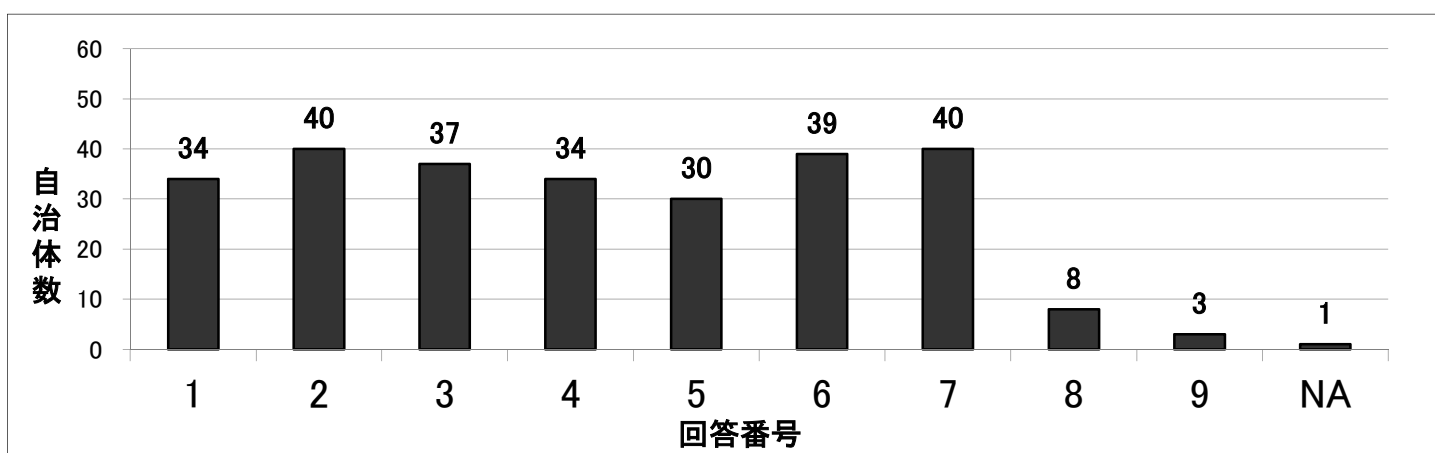


7【その他】の具体例

- ・放課後等デイサービス事業所でのおはなし会の実施(リモート実施を含む)
- ・掲載の了承を得た上で、図書館にてボランティア名簿を作成し、希望する区立施設へ開示
- ・子育てひろば
- ・学校、市民センター
- ・美術館、男女共同参画センター、体育施設でのボランティア協働事業(おはなし会)
- ・文学館
- ・地域センター

Q8. 貴自治体において子供の読書活動を推進していく上での課題は何ですか。(複数回答可)

番号	回答内容	区市町村合計
1	関係機関における人材育成	34
2	ボランティア等の育成、活用	40
3	家庭での読書活動の推進	37
4	公立図書館のサービスの充実	34
5	地域(図書館を除く)での読書活動の推進	30
6	学校での読書活動の推進	39
7	関係機関との連携	40
8	その他	8
9	特になし	3
NA	無回答	1

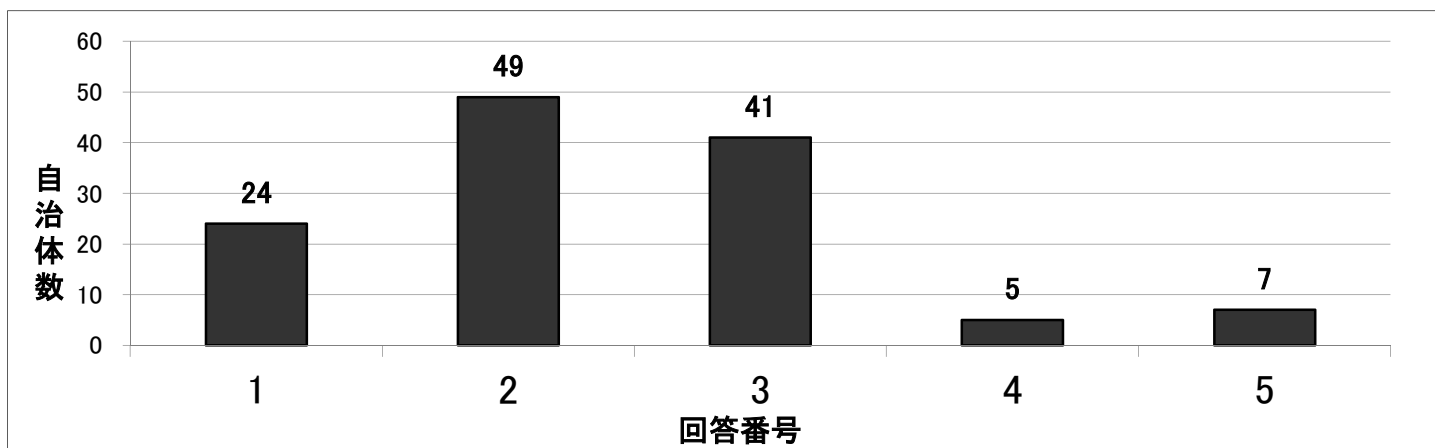


8【その他】の具体例

- ・特別な支援を必要とする子どもの読書活動の推進、子どもを取り巻く大人への支援
- ・YA世代の読書活動推進
- ・周りの大人に幼児期から読書を楽しんでもらうことの大切さを知ってもらうこと／図書館を利用しない人、本を読まない人へのアプローチ
- ・YA世代の読書活動の推進、図書館職員の育成
- ・ティーンズ世代への読書活動の推進
- ・人材不足(児童サービスについて熟知している職員がいない)
- ・児童文学や学習漫画などの充実を図っているが、十分とは言えない
- ・本村には公立図書館がなく、小中学校の図書館のみのため、学校での指導に比重を置かざるを得ない

Q9. 今後の子供の読書活動推進にあたり、都(都立図書館)に望む施策(充実・拡充含む)はありますか。
(複数回答可)

番号	回答内容	区市町村合計
1	広報・啓発事業の充実	24
2	職員に対する研修	49
3	都内の自治体における取組状況の集約、情報提供	41
4	その他	5
5	特になし	7
NA	無回答	0



9【その他】の具体例

- ・高等学校との連携等、読書活動推進の取組の情報共有
- ・都立の特別支援学校への司書の配置
- ・講師報償金などの補助、子どもの読書に関わる講師の紹介
- ・東京都教職員研修にて子どもの読書活動推進の必要性・重要性をもっと知らしめて欲しい／学校図書館の充実(学校司書設置支援等)
- ・18歳まで子ども読書活動推進計画の対象なので、青少年向けの本(児童書からも、一般書からも漏れてしまう中高生向けのライトノベルなど)の保存について都立図書館で検討をお願いしたい。(当市ではでは青少年の要望に応えるものとして収集してきたが、一自治体では保存、購入共に限度があるため)

Q10. 上記の外、貴自治体で実施されている特色ある取組があれば、以下にご記入ください。(自由記述)

- ・乳幼児施設への絵本セットの巡回貸出、地域施設と連携した特集展示等の実施
- ・図書館を使った調べる学習コンクール、子ども読書月間、子ども読書月間の標語募集
- ・本の帯アイデア賞、あかちゃんタイム、図書館バックの配布(対象は域内在住の全小学校1年生)
- ・区の施設及び協力いただける民間施設等に図書館のリサイクル図書を設置し、誰もが、いつでも、身近に本に触れられる場を設置
- ・乳幼児と小学生に、それぞれ読んで欲しいおすすめ本のリストを、図書館のホームページで公開
- ・本の探検ラリー(会場にある本を読んで、問題を解くクイズ形式のイベントで独自の企画)
- ・「読書の動機づけ指導」の実施～昭和42年より実施。市立小学校3年生の全クラスに約30冊の本のブックトークを行い、その後本をクラスにプレゼントする事業。本は1年間かけてクラスで読書活動に活用してもらう
- ・わん！だふる読書体験の実施、図書館フェスタの開催、図書部(中高生世代)の活動
- ・「Oxford Reading Tree」を中心にやさしい英語の絵本を揃えて「英語多読」を推進
- ・図書館職員が選んだ本を集めた「団体貸出バック」を市立小学校の学級に貸出
- ・中学生と作家の交流事業、絵本バック(乳幼児親子向けセットになった絵本のバック貸出)
- ・「いのちの教育」推進プランとして、子どもたちに「いのちの大切さ」「人を思いやること」を培うために様々な取り組みをしている。図書館もその一環として、ブックリストの作成や本の展示等を実施／「本っていいな」:本を読み解き、深く味わう体験を重ねることができるよう、読書感想や本の紹介を文章や絵などで表現する機会をつくる取組(令和4年度から)
- ・子どもの読書活動推進の啓発事業の一環として毎年、子ども読書まつり《ほんともフェスタ》を開催(展示、講演会、特別おはなし会)
- ・当村には公立図書館がないため、村立学校の図書室を一般開放しており、そこでボランティアによる読み聞かせ等を実施

【調査に関する連絡先】

東京都教育庁地域教育支援部管理課社会教育施設担当

電話 03-5320-6852